

小学校避難所空調設備設置工事(小淵小学校)

図面リスト											
〔意匠図〕						〔電気設備図〕			〔機械設備図〕		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
共通-01	特記仕様書1		小A-01	欠番	-	小E-01	欠番	-	小M-01	欠番	-
共通-02	特記仕様書2		小A-02	欠番	-	小E-02	欠番	-	小M-02	欠番	-
共通-03	特記仕様書3		小A-03	欠番	-	小E-03	(改修前・改修後) 受変電設備単線結線図	-	小M-03	欠番	-
共通-04	特記仕様書4		小A-04	欠番	-	小E-04	(改修前・改修後) 1階平面図 受変電設備廻り設備	1/100	小M-04	空調設備 機器表 参考図	-
共通-05	特記仕様書5		小A-05	欠番	-	小E-05	(改修後) 1階平面図 空調機電源設備	1/100	小M-05	空調設備 1階平面図	1/100
共通-06	特記仕様書6 電気設備工事		小A-06	欠番	-	小E-06	(改修後) 照明器具姿図	-	小M-06	空調設備 中間階平面図	1/100
共通-07	特記仕様書7 機械設備工事		小A-07	案内図・配置図・仕上表	1/500	小E-07	(改修前) 1階平面図 電灯設備	1/100	小M-07	空調設備 展開図	1/100
共通-08	特記仕様書8 機械設備工事		小A-08	仮設計画図(参考)	1/200:500	小E-08	(改修後) 1階平面図 電灯設備	1/100	小M-08	空調設備 立面図(1)	1/100
共通-09	特記仕様書9 機械設備工事		小A-09	1階平面図	1/100	小E-09	(改修前) 中間階平面図 電灯設備	1/100	小M-09	空調設備 立面図(2)	1/100
			小A-10	中間階平面図	1/100	小E-10	(改修後) 中間階平面図 電灯設備	1/100	小M-10	制御設備 1階平面図	1/100
			小A-11	立面図(1)	1/100				小M-11	制御設備 中間階平面図	1/100
			小A-12	立面図(2)	1/100						
			小A-13	断面図	1/100						
			小A-14	改修前 矩計図	1/20						
			小A-15	改修後 矩計図	1/20						
			小A-16	展開図	1/100						
			小A-17	キープラン	1/200						
			小A-18	建具表	1/50						
			小A-19	雑詳細図	1/20						
			小A-20	暗幕裾上げ位置図	1/100						
			小A-21	外構図(1)	1/30:50						
			小A-22	外構図(2)	1/30:50						
			小A-23	植栽撤去図	1/100						

② 仮設工事 1 騒音・粉じん等の対策 ② 足場等 ③ 既存部分の養生 4 仮設間仕切り 5 監督員事務所 ⑥ 現場表示板 ⑦ 工事用水 ⑧ 工事用電力 ⑨ 工事用搬入路 ⑩ 仮囲い ⑪ 交通誘導員 12 快適トイレ A 仮設物 B 火元責任者 C その他	・防音パネル ・防音シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 [2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 防護ネット等 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等・図示) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種・D種・E種) C種:利用可能なエレベーター(・図示) D種:利用可能な階段(・図示・打合せによる) 墜落制止用具の使用は、「墜落制止用具の安全使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ○フルハーネス型墜落制止用具を用いる。 [2.3.1] 既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) 既存プラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等) 保管場所(・図示・図説による) 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示 ・協議による 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等 種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材 ・A種 木 せつこうボード(9.5mm) ・無し ※有り ・軽量鉄骨 種類() ・片面 ・B種 合板(9.0mm) 材種() ※C種 単管 防災シート 充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 材質 仕上げ 塗装 設置箇所 充填材 ※木製 ※合板張り程度 ・無し ※図示 ・か所 ・有り ・片面 ・無し 充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上) [2.4.1] 規模 ・既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当) 机・椅子・書櫃・黒板・掛時計・寒暖計・長靴・両合羽 ・保護帽・懐中電灯・墜落制止用具・軍手・衣類ロッカー ・冷暖房機器・消火器・湯沸器・茶器・掃除用具・電話機 ・FAX・電子メール通信機器・スキャナー・プリンター ※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12] 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる ⊗有償・無償 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(別途施設調整を行うこと) ※図示 ⊗設置位置等は監督員の指示による ○図示 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応すること。 必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ⊗監督員の指示による ○図示 仕様 ※図示 仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、〈2.3.1〉施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。 火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。 ①仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。 ②ゲート等の位置は監督員と協議の上、必要に応じて適切な位置に移動すること。 ③仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。 ④近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。	① 解体施工 ② 建設廃棄物の処理 ③ 再資源化等(再資源化及び削減) ④ 産業廃棄物広域認定制度の活用 ⑤ 最終処分 ⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物 ⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	フェンス等工作物の撤去 ○行う(※図示) ・行わない 〈3.10.1〉 樹木の伐採伐根及び移植 ① 図示 ○協議による [1.1.12] ※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用[促進]計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。 また、工事完成後速やかに計画の実施状況(実績)について、「再生資源利用[促進]実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。 (a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の土砂を搬入する工事 (2) 500t以上の砕石を搬入する工事 (3) 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) (b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の建設発生土を搬出する工事 (2) アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200t以上搬出する工事 (3) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) 建設廃棄物の種類 備考 ○コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木材 ○アスファルトコンクリート ○金風類 ・建設泥土 ・小形二次電池 ○蛍光灯及びHIDランプ ・硬質塩化ビニル管及び継手 ○ガラス ・木材(縮減) 中間処理施設又は再資源化施設の別 ・監督員と協議 〈4.4.1〉 建設廃棄物の種類 数量 備考 〈4.4.2〉 建設廃棄物の種類 備考 〈4.4.3〉 建設廃棄物の種類 備考 最終処分場 ・監督員と協議 〈4.5.1〉 建設廃棄物の種類 備考 ・石綿含有せつこうボード ・ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・上記以外のせつこうボード ・CCA処理木材 廃棄物の処理 ・監督員と協議 (濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類 汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いつつ濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフスト」という。)により管理するものとする。 (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装版切断時に濁水を生じない等)を使用する場合には、事前に発注者と協議するものとする。	① 特別管理産業廃棄物の処理 1 施工調査 ② 分析調査 3 特別管理産業廃棄物の処理 4 PCBを含む機器類 5 PCB含有シリング材 6 ダイオキシン類 ① 石綿含有建材の事前調査 2 石綿含有分析調査 ③ 石綿含有建材の除去及び処理 ④ 石綿含有分析調査 ⑤ その他	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。 〈5.1.2〉 (1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に付した、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3)調査結果は調査にとりまとめ、監督員に提出する。 〈5.1.2〉 分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シリング材 部位・図示・箇所数 分析調査(第一次判定) 箇所数 ・PCB含有シリング材 部位・箇所数 分析調査(第二次判定) 箇所数 ・ 部位・図示・箇所数 ・ 部位・図示・箇所数 ・ 部位・図示・箇所数 ・ PCB含有シリング分析調査 ・ 監督員と協議 〈5.4.1〉 ・ PCBを含む機器の微量PCBの分析調査 〈5.4.1〉 ・ 絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(環境省)」により行う。 〈5.4.1〉 ・ ダイオキシン類のサンプリング調査 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。 〈5.4.1〉 特別管理産業廃棄物の種類 備考 ・ 塵石綿等 ・ PCBを含む機器類 ・ PCB含有シリング材 ・ 廃油 ・ 廃酸/廃アルカリ ・ ダイオキシン類 処理施設 ・監督員と協議 引渡しを要する機器類 〈5.4.1〉 除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シリング工業業協会/日本シリング材工業会)」による。 〈5.4.1〉 廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 処分方法 石綿含有建材の事前調査 〈1.4.1〉 工事着手に先立ち目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲 ○本工事施工範囲 ・図示 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書) 設計書に記載がない場合、「みなし」として報告、施工する。 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト 分析方法 材料名 定性分析方法 定量分析方法 ・7x7x7防水(屋根) ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 サンプル数 1箇所あたり3サンプル 吹付け材及び保溫材等は ※ 10cm ³ /箇所 ・ /箇所 とする。 成形板は ※ 100cm ² /箇所 ・ /箇所 とする。 採取箇所 ・図示 分析結果については監督員に提出すること。 「9 環境配慮改修工事」による ○近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。	1 施工調査 2 回収及び処分 回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類 備考 ・ フロン(冷媒) ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス ・ P F O S (ペルフルオロ(ポリ)エーテル/スルホン酸) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物() 回収又は処分 ・ 機械設備図による
	春日部市 学校教育 教育施設課	小学校避難所空調設備設置工事 (小淵小学校)	共通-02			

③ 防水改修工事	1 施工数量調査	2 降雨等に対する養生方法(とい共) 3 既存防水の処理 4 既存下地の処理 5 アスファルト防水 6 改質アスファルトシート防水 7 合成高分子系ルーフィングシート防水	8 塗膜防水						
	④ シーリング	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリック工法 ・ポンドブローカー張り ・エッジング材張り	[3.1.4][3.7.2、3、7、8]						
	10 とい 11 アルミニウム製笠木 12 防水工事施工業	シーリング材の種類(記号) <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>							
4 外壁改修工事	シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験								

⑤ 建具改修工事	1 改修工法	2 防火戸 3 見本の製作等 4 防犯建物部品 5 アルミニウム製建具 6 網戸等 7 樹脂製建具 8 鋼製建具 9 鋼製軽量建具 10 ステンレス製建具 11 木製建具 12 建具用金物 13 鍵 14 自動ドア開閉装置 15 自閉式上吊り引戸装置 16 重量シャッター 17 軽量シャッター	18 オーバーヘッドドア	19 ガラス [3.7][5.14.2~4]
----------	--------	---	--------------	------------------------

⑥ 内装改修工事	1 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。・図示	2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲) ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒れ工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ・図示	4 施工一般	5 製材 [6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(f)(b)による 〇JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2] 施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
----------	--------	---	--	---	--------	--

⑦ 軽量鉄骨壁下地	6 造作用集成材 [6.5.2] 7 造作用単板積層材 [6.5.2]	8 合板等 [6.5.2] ・「合板の日本産林規格」による普通合板 [6.5.2] 施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 壁下地 45×90 ※2級 45×50 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種	9 合板等 [6.5.2] ・「合板の日本産林規格」による普通合板 [6.5.2] 施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 壁下地 45×90 ※1等 45×50 ※A種・B種 ※1等 ※A種・B種 ※10%以下 ※10%以下	10 とい 11 アルミニウム製笠木 12 防水工事施工業	13 窓、出入口その他 [6.5.7] 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松 ※松又は杉
-----------	--	--	--	-------------------------------------	---

14 軽量鉄骨天井	野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びピンサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示	15 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3、4][表6.7.1] スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた仕様 ・図示 スタッドの高さが9mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による
-----------	---	--

⑧ 防水改修工事	16 ビニル床シート [6.8.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ※FS(複層ビニル床シート) ・無地 ・マフォーム柄 ・柄物 ※2.0 ・2.5	接合部の処理 ※熱溶接工法
	17 ビニル床タイル [6.8.2]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ※FS(複層ビニル床シート) ・無地 ・マフォーム柄 ・柄物 ※2.0 ・2.5	接合部の処理 ※熱溶接工法
	18 特殊機能床材	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ※KT(コキシッドビニル床タイル) ・無地 ・柄物 300×300 450×450 ※2.0 ・3.0	接合部の処理 ※熱溶接工法
	19 ビニル床タイル [6.8.2]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ・TT(単層ビニル床タイル) ・無地 ・柄物 300×300 450×450 2.0 ・2.5	接合部の処理 ※熱溶接工法

⑨ 26 壁紙張り	20 ゴム床タイル [6.8.2]	種類 厚さ(mm) 備考 ・単層品 300×300 450×450 2.0 ・積層品 300×300 450×450 2.5 ・3.0	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	-------------------	--	---------------

⑩ 27 モルタル塗り	21 カーペット敷き [6.10.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ※KT(コキシッドビニル床タイル) ・無地 ・柄物 300×300 450×450 2.0 ・2.5	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	-----------------------	--	---------------

⑪ 28 タイル張り	22 合成樹脂塗床 [6.11.2~6]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 ・FT(複層ビニル床タイル) ・無地 ・柄物 300×300 450×450 2.0 ・2.5	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	----------------------	---	---------------

⑫ 29 セルフレベリング材塗り	23 フローリング張り [6.13.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	------------------------	---	---------------

⑬ 30 床点検口	24 畳敷き [6.13.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	-------------------	---	---------------

⑭ 31 移動間仕切り	25 せっこうボード [6.13.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	-----------------------	---	---------------

⑮ 32 移動間仕切り	26 壁紙張り [6.14.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	--------------------	---	---------------

⑯ 33 トイレブース	27 モルタル塗り [6.15.3、5、6]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	------------------------	---	---------------

⑰ 34 手すり	28 タイル張り [6.16.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
----------	---------------------	---	---------------

⑱ 35 階段滑り止め	29 セルフレベリング材塗り [6.17.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------------	---	---------------

⑲ 36 黒板及びホワイトボード	30 フリーアクセスフロア [6.18.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	--------------------------	---	---------------

⑳ 37 表示	31 可動間仕切り	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
---------	-----------	---	---------------

㉑ 38 トラップ	32 移動間仕切り	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	-----------	---	---------------

㉒ 39 ブラインド	33 トイレブース	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	-----------	---	---------------

㉓ 40 ロールスクリーン	34 手すり	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
---------------	--------	---	---------------

㉔ 41 カーテン	35 階段滑り止め [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	----------------------	---	---------------

㉕ 42 カーテンレール	36 黒板及びホワイトボード [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
--------------	---------------------------	---	---------------

㉖ 43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	37 表示 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
--------------------------	------------------	---	---------------

㉗ 44 天井点検口	38 トラップ [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	--------------------	---	---------------

㉘ 45 床点検口	39 ブラインド [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	---------------------	---	---------------

㉙ 46 くつふきマット	40 ロールスクリーン [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
--------------	------------------------	---	---------------

㉚ 47 洗面カウンター	41 カーテン [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
--------------	--------------------	---	---------------

㉛ 48 鋼製書架及び物品棚	42 カーテンレール [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
----------------	-----------------------	---	---------------

㉜ 49 防煙垂れ壁	43 ブラインドボックス及びカーテンボックス [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	-----------------------------------	---	---------------

㉝ 50 防煙垂れ壁	44 天井点検口 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	---------------------	---	---------------

㉞ 51 防煙垂れ壁	45 床点検口 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	--------------------	---	---------------

㉟ 52 収納家具	46 くつふきマット [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	-----------------------	---	---------------

㊱ 26 壁紙張り	47 洗面カウンター [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	-----------------------	---	---------------

㊲ 27 モルタル塗り	48 鋼製書架及び物品棚 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	-------------------------	---	---------------

㊳ 28 タイル張り	49 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	---------------------	---	---------------

㊴ 29 セルフレベリング材塗り	50 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	---------------------	---	---------------

㊵ 30 フリーアクセスフロア	51 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------------	---------------------	---	---------------

㊶ 31 可動間仕切り	52 収納家具 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	--------------------	---	---------------

㊷ 32 移動間仕切り	53 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊸ 33 トイレブース	54 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊹ 34 手すり	55 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
----------	---------------------	---	---------------

㊺ 35 階段滑り止め	56 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊻ 36 黒板及びホワイトボード	57 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	---------------------	---	---------------

㊼ 37 表示	58 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
---------	---------------------	---	---------------

㊽ 38 トラップ	59 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	---------------------	---	---------------

㊾ 39 ブラインド	60 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	---------------------	---	---------------

㊿ 40 ロールスクリーン	61 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
---------------	---------------------	---	---------------

㊱ 26 壁紙張り	62 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------	---------------------	---	---------------

㊲ 27 モルタル塗り	63 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊳ 28 タイル張り	64 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------	---------------------	---	---------------

㊴ 29 セルフレベリング材塗り	65 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	---------------------	---	---------------

㊵ 30 フリーアクセスフロア	66 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-----------------	---------------------	---	---------------

㊶ 31 可動間仕切り	67 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊷ 32 移動間仕切り	68 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊸ 33 トイレブース	69 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊹ 34 手すり	70 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
----------	---------------------	---	---------------

㊺ 35 階段滑り止め	71 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
-------------	---------------------	---	---------------

㊻ 36 黒板及びホワイトボード	72 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
------------------	---------------------	---	---------------

㊼ 37 表示	73 防煙垂れ壁 [6.20.2、3]	種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	接合部の処理 ※熱溶接工法
---------	---------------------	---	---------------

⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。(箇所:)</p> <p>塗替えR1種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・ 図示 [7.2.1~7]</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>珪砂、せっこうフラスコ面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>A.L.C.パネル面</td> <td>—</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) DP以外からDPへ塗替えの場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。</p>	下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	珪砂、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う ・行わない	A.L.C.パネル面	—	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う ・行わない	コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う ・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—																																					
	下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修																																																																					
	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—																																																																					
	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—																																																																					
	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—																																																																					
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—																																																																						
珪砂、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う ・行わない																																																																						
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う ・行わない																																																																						
A.L.C.パネル面	—	・行う ・行わない																																																																						
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う ・行わない																																																																						
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う ・行わない																																																																						
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—																																																																						
2 下地調整	<p>下地面等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>珪砂面及びせっこうフラスコ面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 縦目処理工法</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 縦目処理工法以外</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	塗料の種類	工程の種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種		透明塗料塗りの場合	・ A種 ※B種	鉄鋼面(DP以外)	—	・ A種 ・ B種 ※C種	鉄鋼面(DP)	—	・ A種 ・ B種	亜鉛めっき面	—	・ A種 ・ B種	珪砂面及びせっこうフラスコ面	—	・ A種 ※B種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・ A種 ※B種	コンクリート面(DP)	—	・ A種 ・ B種	押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・ A種 ※B種	コンクリート面(DPのみ)	—	・ A種 ※B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種 ・ B種		目地: 縦目処理工法以外	・ A種 ※B種																																
下地面等	塗料の種類	工程の種類																																																																						
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																																																						
	透明塗料塗りの場合	・ A種 ※B種																																																																						
鉄鋼面(DP以外)	—	・ A種 ・ B種 ※C種																																																																						
鉄鋼面(DP)	—	・ A種 ・ B種																																																																						
亜鉛めっき面	—	・ A種 ・ B種																																																																						
珪砂面及びせっこうフラスコ面	—	・ A種 ※B種																																																																						
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・ A種 ※B種																																																																						
コンクリート面(DP)	—	・ A種 ・ B種																																																																						
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・ A種 ※B種																																																																						
コンクリート面(DPのみ)	—	・ A種 ※B種																																																																						
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種 ・ B種																																																																						
	目地: 縦目処理工法以外	・ A種 ※B種																																																																						
3 素地ごしらえ	<p>錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.3]</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.3]</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(f) (b) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.4]</td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(f) (a) による</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.5]</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.5]</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工程の種類は [表7.4.6]</td> <td>新規</td> <td>B種</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	A種		工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種		EP-G	塗替え	A種 ※B種		工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※B種		DP	塗替え	7.4.2(1)(f) (b) による		工程の種類は [表7.4.4]	新規	7.4.2(1)(f) (a) による	亜鉛めっき面	SOP	塗替え	※A種 ・ B種		工程の種類は [表7.4.5]	新規鋼製建具等	※A種 ・ B種		EP-G	塗替え	C種		工程の種類は [表7.4.5]	新規鋼製建具等	C種		DP	塗替え	B種		工程の種類は [表7.4.6]	新規	B種																			
素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																					
鉄鋼面	SOP	塗替え	A種																																																																					
	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種																																																																					
	EP-G	塗替え	A種 ※B種																																																																					
	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※B種																																																																					
	DP	塗替え	7.4.2(1)(f) (b) による																																																																					
	工程の種類は [表7.4.4]	新規	7.4.2(1)(f) (a) による																																																																					
亜鉛めっき面	SOP	塗替え	※A種 ・ B種																																																																					
	工程の種類は [表7.4.5]	新規鋼製建具等	※A種 ・ B種																																																																					
	EP-G	塗替え	C種																																																																					
	工程の種類は [表7.4.5]	新規鋼製建具等	C種																																																																					
	DP	塗替え	B種																																																																					
	工程の種類は [表7.4.6]	新規	B種																																																																					
4 錆止め塗料塗り	<p>塗装の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り(C)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>上塗り専級()級</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>上塗り専級()級</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>・ B種 ※A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、珪砂面、せっこうフラスコ面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする</p> <p>(注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。</p> <p>・高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 [7.2.2] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> <th>塗付量(kg/m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>高日射反射塗料</td> <td>2種</td> <td>1級 ・ 2級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリヤラッカー塗りA種の場合の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない ・適用する(着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>オイルステイン塗りの工程等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造所の仕様による 	塗装の種類	塗装面	塗料の種類	工程の種類	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り(C)	—	※B種	※B種 ・ A種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	—	※B種	※B種 ・ A種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り専級()級	—	亜鉛めっき面	上塗り専級()級	—	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	屋内の木部	※B種	※A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・ B種 ※A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	※B種	※B種 ・ A種	・ステイン塗り	—	※B種	※B種 ・ A種	・木材保護塗料塗り(WP)	—	※B種	※B種 ・ A種	工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量(kg/m ²)	塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料	2種	1級 ・ 2級	塗料製造所の仕様による
塗装の種類	塗装面	塗料の種類	工程の種類																																																																					
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																					
	木部屋内	※B種	※B種																																																																					
塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※B種	※B種																																																																					
・クリヤラッカー塗り(C)	—	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	—	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り専級()級	—																																																																					
	亜鉛めっき面	上塗り専級()級	—																																																																					
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																					
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・ B種 ※A種																																																																					
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
・ステイン塗り	—	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
・木材保護塗料塗り(WP)	—	※B種	※B種 ・ A種																																																																					
工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量(kg/m ²)																																																																			
塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料	2種	1級 ・ 2級	塗料製造所の仕様による																																																																			
5 塗装 [G]	<p>[7.5.2~7.12.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリヤラッカー塗り(C)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ステイン塗り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	クリヤラッカー塗り(C)	※B種	※B種 ・ A種	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	※B種	※B種 ・ A種	耐候性塗料塗り(DP)	—	—	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	—	—	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	—	—	ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	—	ステイン塗り	—	—	木材保護塗料塗り(WP)	—	—																																												
塗料の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																						
クリヤラッカー塗り(C)	※B種	※B種 ・ A種																																																																						
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	※B種	※B種 ・ A種																																																																						
耐候性塗料塗り(DP)	—	—																																																																						
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	—	—																																																																						
合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	—	—																																																																						
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	—																																																																						
ステイン塗り	—	—																																																																						
木材保護塗料塗り(WP)	—	—																																																																						
8 断熱・防露改修工事 [G]	<p>フェノールフォーム断熱材又は保溫材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱材打込み工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H 厚さ(mm) 25 ・ 30 施工箇所 ・断熱材後張り工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の張り付け工法 ・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS) 断熱材へのボードの張付け工法 																																																																							
9 屋上緑化改修工事 [G]	<p>本工程対象外</p>																																																																							

10 透水性アスファルト舗装改修工事	<p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>出入口</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後(シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>去後1週間以降</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>()点</td> </tr> </tbody> </table> <p>さいたま市で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動測定器による測定 測定4.5 ※A - 7(7)カパー、粉じん相対湿度計(7)カパー粉じん計)、繊維状粒子粒子自動計測器(7)カパー(7)カパー)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 ・JIS K 3850-11に基づいた測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定4.5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>本工程対象外</p> <p>本工程対象外</p> <p>除去対象範囲 [G] 図示</p> <p>石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負担不要)方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> ○石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ※埋立処分(安定型最終処分場) <ul style="list-style-type: none"> ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) <p>本工程対象外 [9.1.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位</th> <th>箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>分析調査(第二次判定)</td> <td>部 位</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>分析調査(第二次判定)</td> <td>部 位</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は監督員との協議による</p>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点	測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点	測定3	処理作業室内	各2点()点	測定4	処理作業中	出入口	各1点()点	測定5	集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)	各1点()点	測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点	測定7	処理作業室内	各1点()点	測定8	処理作業後(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点()点	測定9	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	()点	測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界	()点	測定4.5	測定	測定	測定	25	47	47	47	5	10	10	10	30	120	120	240	種類	採取する部位	箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位	箇所数	箇所	分析調査(第二次判定)	部 位	箇所数	箇所	・PCB含有シーリング	部 位	箇所数	箇所	分析調査(第二次判定)	部 位	箇所数	箇所
測定時期	測定名称	測定場所	測定点																																																																											
測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点																																																																											
測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点																																																																											
測定3		処理作業室内	各2点()点																																																																											
測定4	処理作業中	出入口	各1点()点																																																																											
測定5		集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)	各1点()点																																																																											
測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点																																																																											
測定7		処理作業室内	各1点()点																																																																											
測定8	処理作業後(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点()点																																																																											
測定9	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	()点																																																																											
測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界	()点																																																																											
測定4.5	測定	測定	測定																																																																											
25	47	47	47																																																																											
5	10	10	10																																																																											
30	120	120	240																																																																											
種類	採取する部位	箇所数	備考																																																																											
・PCB含有シーリング	部 位	箇所数	箇所																																																																											
分析調査(第二次判定)	部 位	箇所数	箇所																																																																											
・PCB含有シーリング	部 位	箇所数	箇所																																																																											
分析調査(第二次判定)	部 位	箇所数	箇所																																																																											
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	<p>適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 [9.5.2~5、9]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置き換え工法() ・安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・ 1号) () kg/m³ (目標CBR ※3以上) <p>添加量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60g/m²以上 <p>厚さ(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.5~1.0 <p>引張強さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 <p>透水係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.5 × 10⁻³ cm/sec以上 <p>試験</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>穴径コロム溶出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路盤</p> <p>路盤の構成及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>路盤材料(改修標準仕様書9.7.3による種別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ○再生クラッシュラン [G] ・再生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G] <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※著しく不陸がないもの <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>濁水の処理</p> <p>1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。</p> <p>種類及び処理量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却含む) <p>2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項</p> <p>1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等</p> <p>1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。</p> <p>2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他</p> <p>1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)	・ 図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・ 図示																																																																	
種 別	材 料	厚さ(mm)																																																																												
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																																																												
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)	・ 図示																																																																												
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・ 図示																																																																												

春日部市 学校教育課 教育施設課	<p>目付 2023.9.1</p> <p>工務名称 小学校避難所空調設備設置工事 (小淵小学校)</p> <p>図面No. 共通-04</p> <p>図面名称 特記仕様書4</p>
------------------------	---

⑪ 鉄筋工事 1 鉄筋 (5.2.1) 2 溶接金網 (5.2.2) 3 鉄筋の継手 (5.3.4) 4 鉄筋の定着 (5.3.4) 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 6 各部配筋 (5.3.7) 7 ガス圧接 8 機械式継手 9 溶接継手	鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○SD295</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> 形状等 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>○溶接金網</td> <td></td> <td>6×150×150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>継 手 方 法</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>○重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>○重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> 継手位置 ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1. 6.1. 7.1. 7.3. 8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ※図5.2 ※図5.3 ※図5.4 ※図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) ※図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) ※図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一面所に設ける部分の位置及び施工方法等 ※図示による ()	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	○SD295	※ D16以下		・SD345	※ D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	○溶接金網		6×150×150		・鉄筋格子				部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接		その他の鉄筋()	○重ね継手		⑫ コンクリート工事 1 コンクリートの種類等 (6.2.1) 2 セメント (6.3.1) 3 骨材 (6.3.1) 4 混和材料 (6.3.1) 5 打継ぎの位置、打継ぎ目地 (6.6.4) 6 湿潤養生 (6.7.2) 7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 9 型枠 (6.8.2) 10 軽量コンクリート 11 寒中コンクリート 12 暑中コンクリート 13 マスコンクリート 14 無筋コンクリート 15 コンクリートの単位水量測定 (6.8.4)	⑬ 土工 1 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 山留めの撤去 (3.3.3)	⑭ 金属工事 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1) 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)(表14.4.1) 4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3, 4)(表14.5.1) 5 金属成形板張り (14.6.2, 3)(表14.2.1) 6 アルミニウム製窓木	⑮ 内装工事 14 断熱材 (19.9.2~4)	⑯ ユニツト及びその他工事 27 フェンス (20.3.2~4) 28 プレキャストコンクリート (20.3.2~4)	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2, 3) 22 舗装工事 (22.2.2, 3~5)(表22.2.1) 1 路床 (22.2.2, 3)(表22.3.1) 2 路盤 (22.3.2, 3)(表22.3.1) 3 アスファルト舗装 (22.4.2~4, 6)(表22.4.1, 4) 4 コンクリート舗装 (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2, 3, 6)	材種 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・花こう岩 ー ー ・凝灰岩 ・コンクリート間知ブロック ー ・A ・B 積み方 ※谷積み ・布積み 目張り ・図示 伸縮調整目地 材種 ・図示 厚さ ・図示 路床の材料 (22.2.2, 3~5)(表22.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (G)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン (G) ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 安定処理方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 (G) ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号・1号) ・消石灰 (・特号・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ・3以上) ・不織布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻³ cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力 (CBR) 試験 ・行う (箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う (箇所) ・行わない 安定処理土のCBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う (箇所) ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 路盤及び厚さ ・図示 (22.3.2, 3)(表22.3.1) 路盤材料 (標準仕様書 表22.3.1による種別) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> </tr> <tr> <td>・再生クラッシュラン (G)</td> </tr> <tr> <td>・再生粒度調整砕石 (G)</td> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ (G)</td> </tr> <tr> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ (G)</td> </tr> <tr> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (G)</td> </tr> </table> アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.4.2~4, 6)(表22.4.1, 4) 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト (G) (標準仕様書 表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストリートアスファルト 骨材 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (G) 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 構成及び厚さ (22.5.2~4)(表22.5.1~3) <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>構 成</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>※図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・歩行者用通路</td> <td>※図示</td> <td>※70</td> </tr> </table> 材料 コンクリート ※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ・設計基準強度 (N/mm ²) ・所定のスラブ (cm) ※8 骨材の最大寸法 (mm) ・使用する ・使用しない 注 入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による ・図示 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.7.2, 3, 6) 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (G) (標準仕様書 表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) 舗装の平坦性 ※着しい不陸がないもの 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> <tr> <td>最大粒径 (mm)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>20以上</td> </tr> <tr> <td>透水係数 (cm/s)</td> <td>1×10⁻²以上</td> </tr> <tr> <td>目地の間隔</td> <td>版厚の20倍程度</td> </tr> </table> 構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間の敷設 ・図示 ・透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2, 3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による ・透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2, 3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (G)	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン (G) ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示	・フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	種 別	・クラッシュラン	・粒度調整砕石	再生材	・再生クラッシュラン (G)	・再生粒度調整砕石 (G)	・クラッシュラン鉄鋼スラグ (G)	・粒度調整鉄鋼スラグ (G)	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (G)	舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)	コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示		・歩行者用通路	※図示	※70	項目	基準値	最大粒径 (mm)	13	空隙率 (%)	20以上	透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上	目地の間隔	版厚の20倍程度
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																				
	○SD295	※ D16以下																																																																																					
	・SD345	※ D19以上																																																																																					
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																			
	○溶接金網		6×150×150																																																																																				
	・鉄筋格子																																																																																						
	部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)																																																																																				
	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上																																																																																				
	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手																																																																																					
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接																																																																																						
その他の鉄筋()	○重ね継手																																																																																						
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																					
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (G)	・図示																																																																																					
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン (G) ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示																																																																																					
・フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																																					
種 別																																																																																							
・クラッシュラン																																																																																							
・粒度調整砕石																																																																																							
再生材																																																																																							
・再生クラッシュラン (G)																																																																																							
・再生粒度調整砕石 (G)																																																																																							
・クラッシュラン鉄鋼スラグ (G)																																																																																							
・粒度調整鉄鋼スラグ (G)																																																																																							
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (G)																																																																																							
舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)																																																																																				
コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示																																																																																				
	・歩行者用通路	※図示	※70																																																																																				
項目	基準値																																																																																						
最大粒径 (mm)	13																																																																																						
空隙率 (%)	20以上																																																																																						
透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																																																						
目地の間隔	版厚の20倍程度																																																																																						
春日部市 学校教育課 教育施設課	日付 工事名称 小学校避難所空調設備設置工事 (小淵小学校) 図面No. 共通-05 縮尺 図面名称 特記仕様書5																																																																																						

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工事名
1.2 工事場所
1.3 工期

1.4 工事科目 (O印の付いたものを適用する)

Table with 2 columns: Equipment types (e.g., 電灯設備, 動力設備) and their specifications/notes.

1.5 指定部分 O 無 ・有 (工期: 令和 年 月 日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
建築工事特記仕様書による

1.7 建物概要
建築工事特記仕様書による

1.8 工事概要
建築工事特記仕様書による

1.9 同時期発注の関連工事 ※なし (ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う)

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日市電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築設備工事標準図(電気設備工編)(最新版) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、O印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。O印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

Main specification table with columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include ① 機材等, ② 施工条件, ③ 工事用電力・水, ④ 工事用仮設物, ⑤ 足場・さんばし類, ⑥ 監督員事務所, ⑦ 保険, ⑧ 再使用機材, ⑨ 建設リサイクル法の適用, ⑩ 完成図書の子納品, ⑪ 発生材処理.

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include ⑫ 金属電線管の塗装, ⑬ 鍵, ⑭ 地中電線路, ⑮ 回路の種別行先の表示, ⑯ 電線の接続, ⑰ 電線管の接続, ⑱ 接地工事, ⑲ 建設発生土の処理, ⑳ 再生砂・再生アスコン, ㉑ 耐震施工.

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include ㉒ 施工計画書, ㉓ アスベスト事前調査結果の報告, ㉔ その他.

2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、O印のついたものを適用する)

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include ① 電灯設備, ② 動力設備, ③ 雷保護設備, ④ 受変電設備.

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include 5 構内情報通信網設備, 6 電力貯蔵設備, 7 発電設備, 8 構内交換設備, 9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備), 10 昇降機設備.

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

Table with columns: Name (名称), Measurement Point (測点), Installation Height (取付高さ (mm)). Rows include スイッチ (一般), コット, 防水型コンセント, 分電盤, etc.

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
3.2 図面上の縮尺
3.3 疑義
3.4 工事用図面

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include ① 建築版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書, ② 建築工事特記仕様書による.

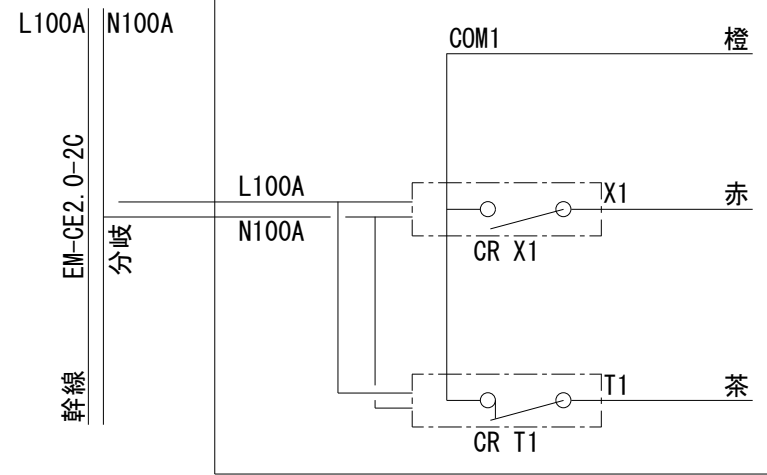
Summary table with columns: Design Date (設計年月日), Drawing Scale (縮尺), Work Name (工事名称), Location (図名), Drawing No. (図面番号).

● 空気調和設備	① 設計温度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>26℃</td> <td>9%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	9%	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（O）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・IXとし範囲は図示による）</p> <p>⑧ 試運転調整 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>
	外 気		屋 内																														
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																										
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%	9%																										
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	9%																										
② 総合試運転調整	<p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p> <p>3 煙 道 10 ダンパー</p>																																
● 空気熱源ヒートポンプ空調機	⑪ 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（SXDのACI'レハ'イ'相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ステンレス鋼管 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p>	<p>8 煙 突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンパー 9 吹出口及び吸込口ボックス</p>																														
	⑫ 井 類 17 冷却塔	<p>13 温 度 計 14 圧 力 計 15 瞬 間 流 量 計 16 油 面 制 御 装 置</p>																															
● 自動制御	<p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能 図示による</p> <p>3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>A 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。</p>																																
○ 排水設備	<p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td> <p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ※SGP（白） ・</p> <p>厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td> <p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td> <p>地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・胴形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP</p> </td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td> <p>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。</p> <p>2 洗面器等の排水管</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による</p>	施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	<p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ※SGP（白） ・</p> <p>厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>	汚水配管	<p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>	共通	<p>地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・胴形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP</p>	通気配管	<p>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																						
施 工 箇 所	管 種 別																																
雑排水配管	<p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ※SGP（白） ・</p> <p>厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																
汚水配管	<p>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																
共通	<p>地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・胴形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP</p>																																
通気配管	<p>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																

		参考工程表																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
工 事 項 目	月 日	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)			
学校運営		学校休業																																			
契約		契約																																			
書類作成		書類作成																																			
準備工事		準備工事																																			
共通仮設工事		共通仮設工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
空調設備工事に伴う建築工事		空調設備工事に伴う建築工事																																			
空調設備工事に伴う電気設備工事		空調設備工事に伴う電気設備工事																																			
アリーナLED化工事		アリーナLED化工事																																			
建築改修工事		建築改修工事																																			
受電設備工事		受電設備工事																																			
検査		検査																																			

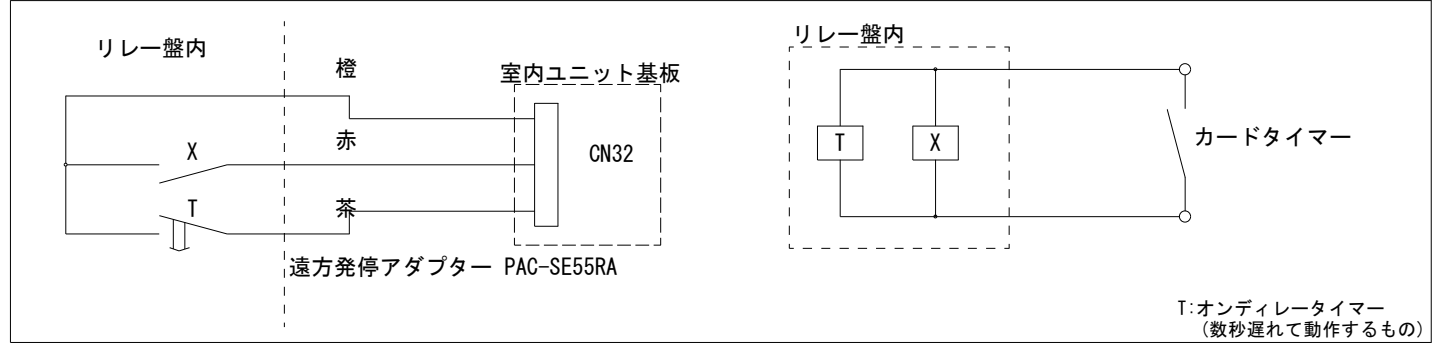
この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。

リレー盤



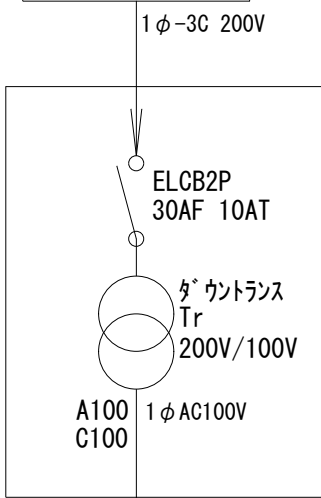
<配線図>

プリペイドカードを入れるとエアコンは運転、タイマーONの間のみリモコン操作を可能とする設定



T:オンディレイタイマー
(数秒遅れて動作するもの)

空調用動力盤



[動作]

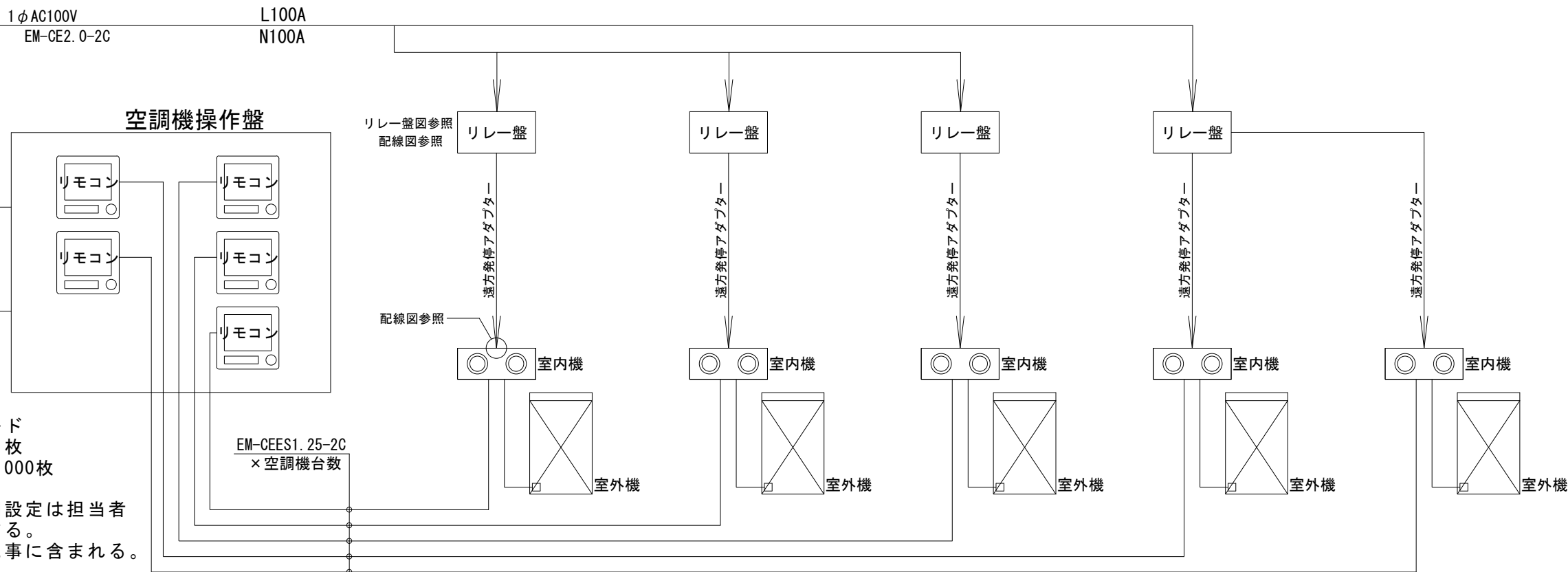
カードタイマー接点 オンディレイタイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON	タイマー制御/運転開始→	許可	許可
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御	(オンディレイタイマー接点OFF後)	
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。

カードタイマー運転フロー

- ①カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。
カードタイマーからカードが自動で出てくる。
連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。
カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ②自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定を引き継ぐ。
リモコンの操作ロックが解除される。
リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残数は減り続ける。
- ③カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。
リモコンの操作はロックされる。

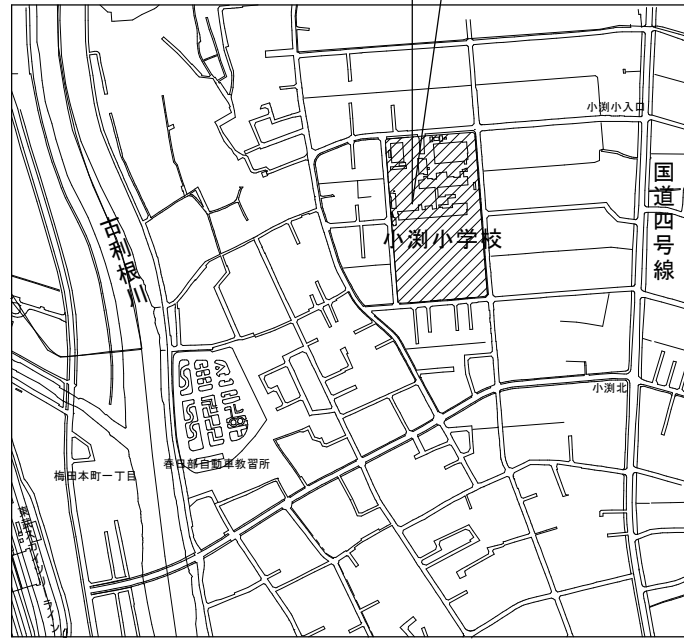
空調機操作盤



カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者と協議により決定する。
カードの納品は本工事に含まれる。

本工事場所:春日部市小湊905番地1



案内図

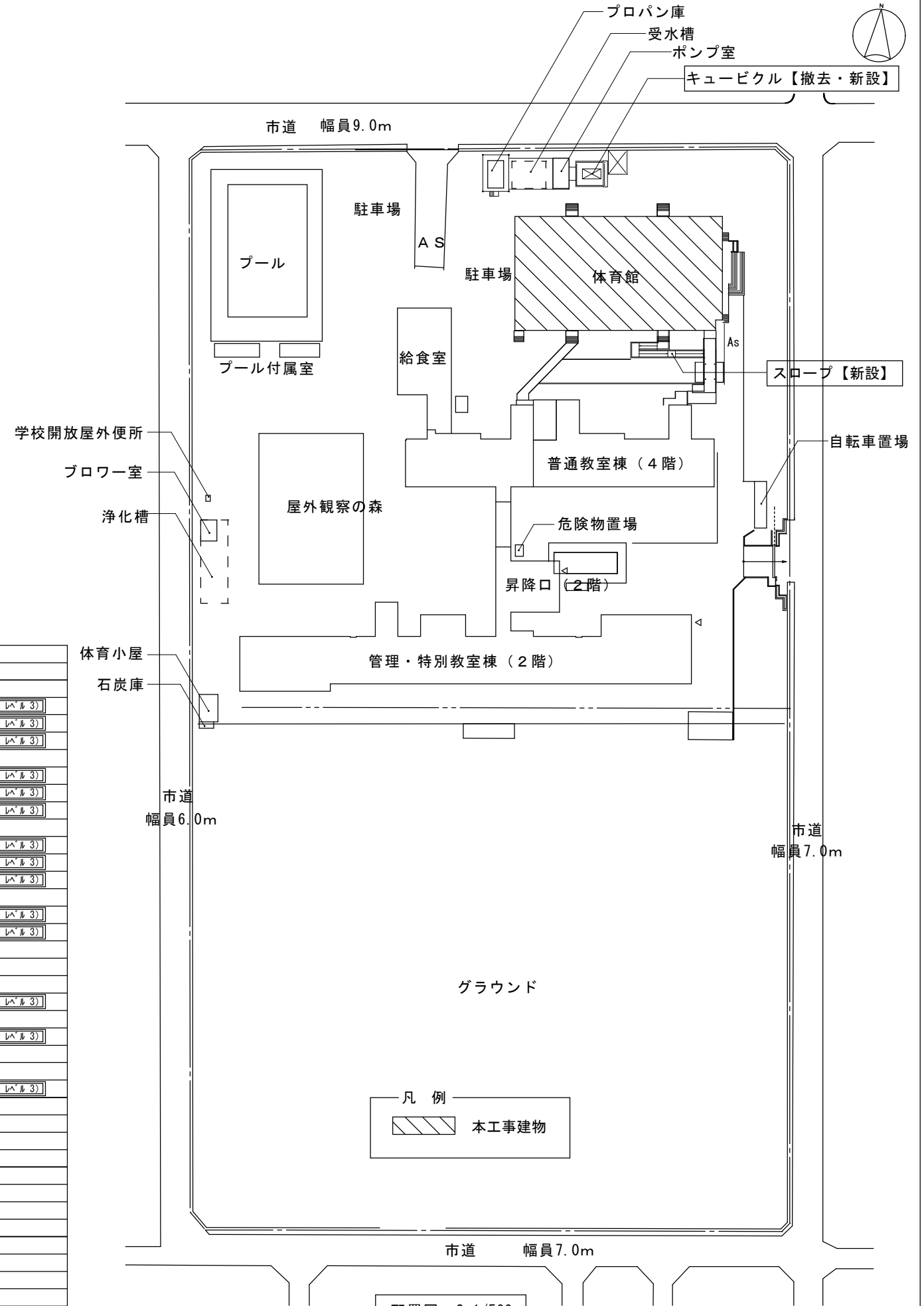
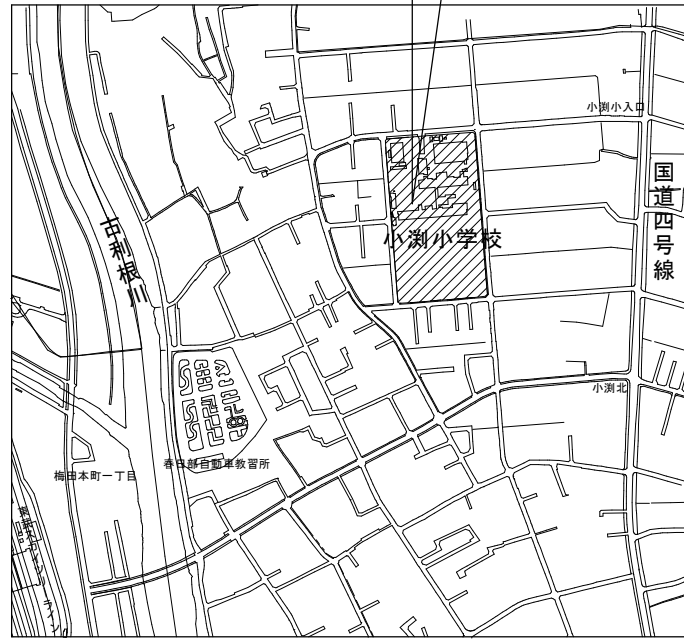


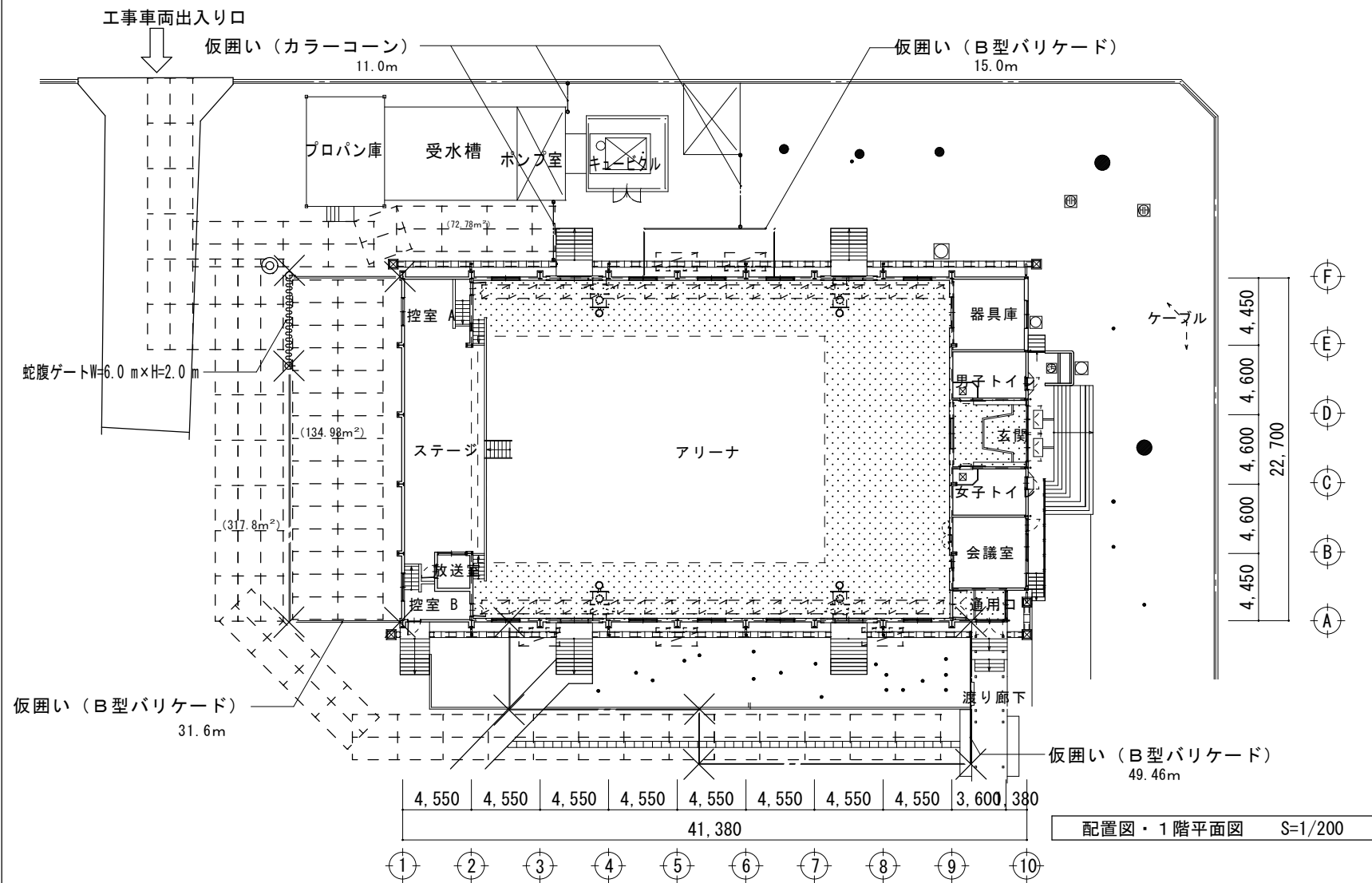
Table with two main sections: '外部仕上げ表' (Exterior Finishing Table) and '内部仕上げ表' (Interior Finishing Table). It lists various construction items and their specifications.

配置図 S=1/500

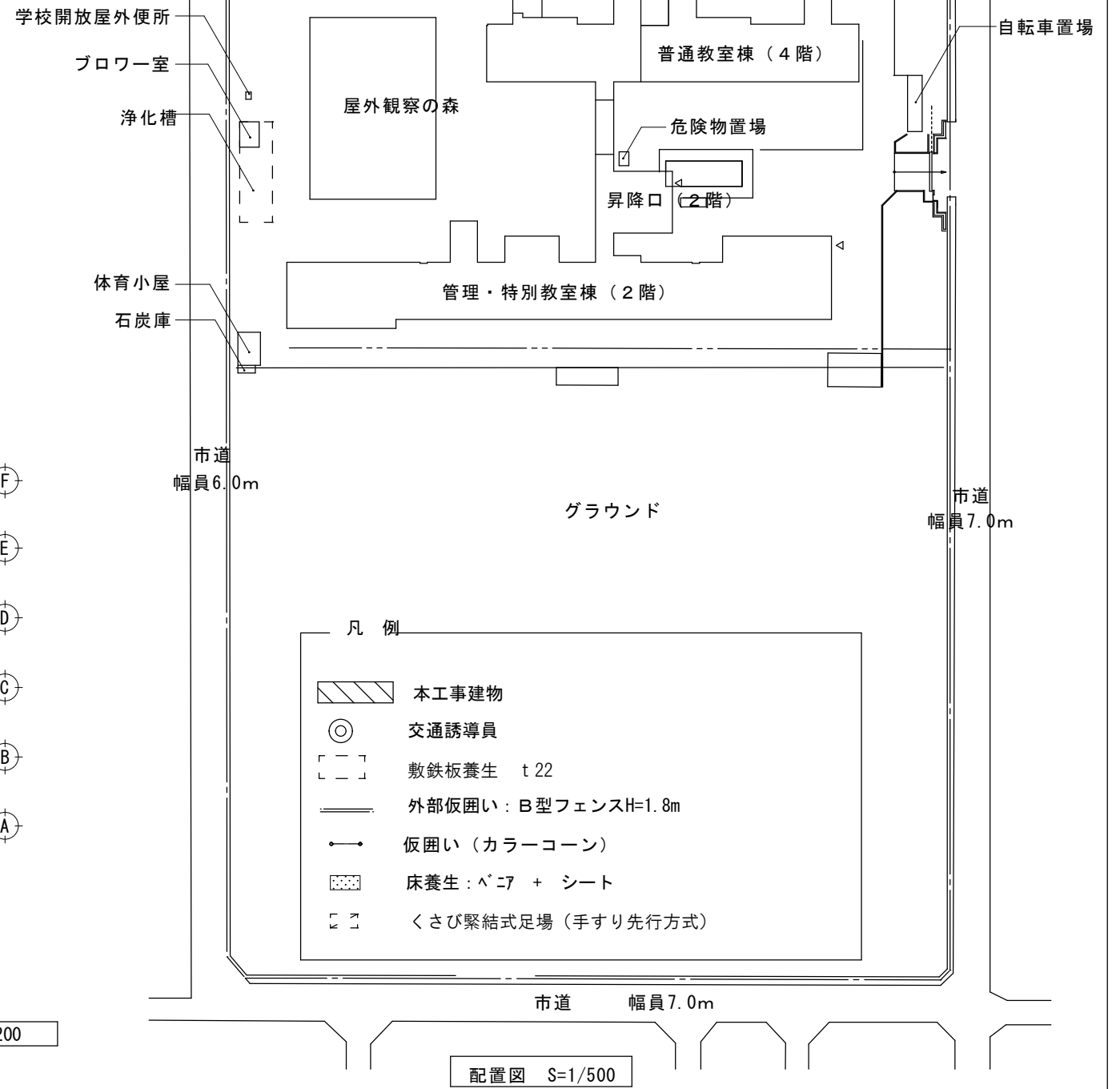
本工事場所:春日部市小淵905番地1



案内図

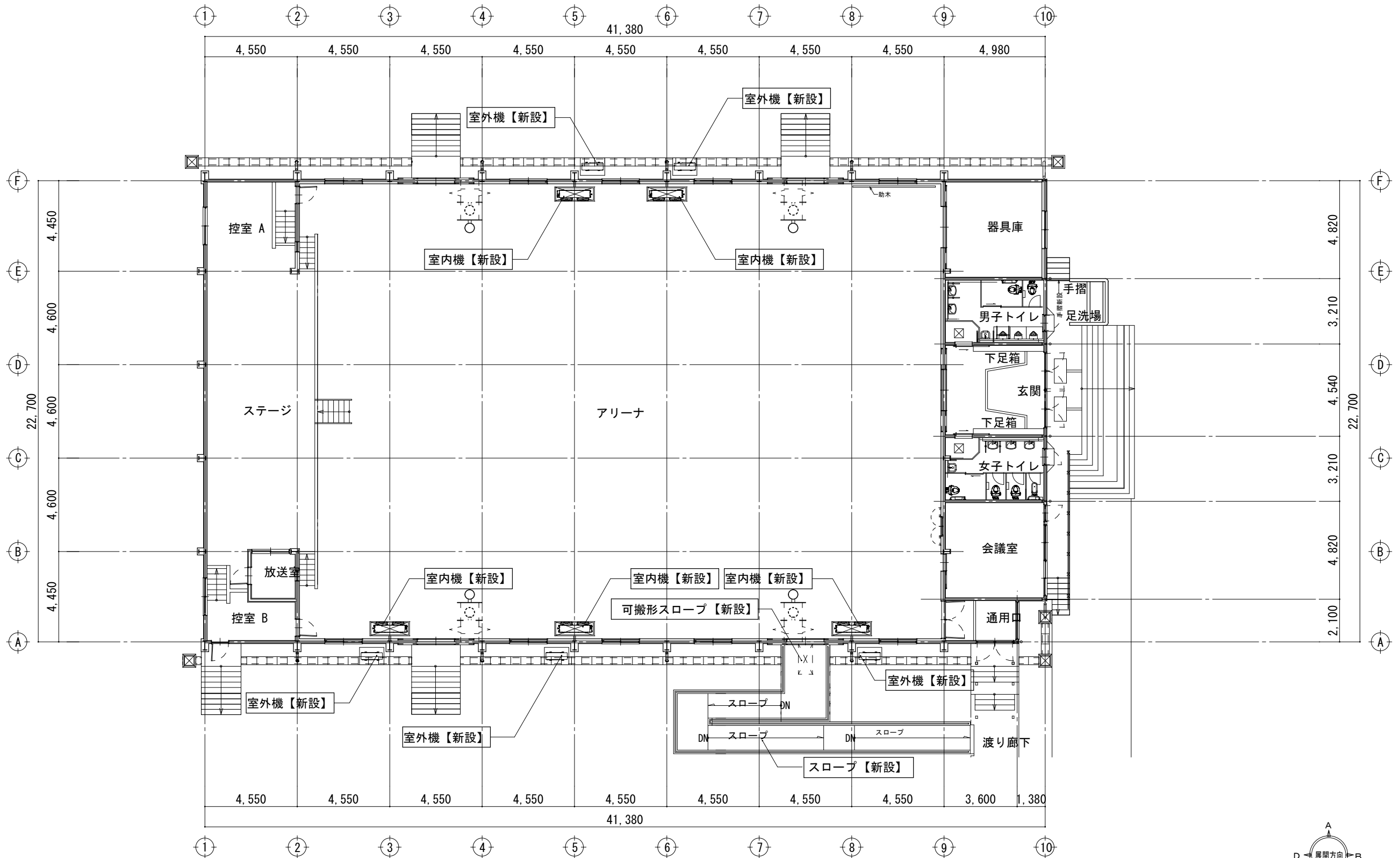


配置図・1階平面図 S=1/200

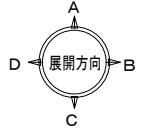


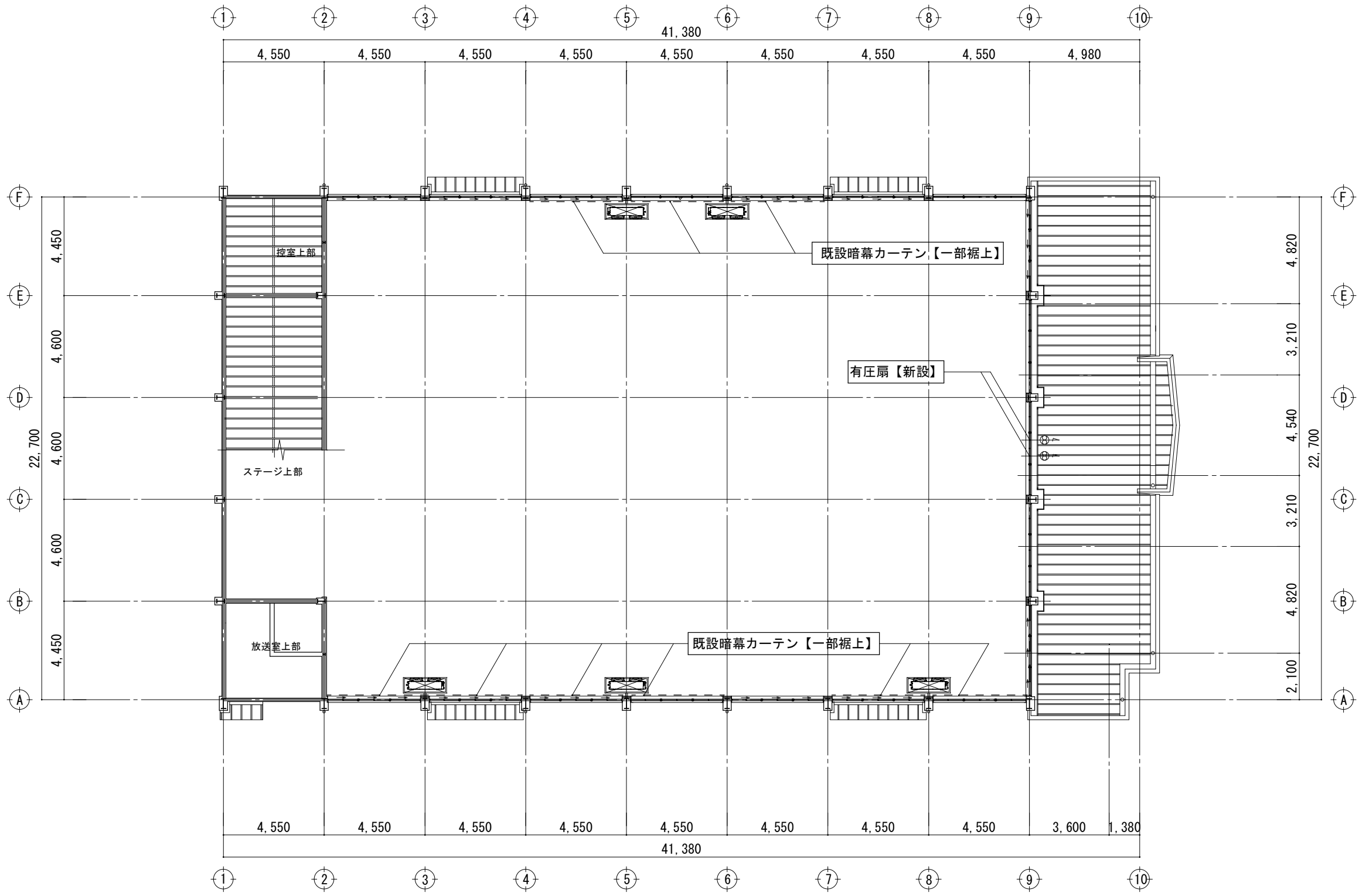
配置図 S=1/500

- 凡例
- 本工事建物
 - 交通誘導員
 - 敷鉄板養生 t22
 - 外部仮囲い: B型フェンスH=1.8m
 - 仮囲い(カラーコーン)
 - 床養生: ベニヤ + シート
 - くさび緊結式足場(手すり先行方式)

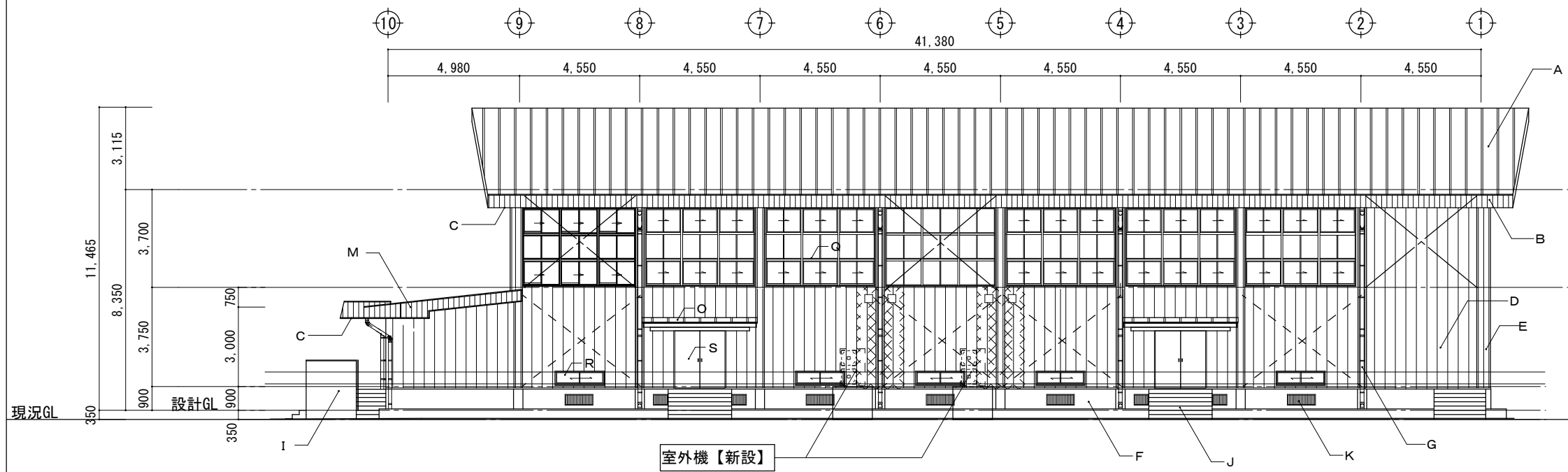


1階平面図 S=1/100






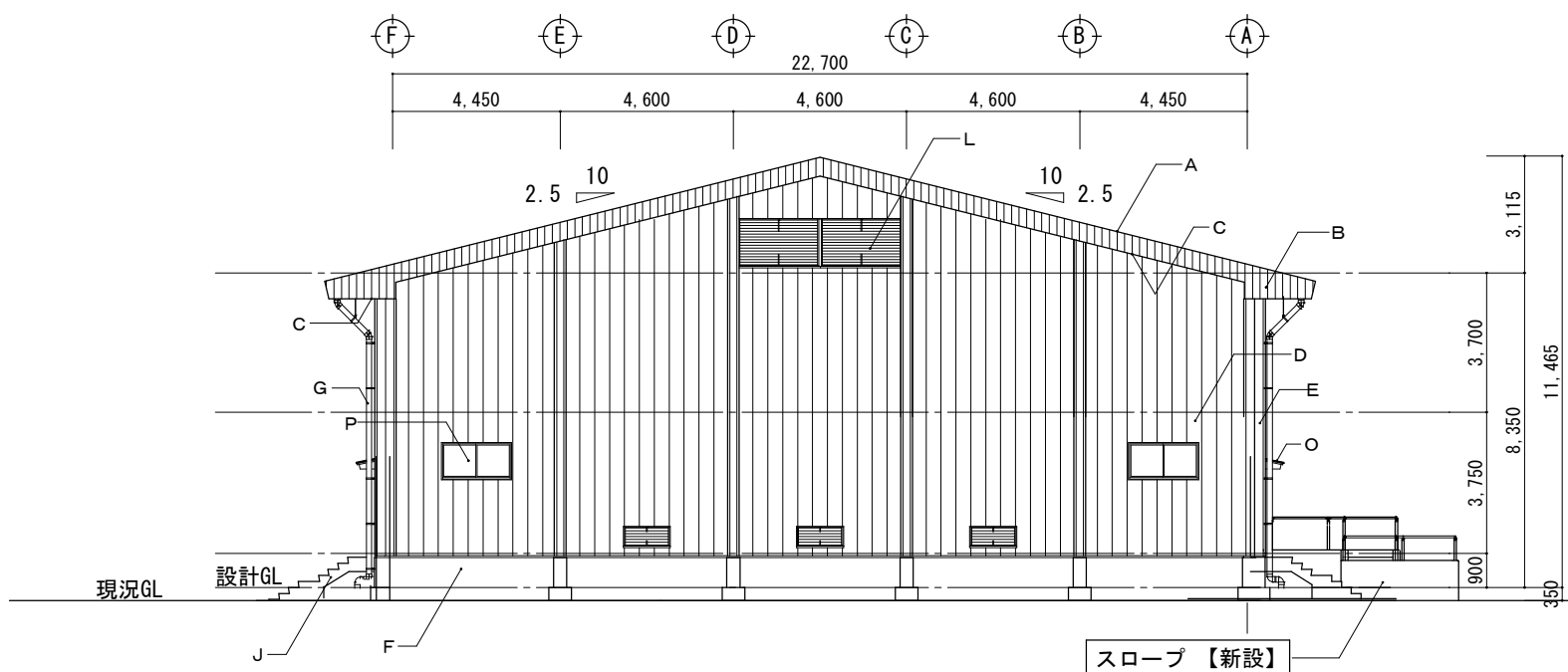
中間階平面図 S=1/100



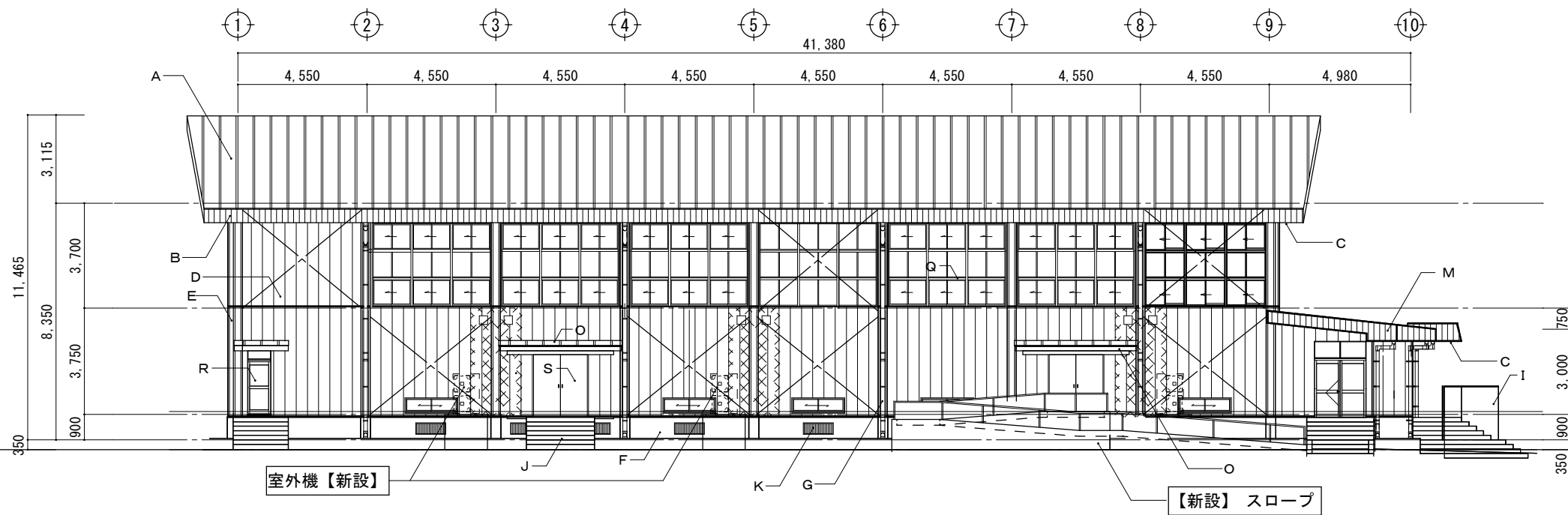
北側立面図 S=1/100

凡例
 : 外壁【撤去・新設】


符号	部位	仕上げ
A	屋根	長尺カラー鉄板 (#28) 瓦棒葺き 下地調整 超速硬化ウレタン防水、遮熱塗装 (全厚2.0) 一部カラーガルバリュウム鋼板 (厚0.35) 葺
B	ボーダー	角波カラー鉄板 (#28) 張り、笠木及び水切り共 DP塗装
C	軒裏	厚6.0ケイ酸カルシウム板目透し張り EP 軽鉄天井下地
D	外壁	金属サイディング縦張り (厚15) 遮熱フッ素樹脂塗装 ガルバ鋼板 (t=0.35) 芯材:ホリソシアスレートフォーム 裏面材:7ミリ紙、防水紙張り、石膏ボード捨張り 厚15 (防火構造:PC030NE-0084)
E	柱型	金属サイディング縦張り (厚15) 遮熱フッ素樹脂塗装 ガルバ鋼板 (t=0.35) 芯材:ホリソシアスレートフォーム 裏面材:7ミリ紙、防水紙張り、石膏ボード捨張り厚15、胴縁(C-100x50x20x2.3) (防火構造:PC030NE-0084)
F	布基礎	モルタル金こて仕上げ
G	竖樋	体育館:硬質カラー塩ビ管φ125 下屋部:硬質カラー塩ビ管φ100
I	足洗い場	外:モルタル刷毛引き塗、アクリルリシン吹付け、内:人造石研出し仕上
J	外階段	モルタル金こて仕上げ、ノンスリップタイル貼り (150x66) 玄関廻り、A、F通り~段増設 (既存部とは縁切)
K	床下換気口	縦格子 DP塗装、裏面ステンレス防虫網
L	換気ガラリ	アルミ製
M	パラペット	角波カラー鉄板 (#28) 張り DP塗装
O	庇	長尺カラー鉄板 (#28) 瓦棒葺き 幕板共 DP塗装、軒天井:EP
P	窓	アルミ製サッシ
Q	高窓	アルミ製サッシ (片引き窓+Fix窓) オペレーター付
R	地窓	アルミ製サッシ (被せ工法) 防球格子:EP-G
S	引分け戸	スチール製 DP



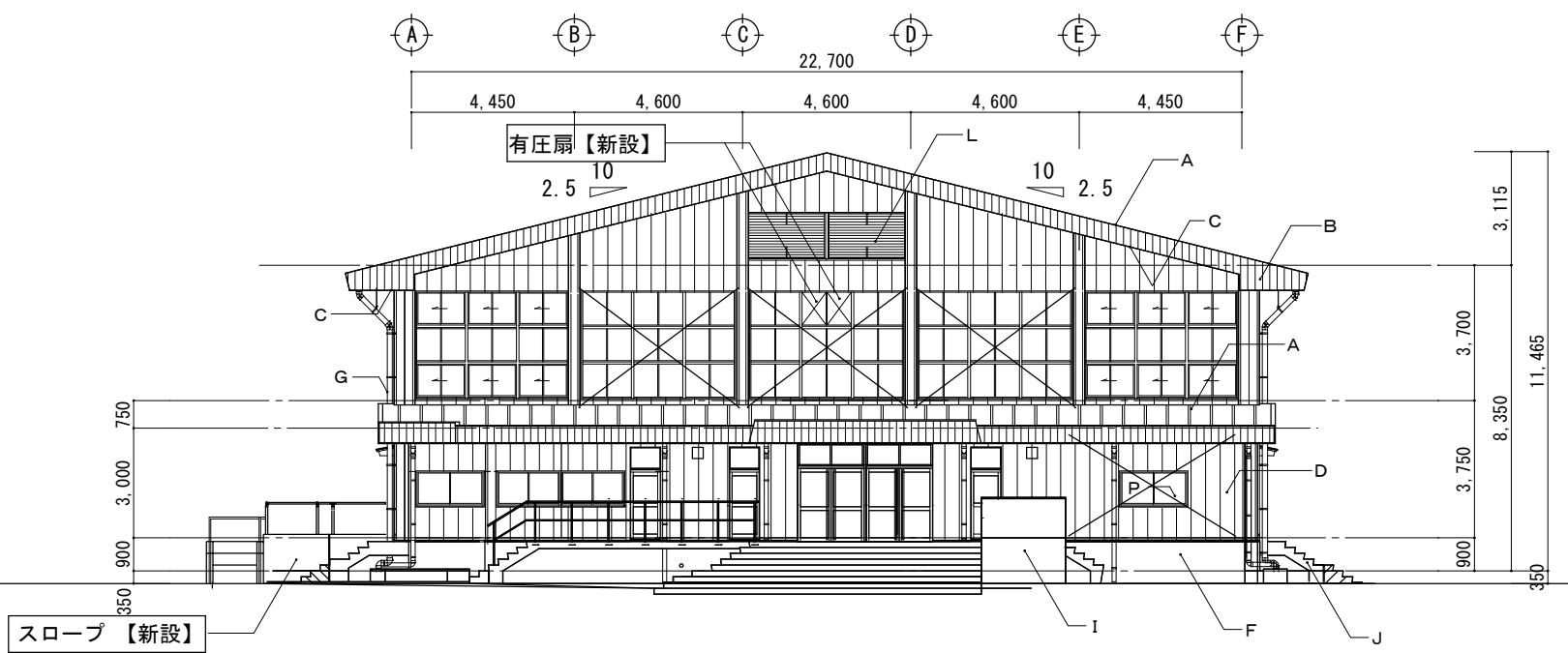
西側立面図 S=1/100



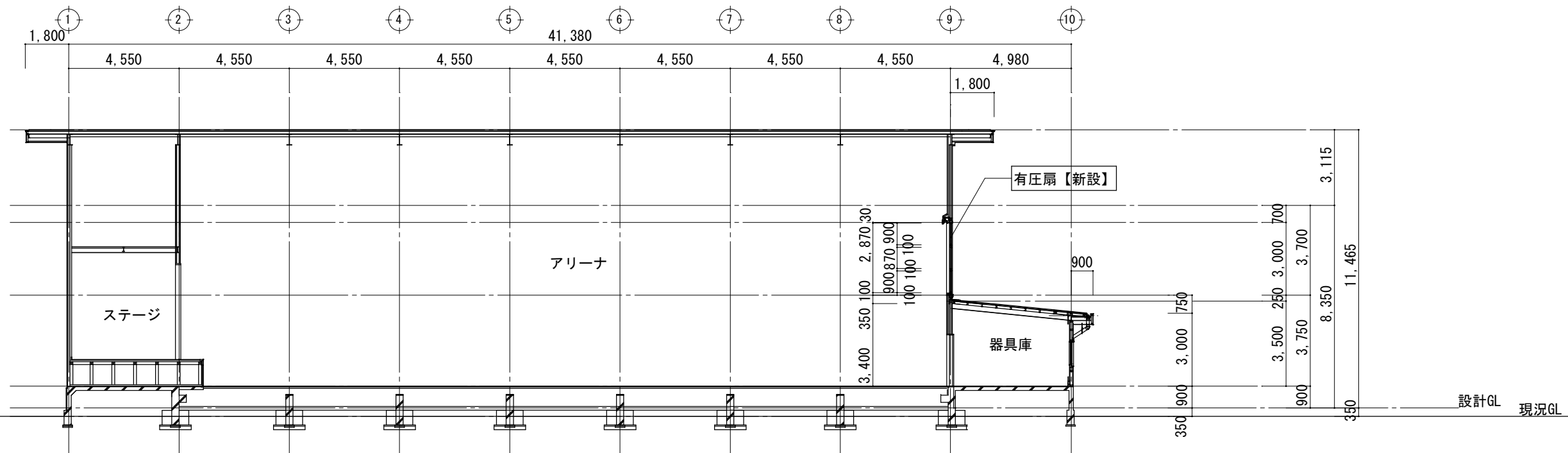
南側立面図 S=1/100

凡例
 : 外壁【撤去・新設】

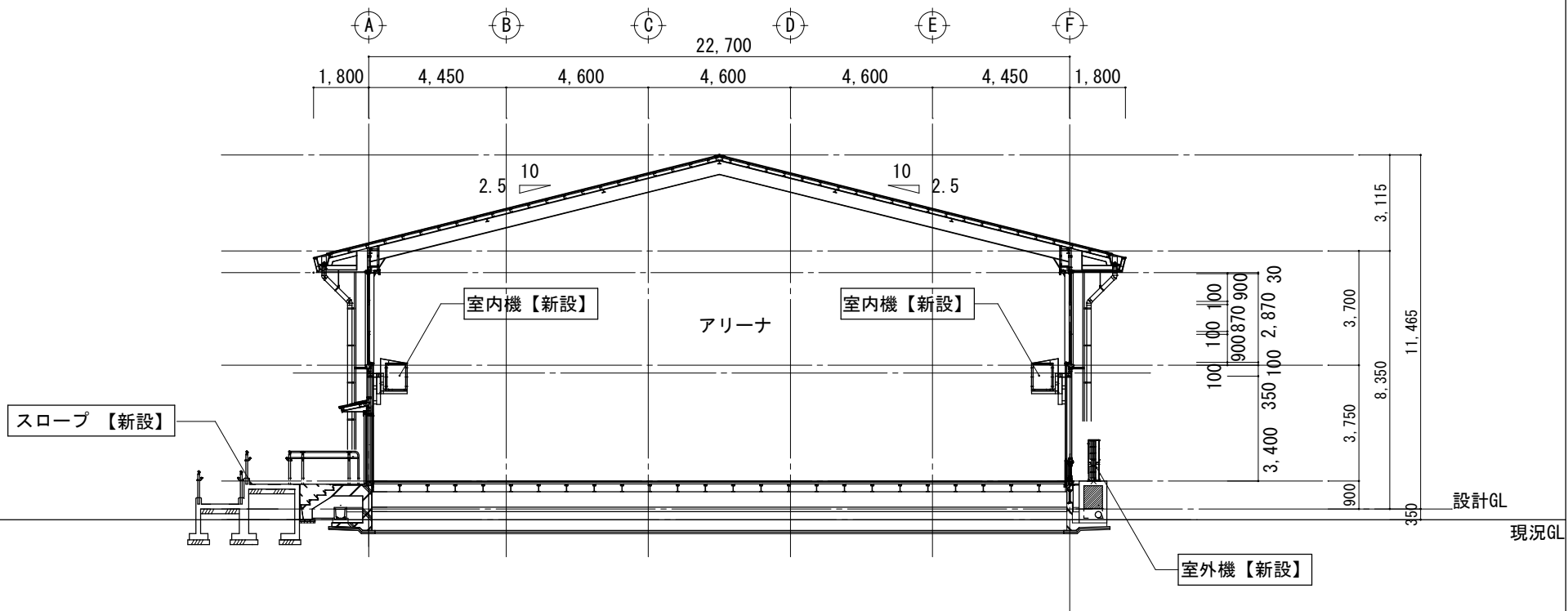
符号	部位	仕上げ
A	屋根	長尺カラー鉄板 (#28) 瓦棒葺き 下地調整 超速硬化ウレタン防水、遮熱塗装 (全厚2.0) 一部カラーガルバリューム鋼板 (厚0.35) 葺
B	ポーチ	角波カラー鉄板 (#28) 張り、笠木及び水切り共 DP塗装
C	軒裏	厚6.0ケイ酸カルシウム板目透し張り EP 軽鉄天井下地
D	外壁	金属サイディング縦張り (厚15) 遮熱フッ素樹脂塗装 ガルバ鋼板 (t=0.35) 芯材:ポリウレタンフォーム 裏面材:7mm紙、防水紙張り、石膏ボード捨張り 厚15 (防火構造:PC030NE-0084)
E	柱型	金属サイディング縦張り (厚15) 遮熱フッ素樹脂塗装 ガルバ鋼板 (t=0.35) 芯材:ポリウレタンフォーム 裏面材:7mm紙、防水紙張り、石膏ボード捨張り厚15、胴縁(C-100x50x20x2.3) (防火構造:PC030NE-0084)
F	布基礎	モルタル金ゴテ仕上げ
G	縦樋	体育館:硬質カラー塩ビ管φ125 下屋部:硬質カラー塩ビ管φ100
I	足洗い場	外:モルタル刷毛引き塗、アクリルリシン吹付け、内:人造石研出し仕上
J	外階段	モルタル金こて仕上げ、ノンスリップタイル貼り (150x66) 玄関廻り、A、F通り~段増設 (既存部とは縁切)
K	床下換気口	縦格子 DP塗装、裏面ステンレス防虫網
L	換気ガラリ	アルミ製
M	パラペット	角波カラー鉄板 (#28) 張り DP塗装
O	庇	
P	窓	アルミ製サッシ
Q	高窓	アルミ製サッシ (片引き窓+Fix窓) オペレーター付
R	地窓	アルミ製サッシ (被せ工法) 防球格子:EP-G
S	引分け戸	スチール製 DP



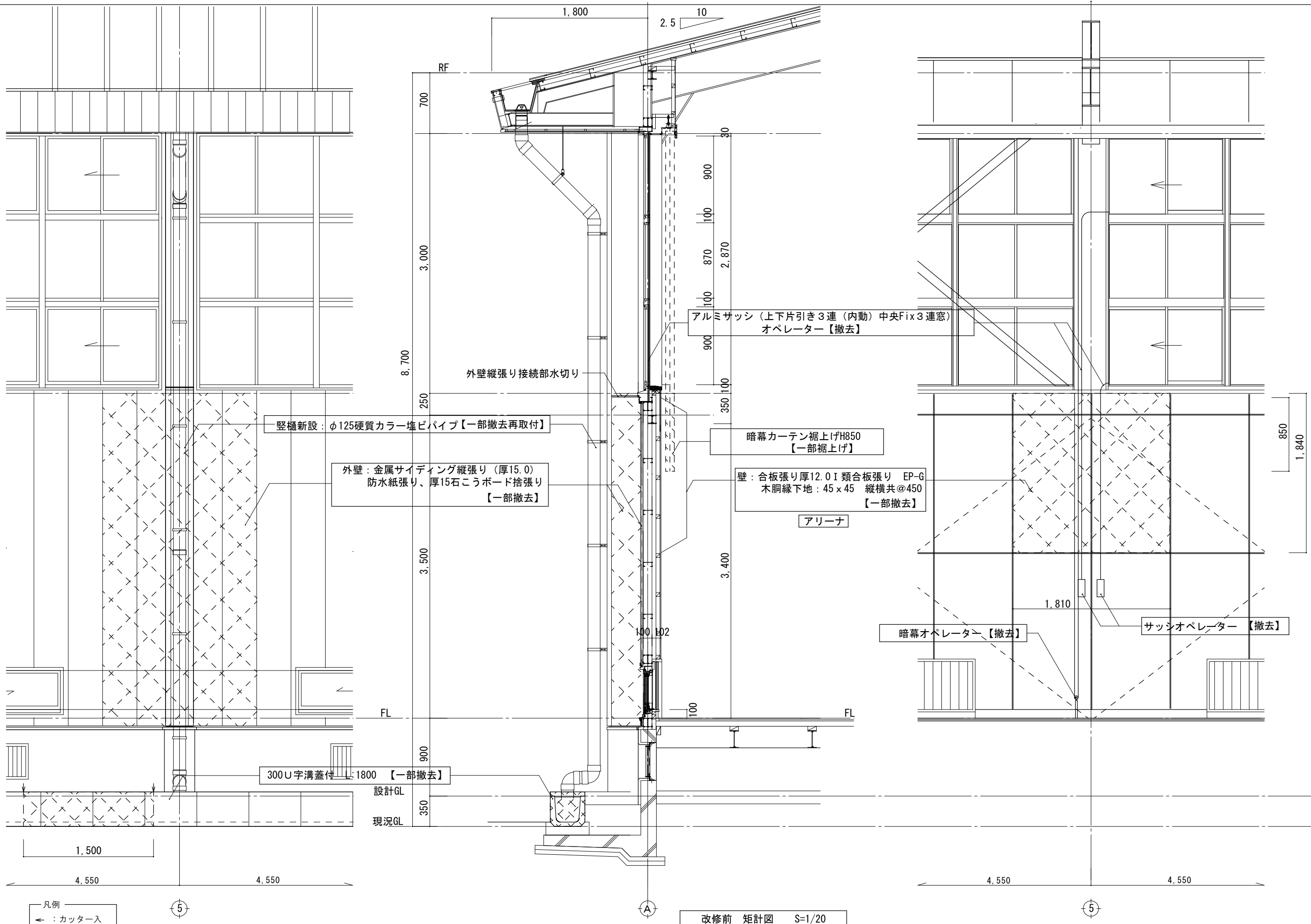
東側立面図 S=1/100



断面図 S=1/100

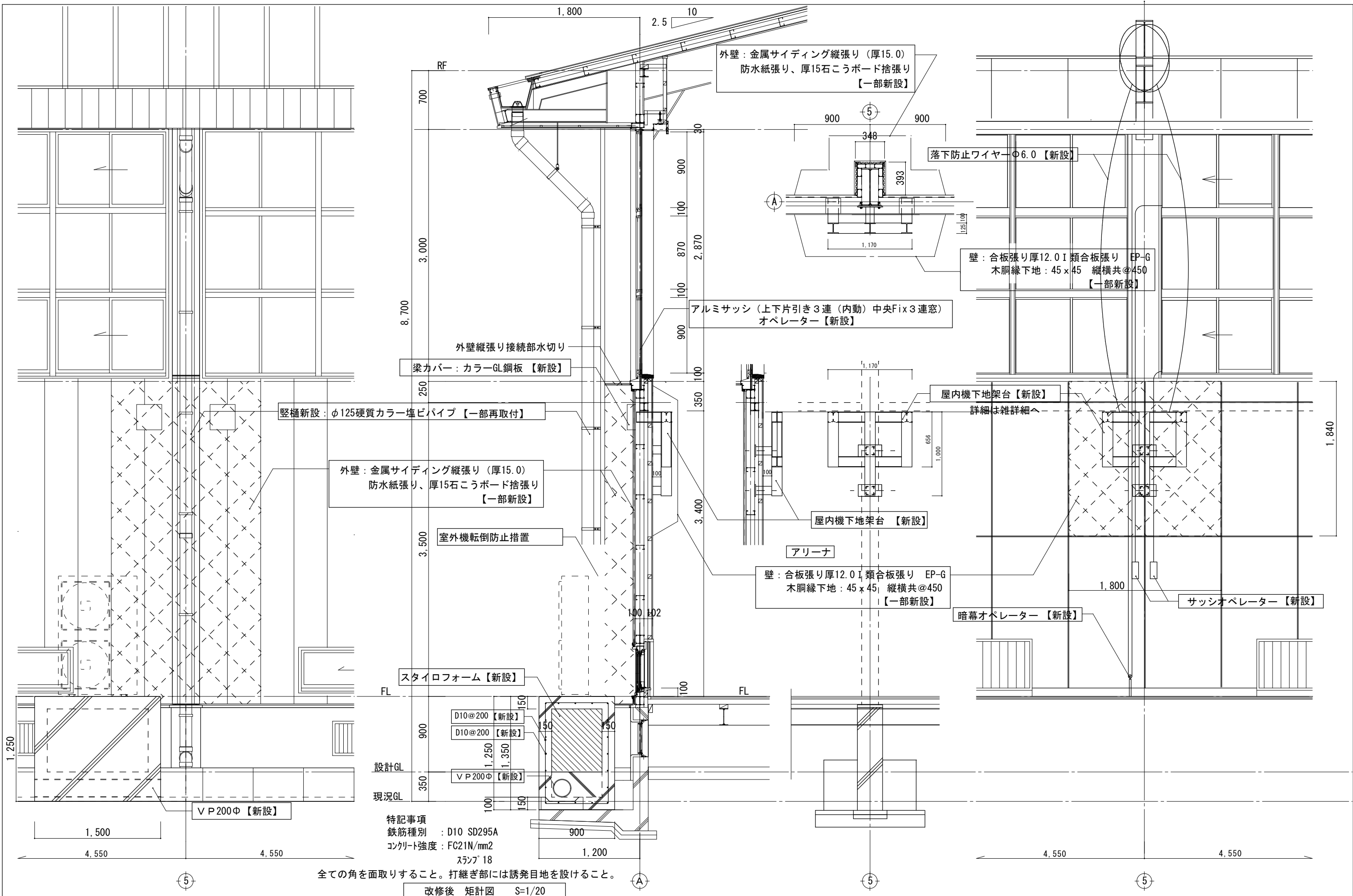


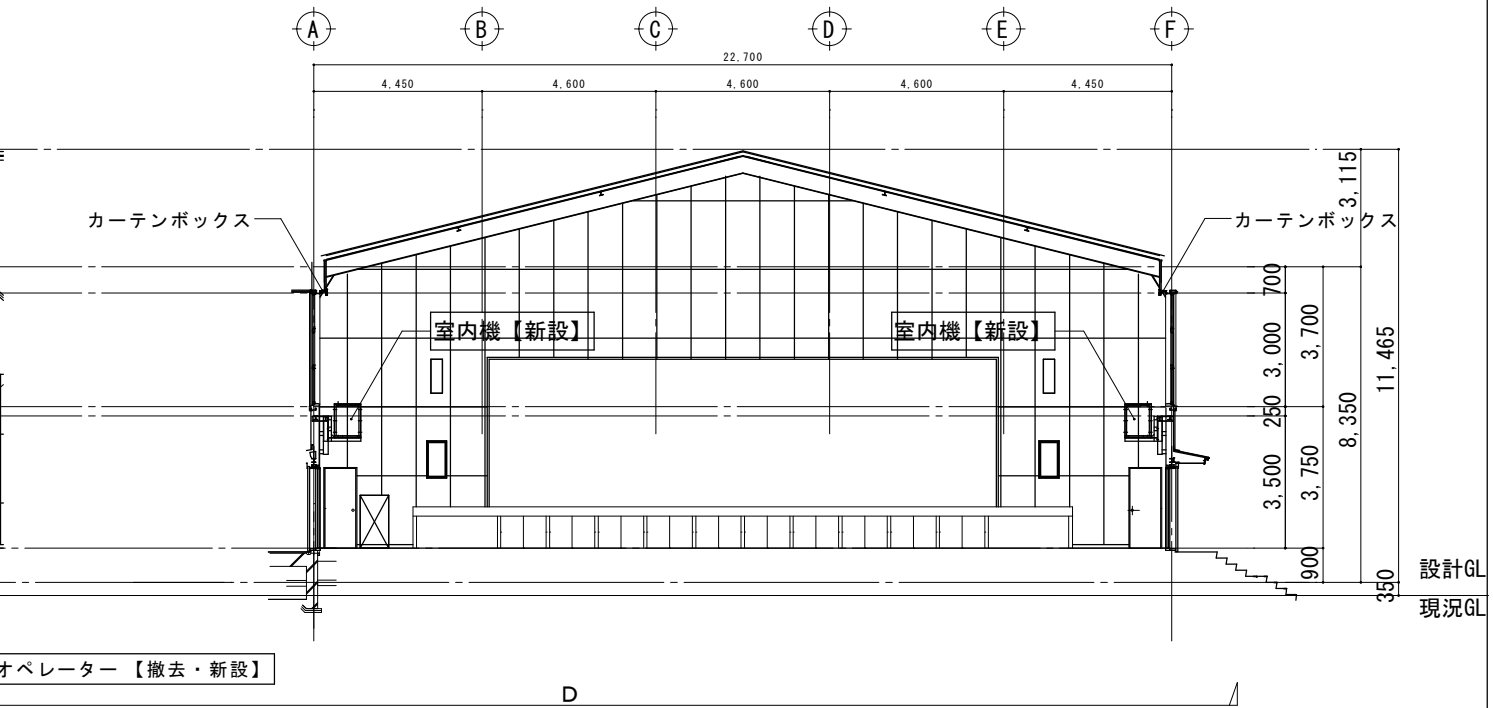
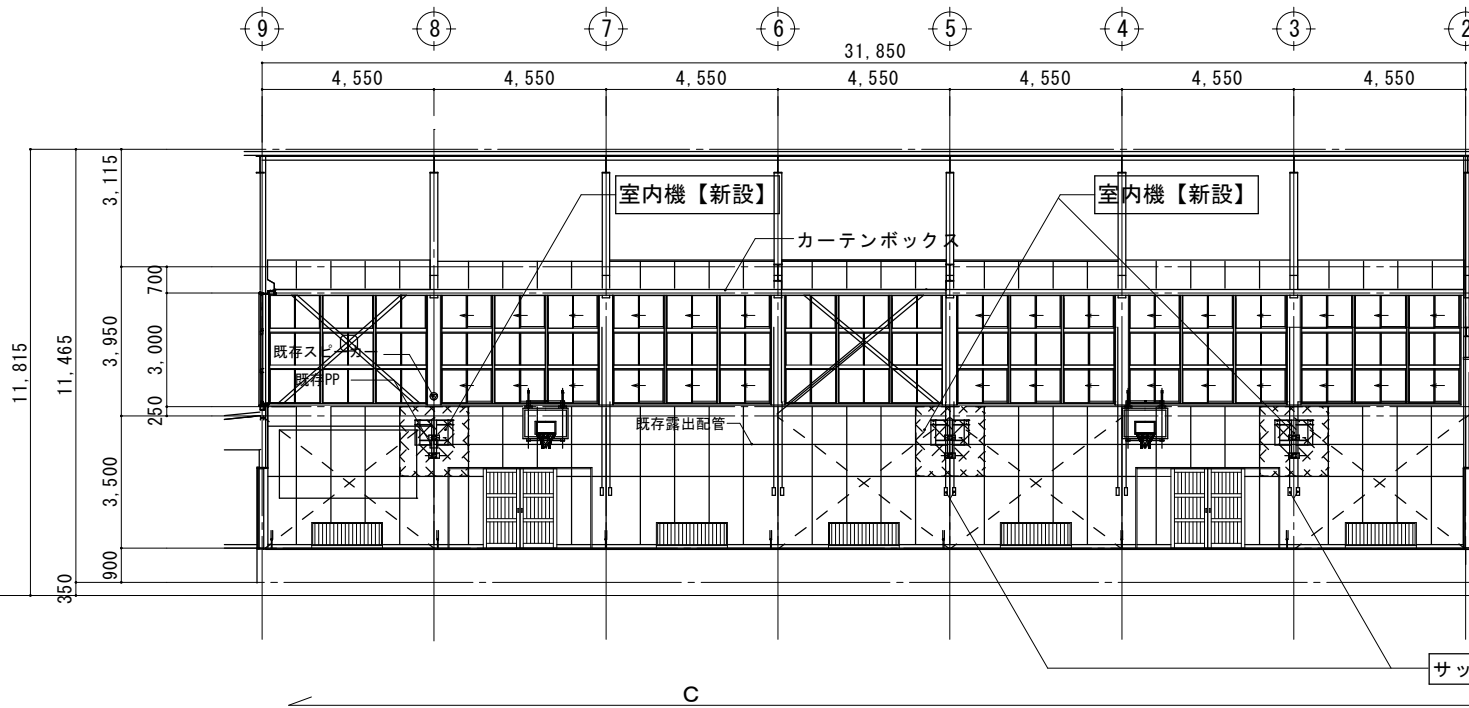
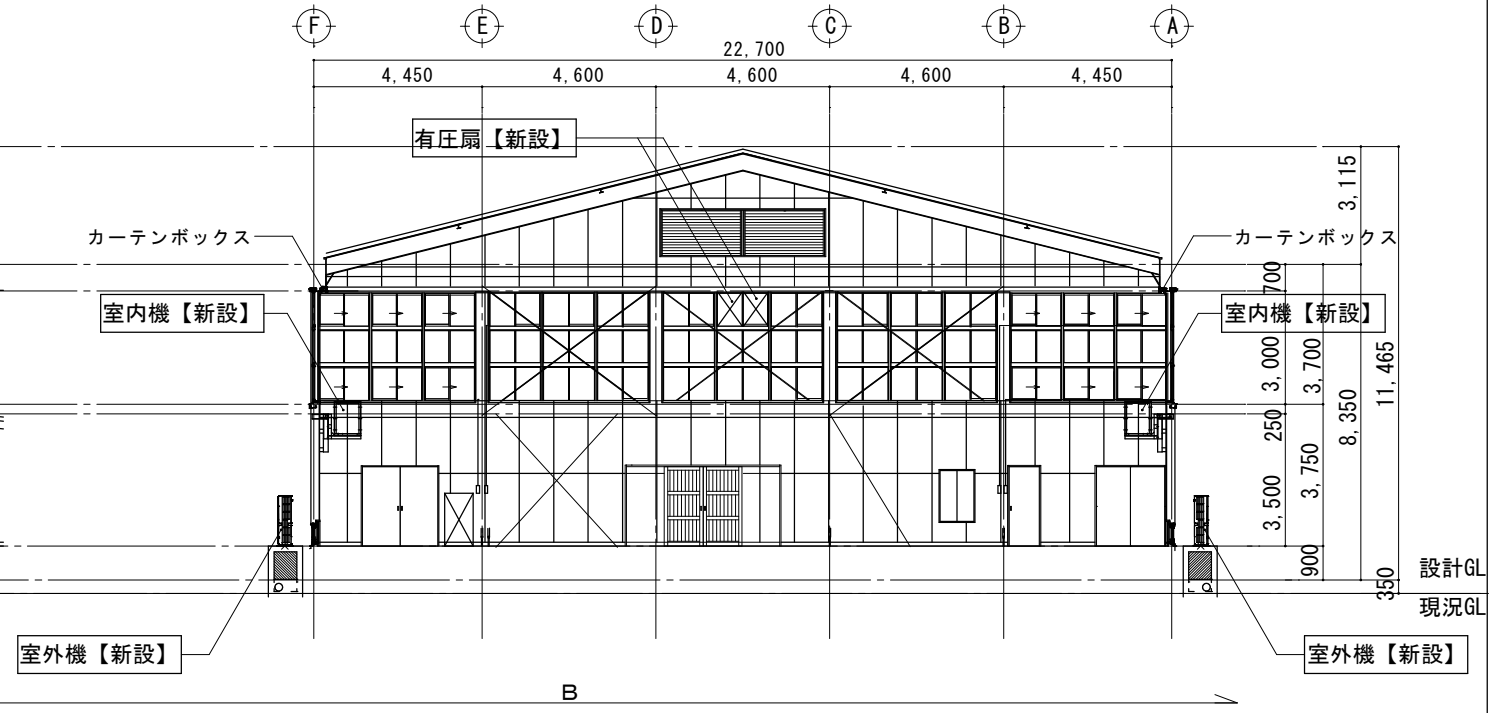
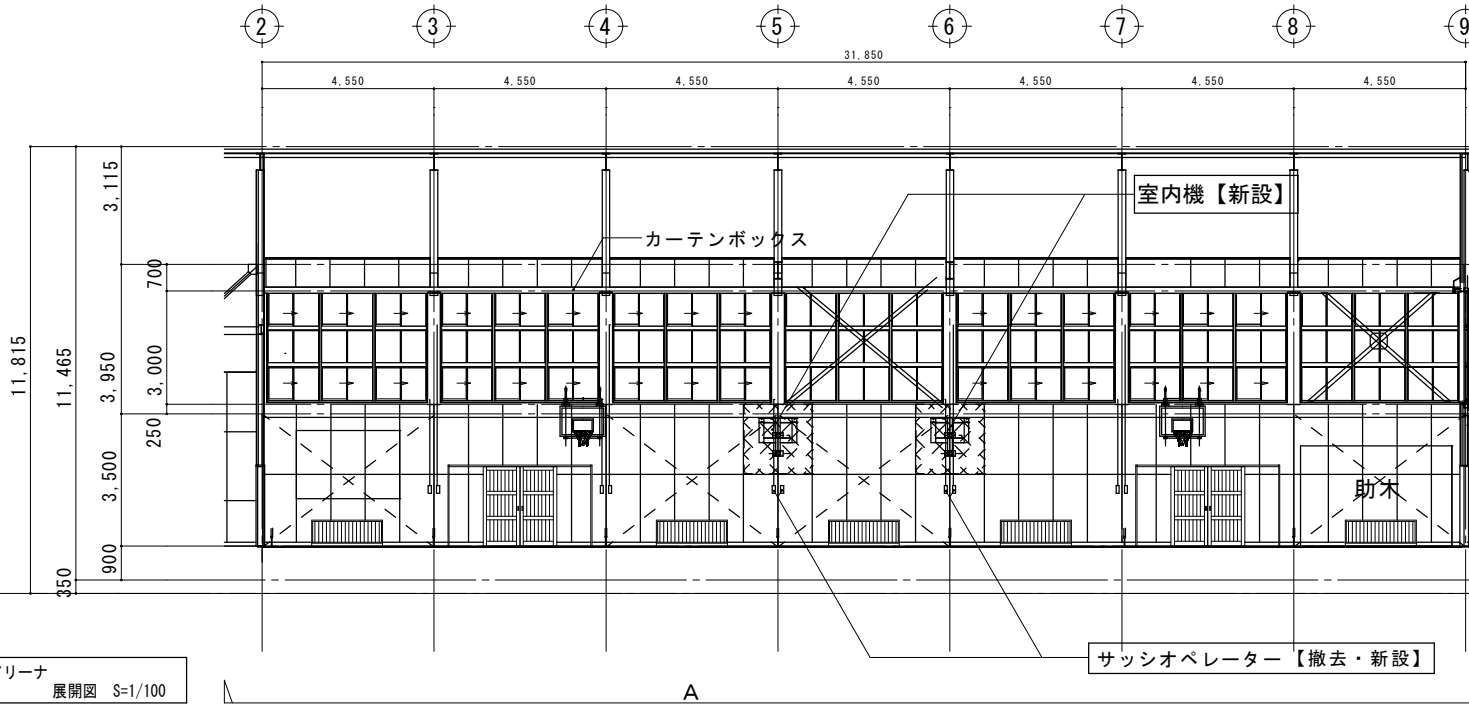
断面図 S=1/100



凡例
← : カッター入

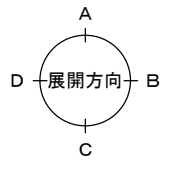
改修前 矩計図 S=1/20





凡例
 [Symbol] 壁：合板張り厚12.0 I 類合板張り EP-G
 [Symbol] 木胴縁下地：45×45 縦横共@450【撤去・新設】

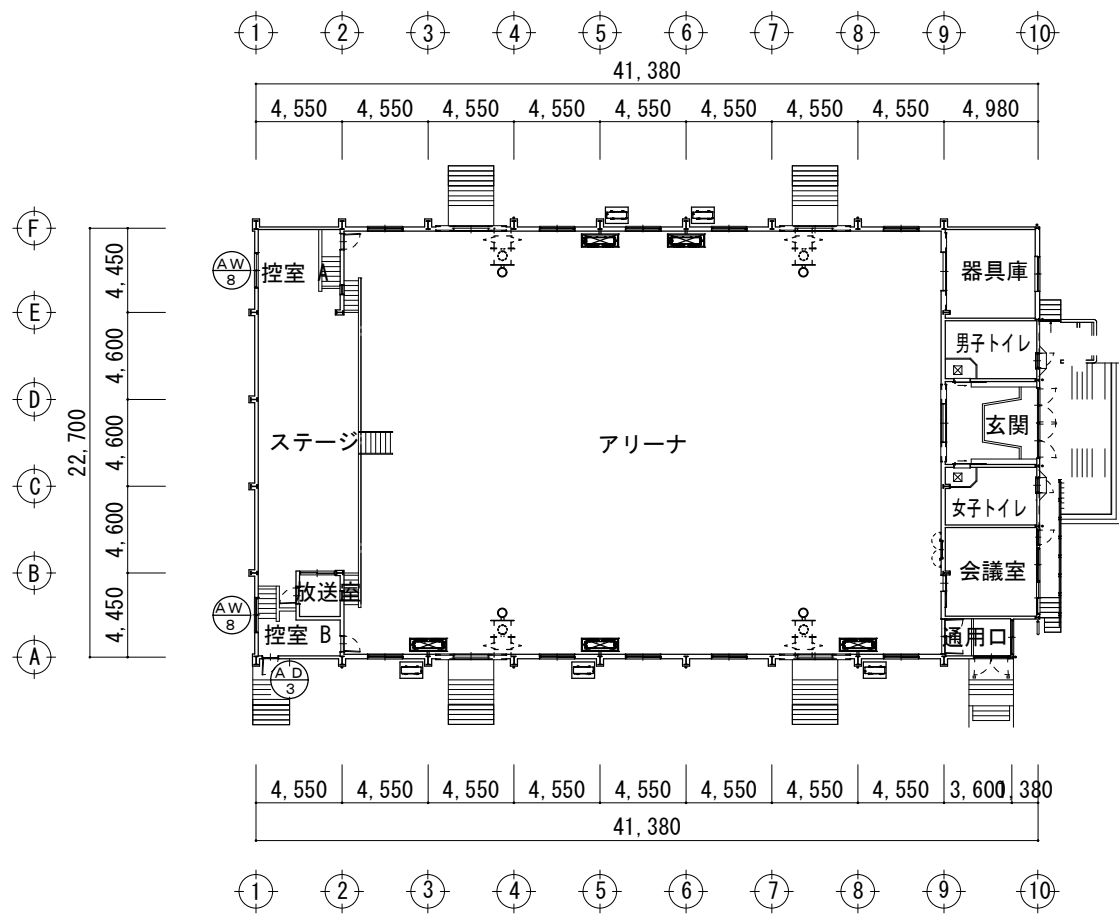
アリーナ	
床	ブナフローリング厚18特殊貼 ウレタン樹脂無溶剤形・厚膜タイプ塗装
幅木	木製巾木 H=100 EP-G
壁	高窓下部 下地胴縁、I 類合板目透し張り 厚12.0 EP-G
	高窓上部 下地胴縁、I 類合板目透し張り 厚5.5 EP-G 上部見切り材 (90×45) EP-G
天井	木毛板張り張り
備考	アルミ製カーテンボックス(下地共)、 カーテンレール(アルミ)引分け用紐付 暗幕カーテン付 アルミサッシ部：木製額縁



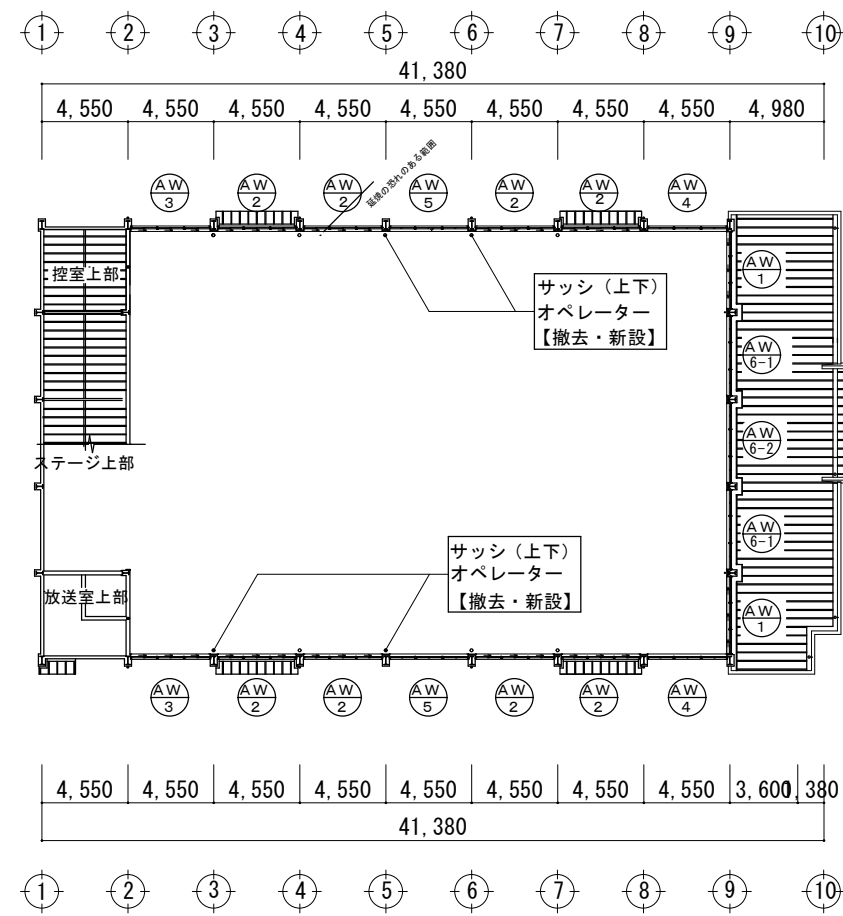
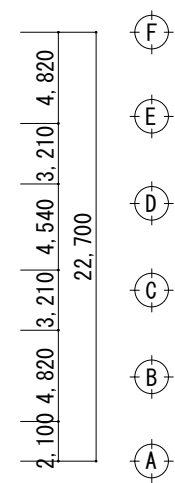
アリーナ
展開図 S=1/100

設計GL
現況GL

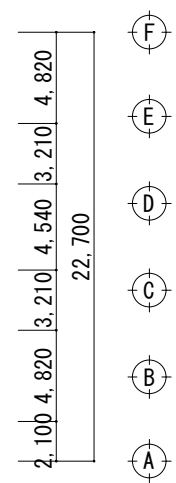
設計GL
現況GL



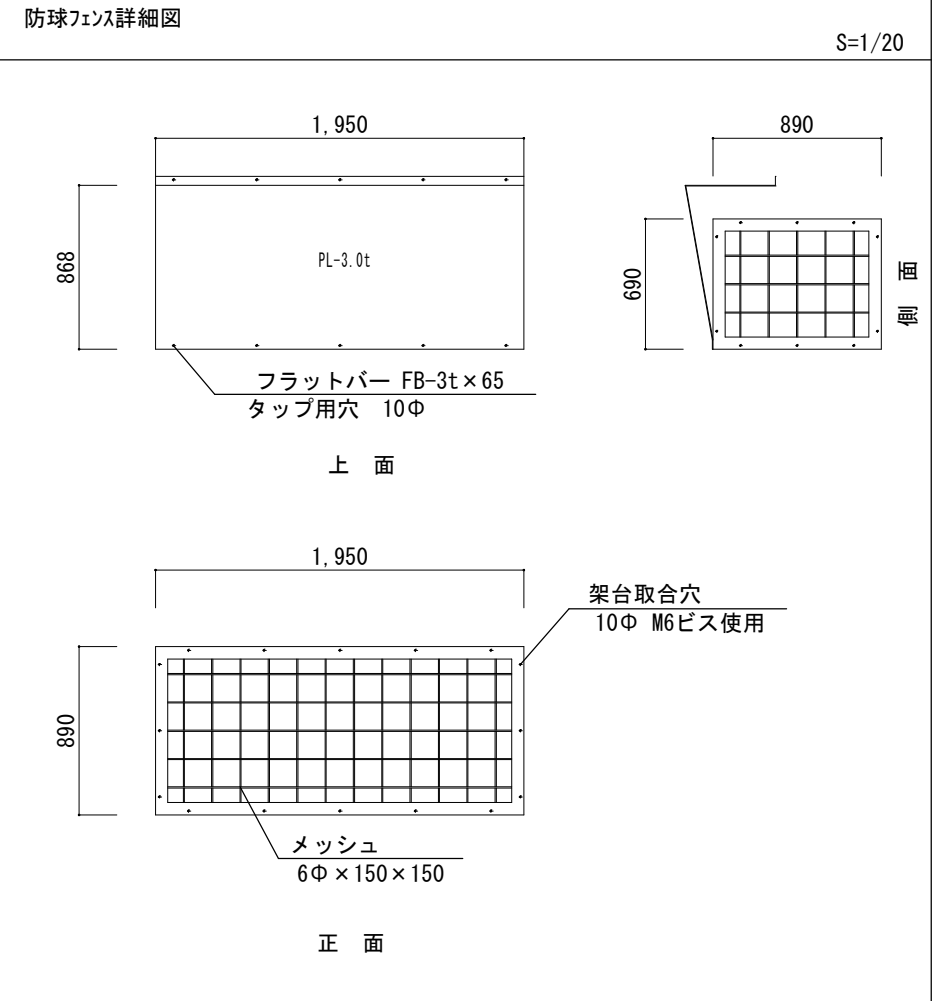
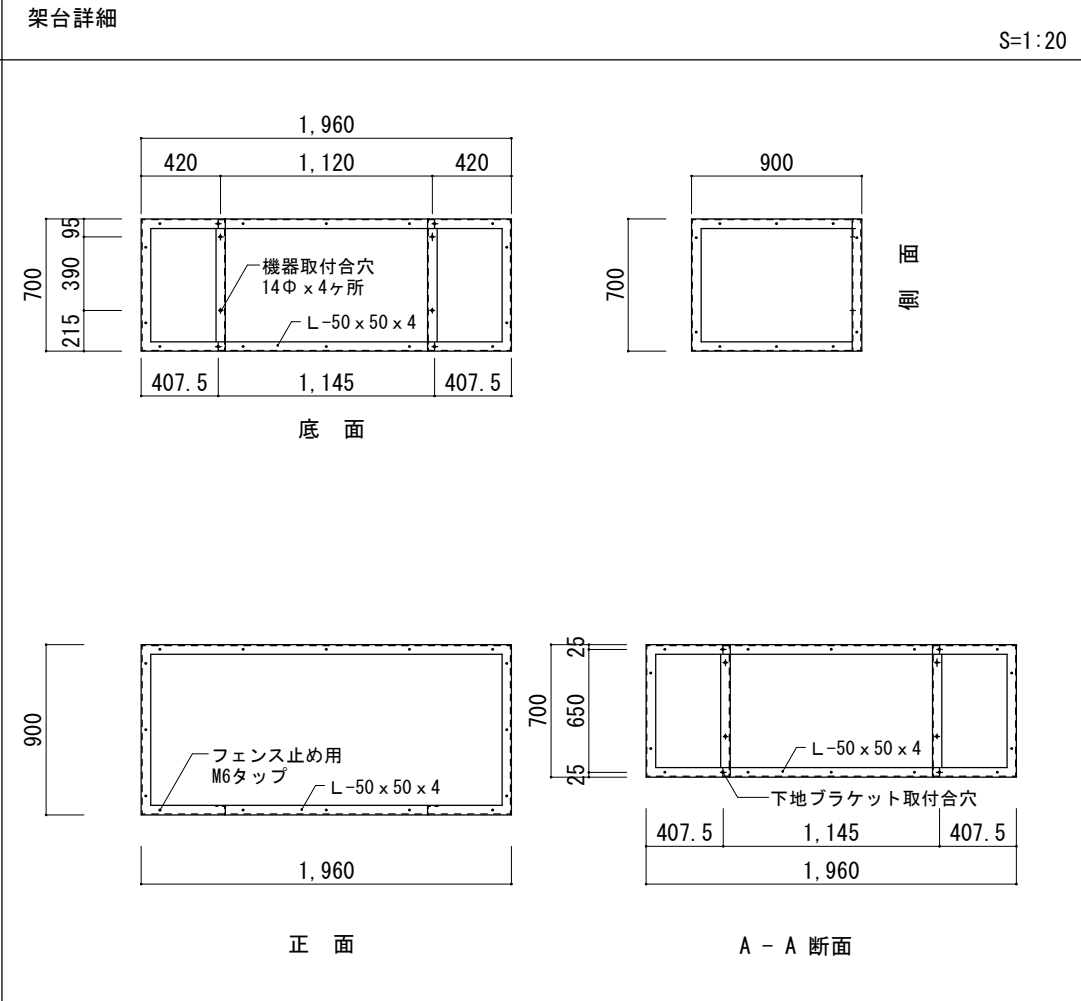
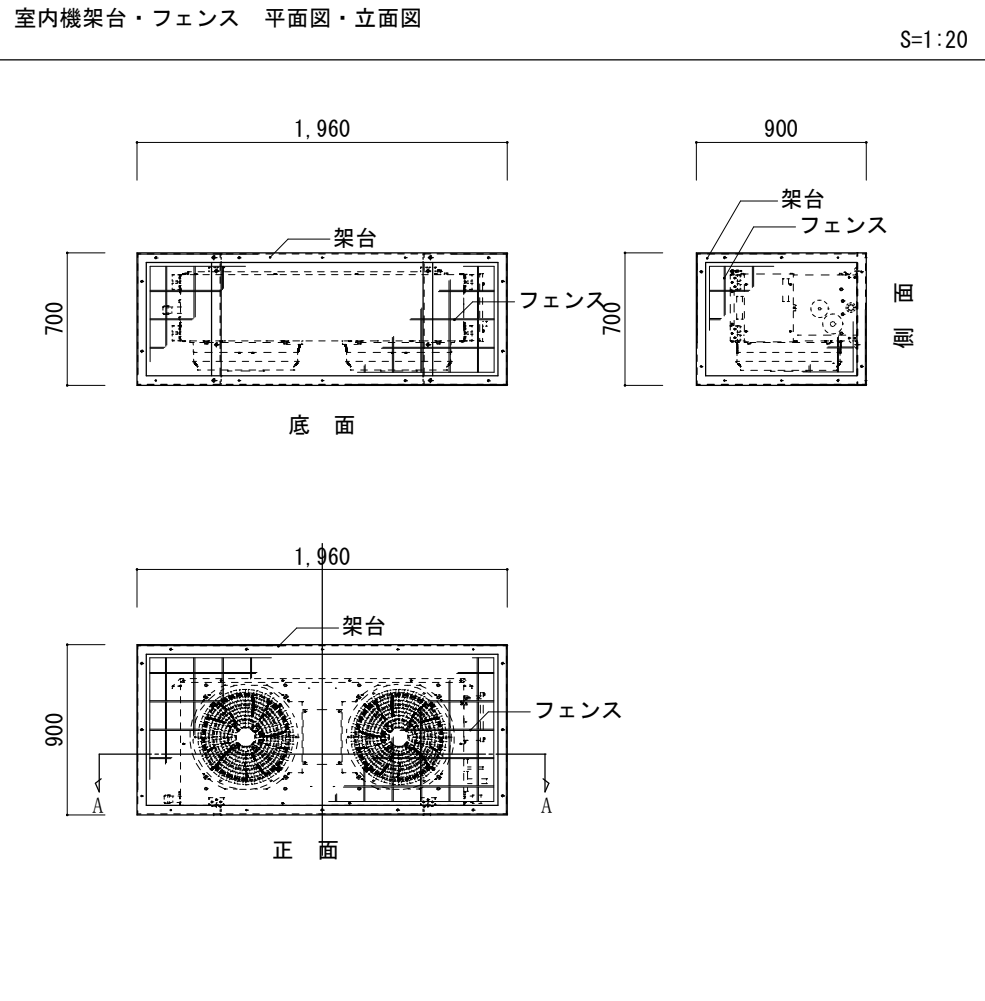
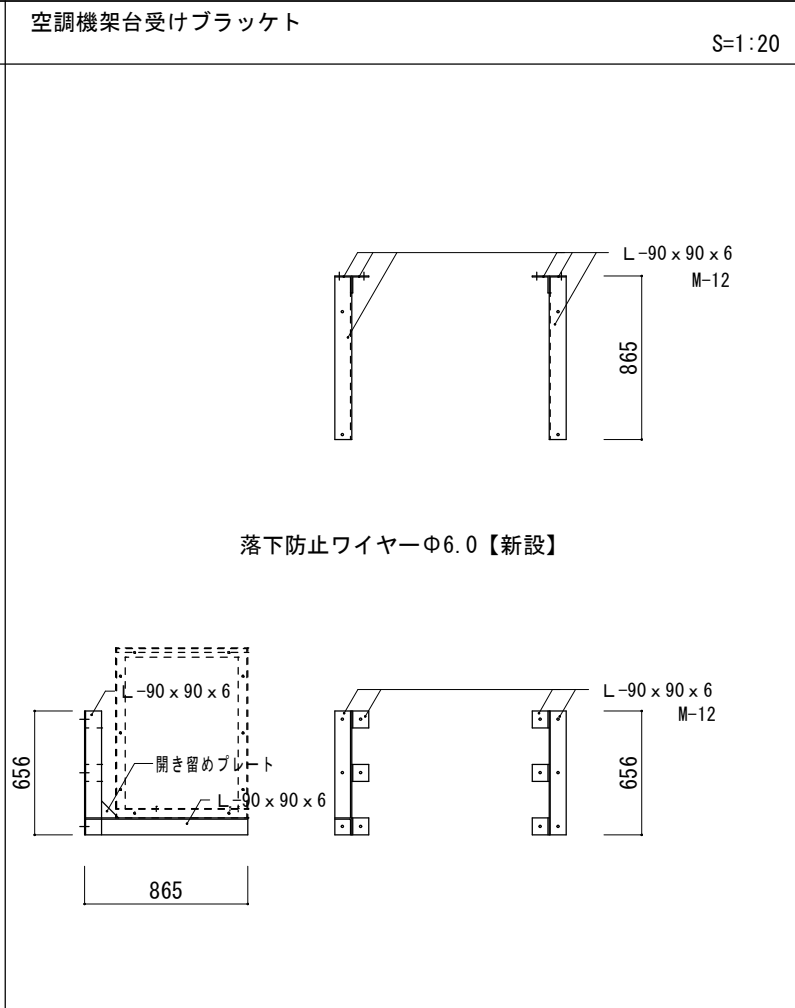
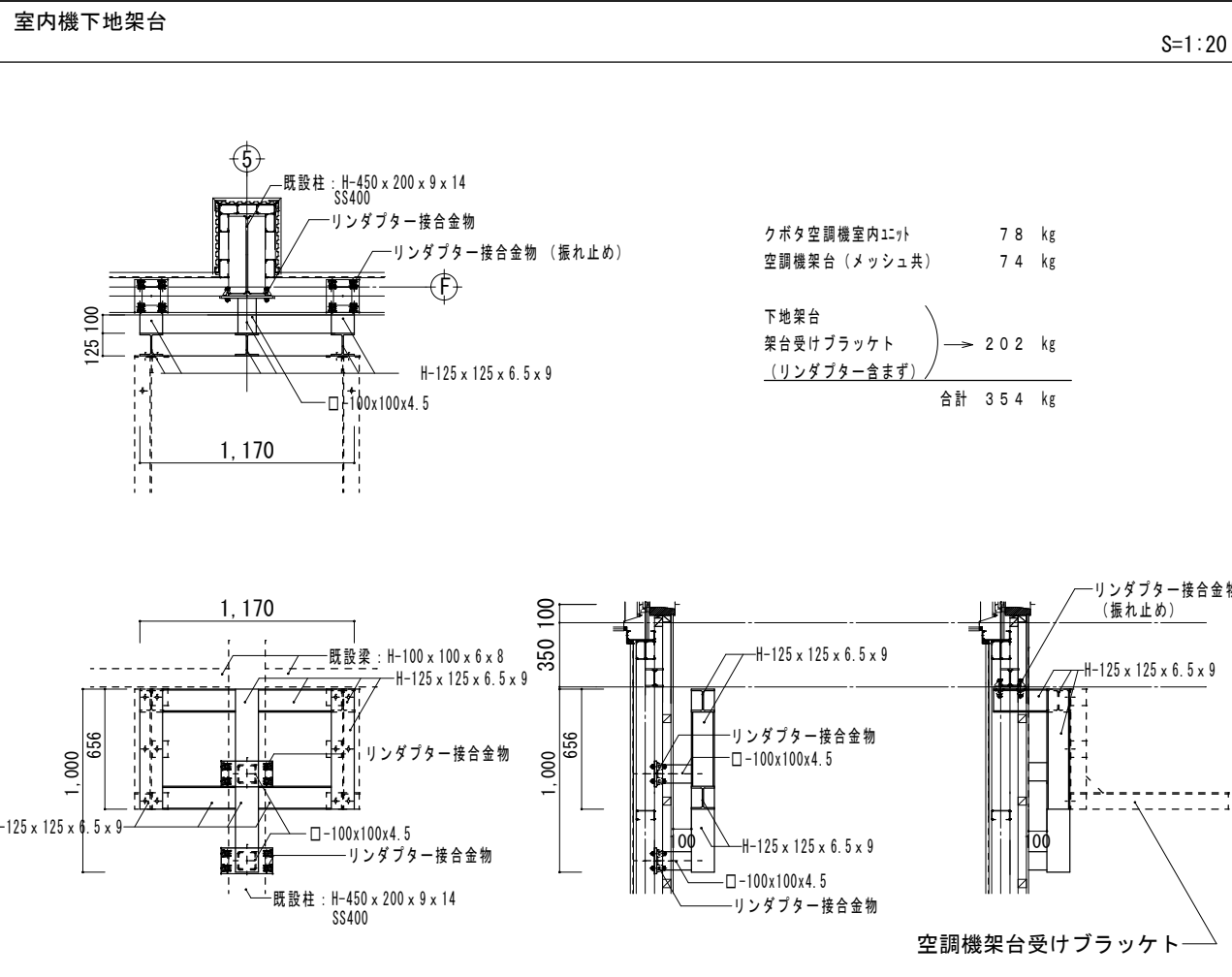
1階キープラン S=1/200

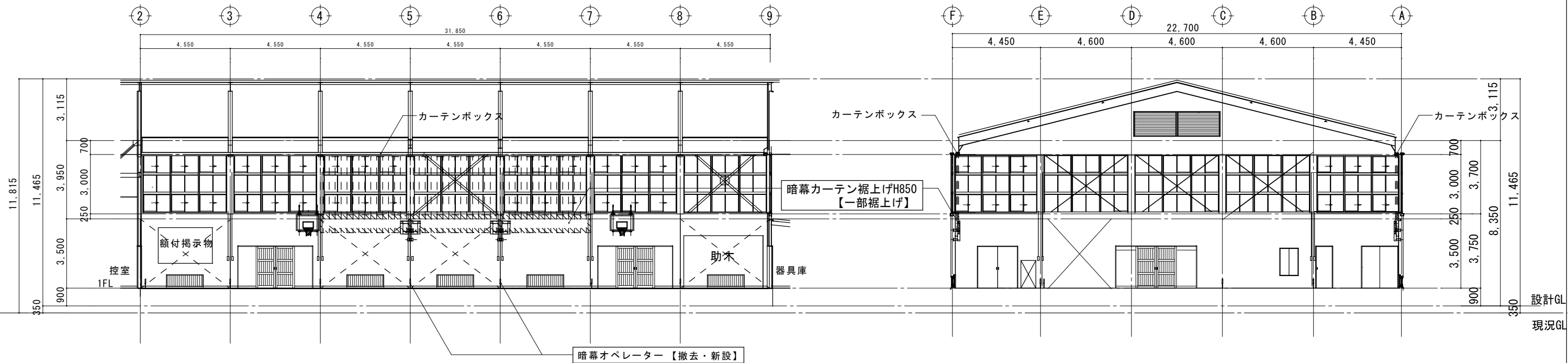


中間階キープラン S=1/200



符号・使用場所・数量	(AN1) アリーナ(9通り A-B間、E-F間) ~ 2ヶ所 オペレーター位置は左-1、右-1(展開図参照)	(AN2) アリーナ(A,F通り 3~8通り間) ~ 8ヶ所 オペレーター位置は左-4、右-4(展開図参照)	(AN3) アリーナ(A,F通り 2~3通り間) ~ 2ヶ所 オペレーター位置は左-1、右-1(展開図参照)	(AN4) アリーナ(A,F通り 8~9通り間) ~ 2ヶ所	(AN5) アリーナ(A,F通り 5-6通り間) ~ 2ヶ所	(AN6-1) アリーナ(9通り B~E通り間) ~ 2ヶ所
姿 改 修 前						
型 式 ・ 機 種	上下3連片引き窓 中央嵌め殺し3連窓(片引き部内動)	上下3連片引き窓 中央嵌め殺し3連窓	上下3連片引き窓 中央嵌め殺し3連窓	3段3連嵌め殺し3連窓	3段3連嵌め殺し3連窓	3段3連嵌め殺し3連窓
枠 見 込	70	70	70	70	70	70
防火・防音・仕様	セミエアタイト	セミエアタイト	セミエアタイト	セミエアタイト	セミエアタイト	セミエアタイト
材 質 ・ 仕 様	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ
ガラス種類	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)
建 具 金 物	片引き窓用標準金物一式 外部両側隠板(25x45)、上部隠板(25x47)、水切り:出47	片引き窓用標準金物一式 外部両側隠板(25x65)、上部隠板(25x67)、水切り:加工品	片引き窓用標準金物一式、外部両側隠板(25x65)、上部隠板(25x67)、水切り:加工品	嵌殺し用標準金物一式 外部両側隠板(25x65)、上部隠板(25x67)、水切り:加工品	嵌殺し用標準金物一式 外部両側隠板(25x65)、上部隠板(25x67)、水切り:加工品	嵌殺し用標準金物一式、外部両側隠板(25x45)、上部隠板(25x47)、水切り:出47
付 属 金 物	片引き用オペレーター装置(手動式3連同時)(露出タイプ)(SL-550)	片引き用オペレーター装置(手動式3連同時)(露出タイプ)(SL-550)	片引き用オペレーター装置(手動式3連同時)(露出タイプ)(SL-550)			
符号・使用場所・数量						
姿 改 修 後	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (指定箇所) 既設暗幕上げ x 1箇所 (指定箇所) 既設暗幕オペレーター【撤去・新設】 x 2箇所 日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (指定箇所) 既設暗幕上げ x 2箇所 (指定箇所) 既設暗幕オペレーター【撤去・新設】 x 2箇所 日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)
型 式 ・ 機 種						
枠 見 込						
防火・防音・仕様						
材 質 ・ 仕 様						
ガラス種類						
建 具 金 物						
付 属 金 物						
符号・使用場所・数量	(AN6-2) アリーナ(9通り B~E通り間) ~ 1ヶ所	(AN6) 控室A・B ~ 2ヶ所	(AN3) 控室B ~ 1ヶ所			
姿 改 修 前						
型 式 ・ 機 種	3段3連嵌め殺し3連窓	引き違い窓	欄間嵌め殺し窓付片開き戸			
枠 見 込	70	70	70			
防火・防音・仕様	セミエアタイト					
材 質 ・ 仕 様	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ	アルミ アルマイト仕上げ アルミ隠板(型材) アルマイト仕上げ			
ガラス種類	厚4.0 学校用強化硝子(全てシーリング押え)	控室A・B: 厚4.0学校用強化ガラス	厚4.0 学校用強化硝子			
建 具 金 物	嵌殺し用標準金物一式、外部両側隠板(25x45)、上部隠板(25x47)、水切り:出47	新設: 外部隠板両サイド: 25x60、上部隠板: 25x62、下部水切り: 出77	シリントナー錠、縦横取付用アングル、丁番、戸当り、ドアチェック			
付 属 金 物		クレセント、戸草、水切り、引手、アングル4方	下枠: ステンレス 外部隠板両サイド: 25x65、上部隠板: 25x67、下部水切り: 出67			
符号・使用場所・数量						
姿 改 修 後	(指定箇所) 既設が5撤去、アルミパネルt4.0新設 日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (アルミプレート以外) (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)	日射調整フィルム内貼り 全厚 75μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1) (参考 NAN080S)			
型 式 ・ 機 種						
枠 見 込						
防火・防音・仕様						
材 質 ・ 仕 様						
ガラス種類						
建 具 金 物						
付 属 金 物						

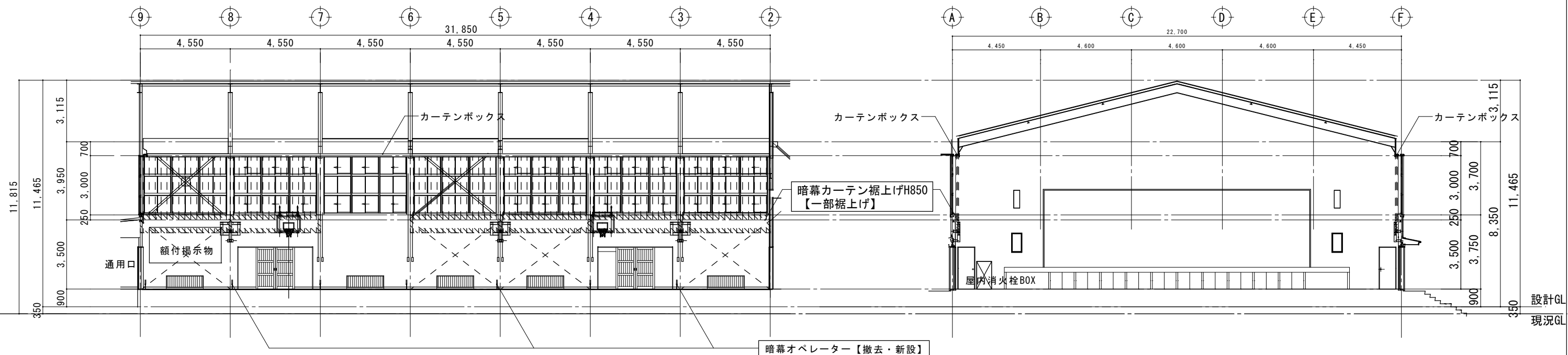




アリーナ
展開図 S=1/100


A

B



C

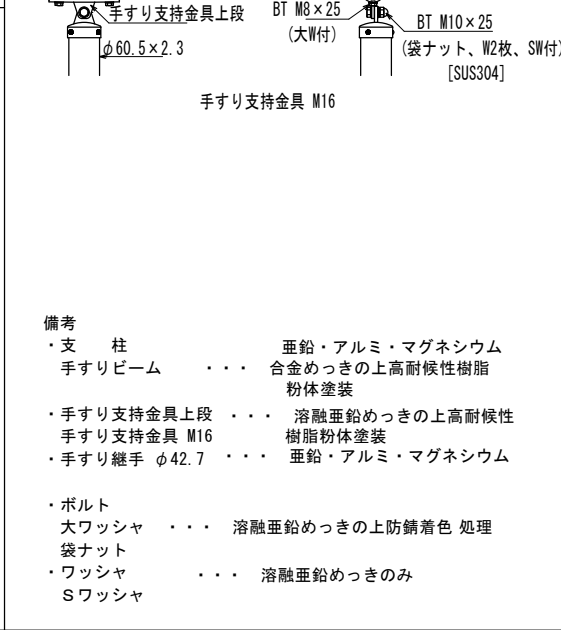
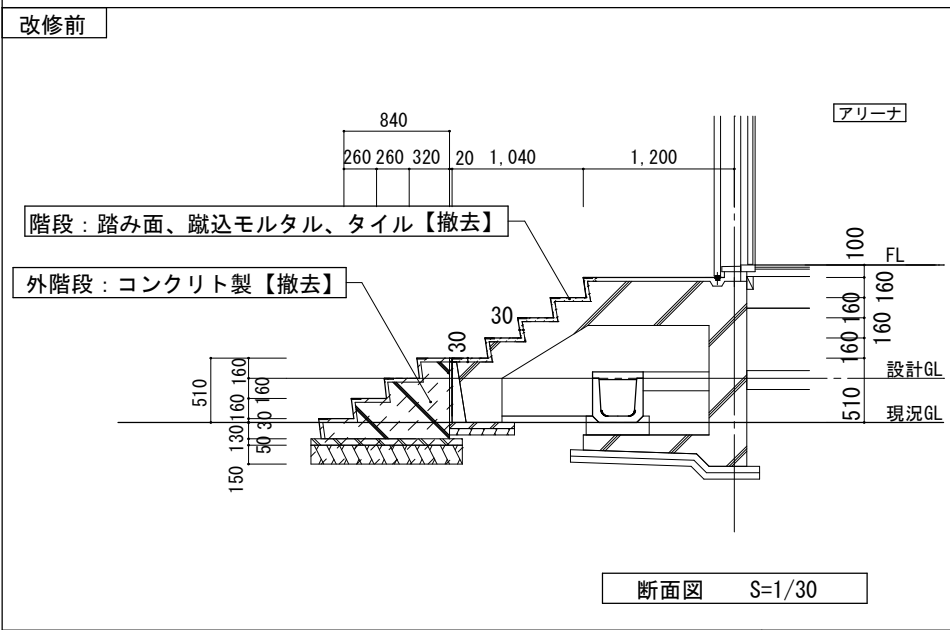
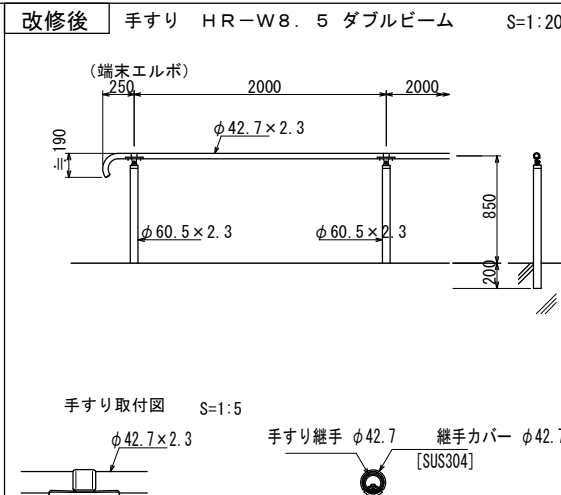
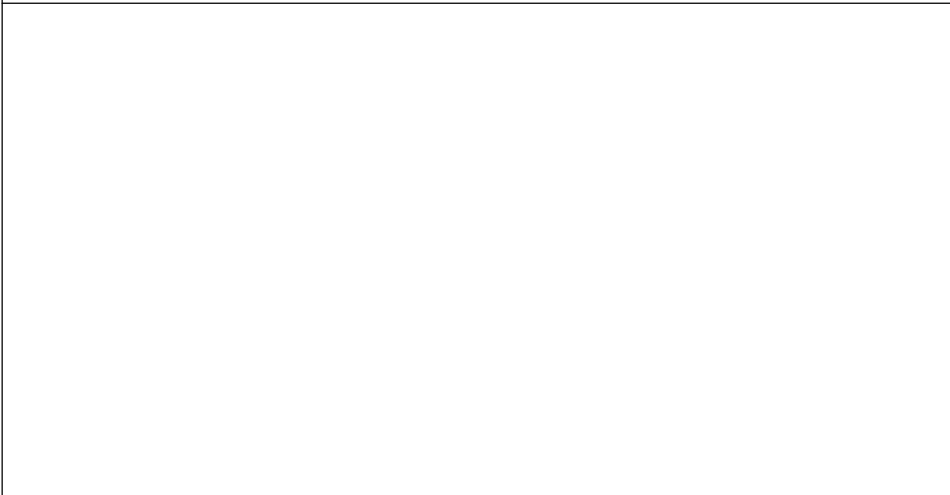
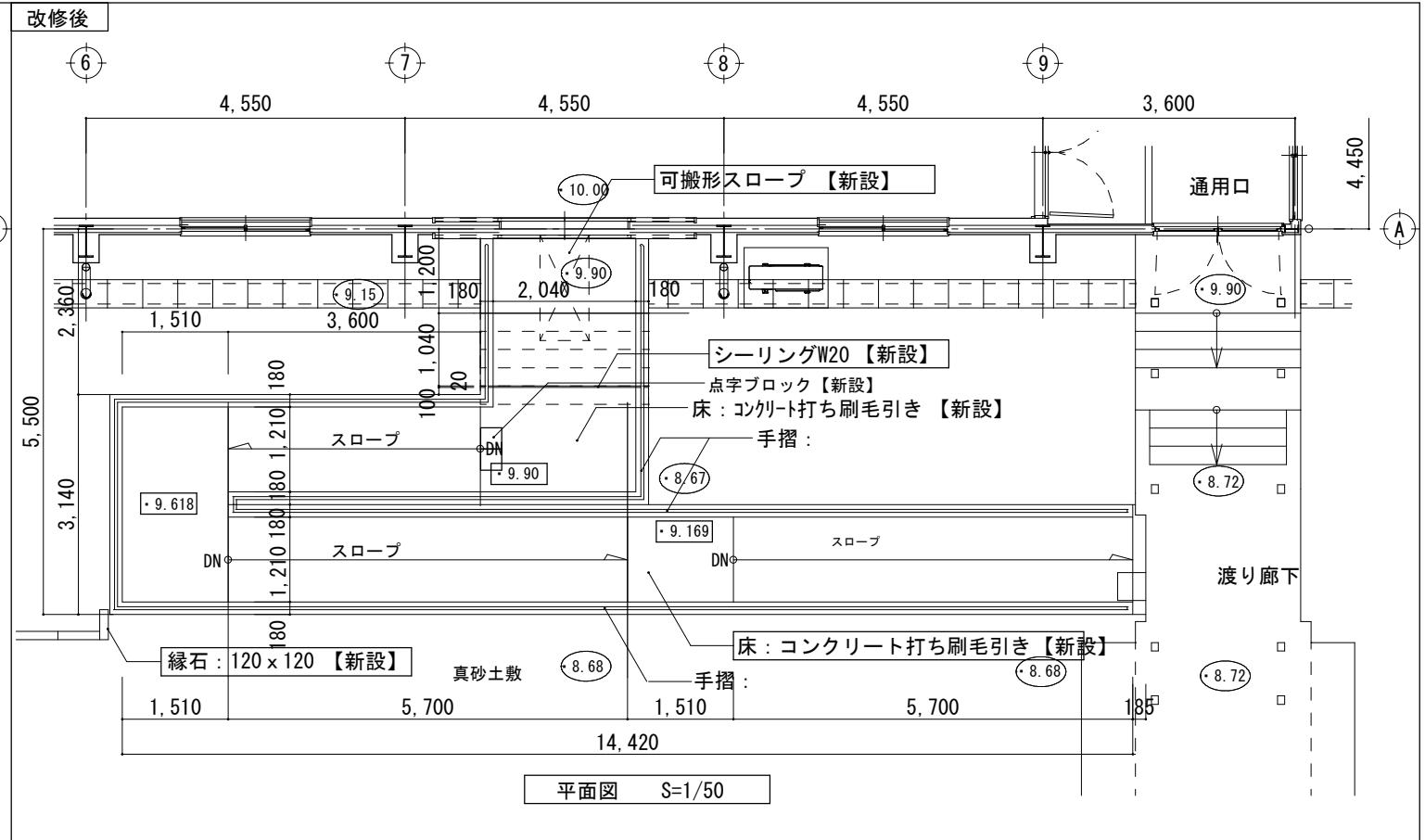
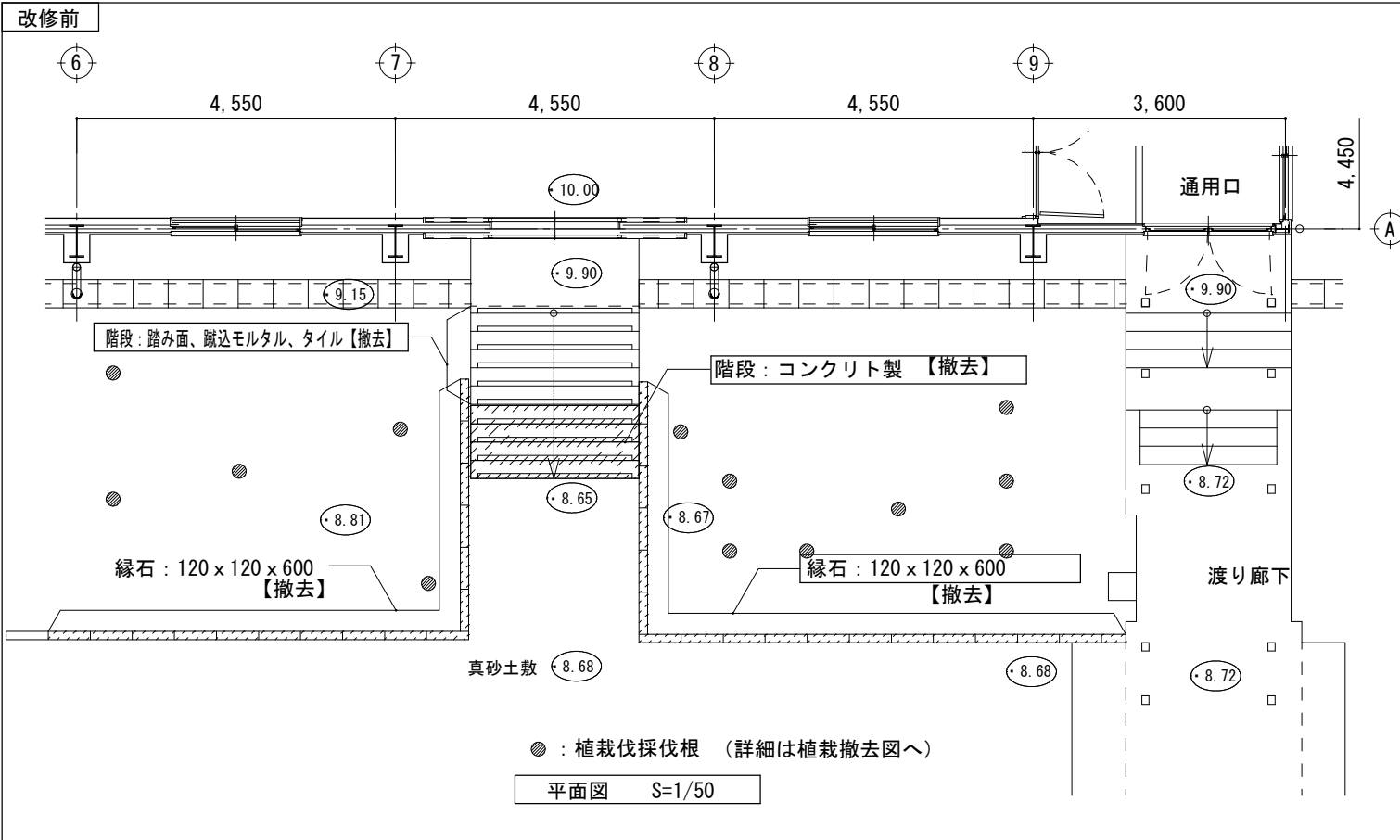
D

凡例
 暗幕カーテン裾上げH850【一部裾上げ】

春日部市
学校教育課
教育施設課

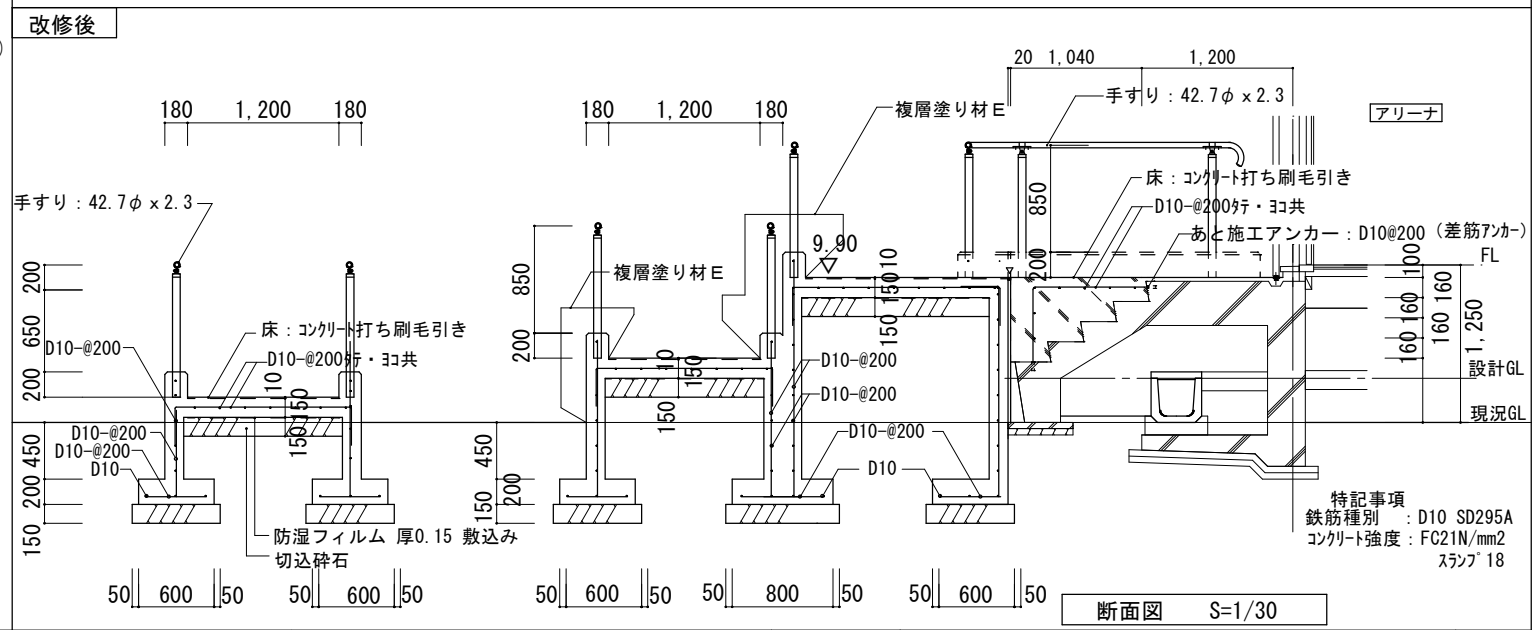
日付 2024.2.16
 縮尺 A1: 1/100
 A3: 1/200
 工事名称 小学校避難所空調設備設置工事(小淵小学校)
 図面名称 暗幕裾上げ位置図

図面No.
小A-20



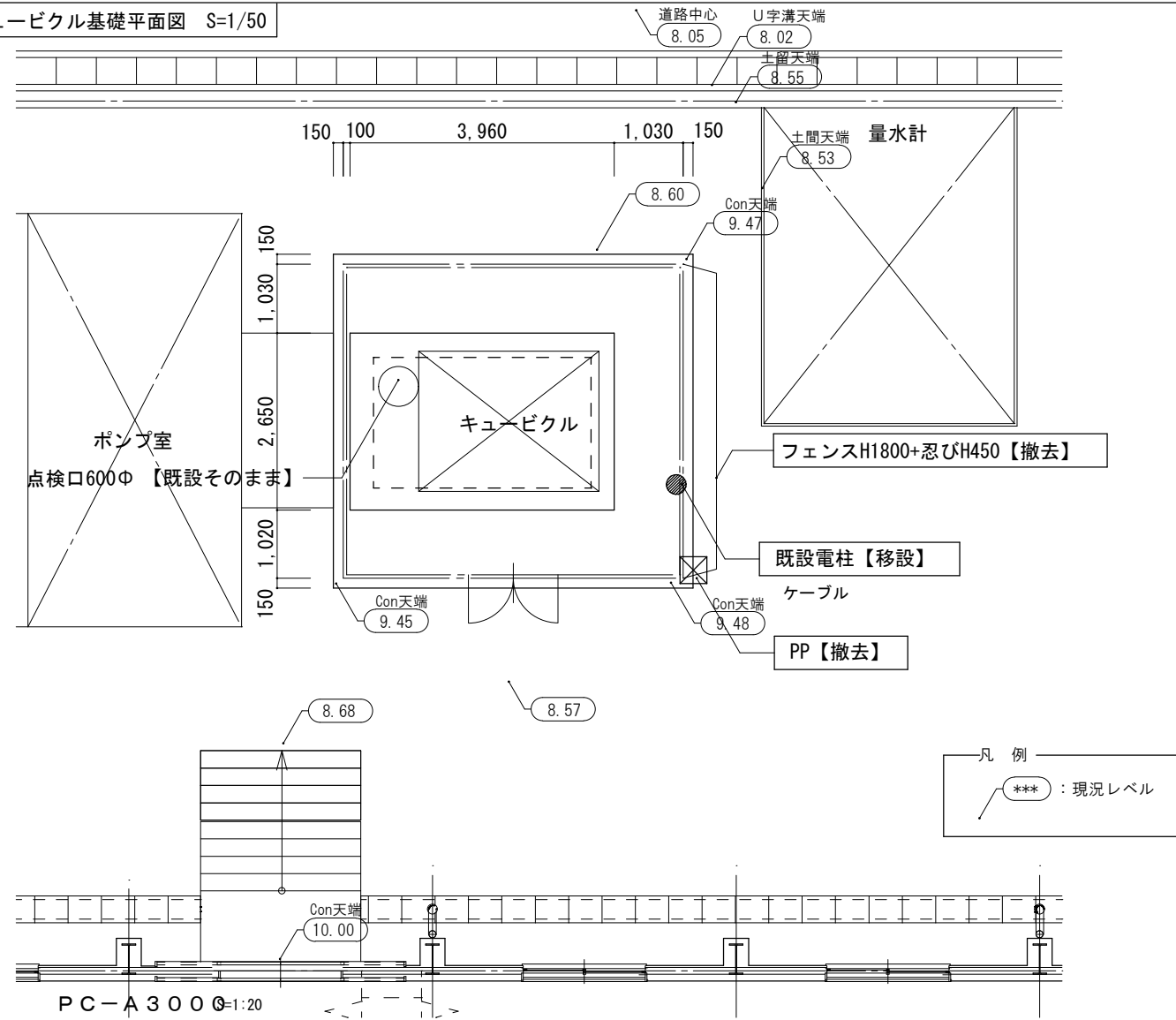
備考

- ・支柱 亜鉛・アルミ・マグネシウム
- ・手すりビーム ... 合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・手すり支持金具上段 ... 溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・手すり支持金具 M16 樹脂粉体塗装
- ・手すり継手 φ42.7 ... 亜鉛・アルミ・マグネシウム
- ・ボルト
- ・大ワッシャ ... 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
- ・袋ナット
- ・ワッシャ ... 溶融亜鉛めっきのみ
- ・Sワッシャ

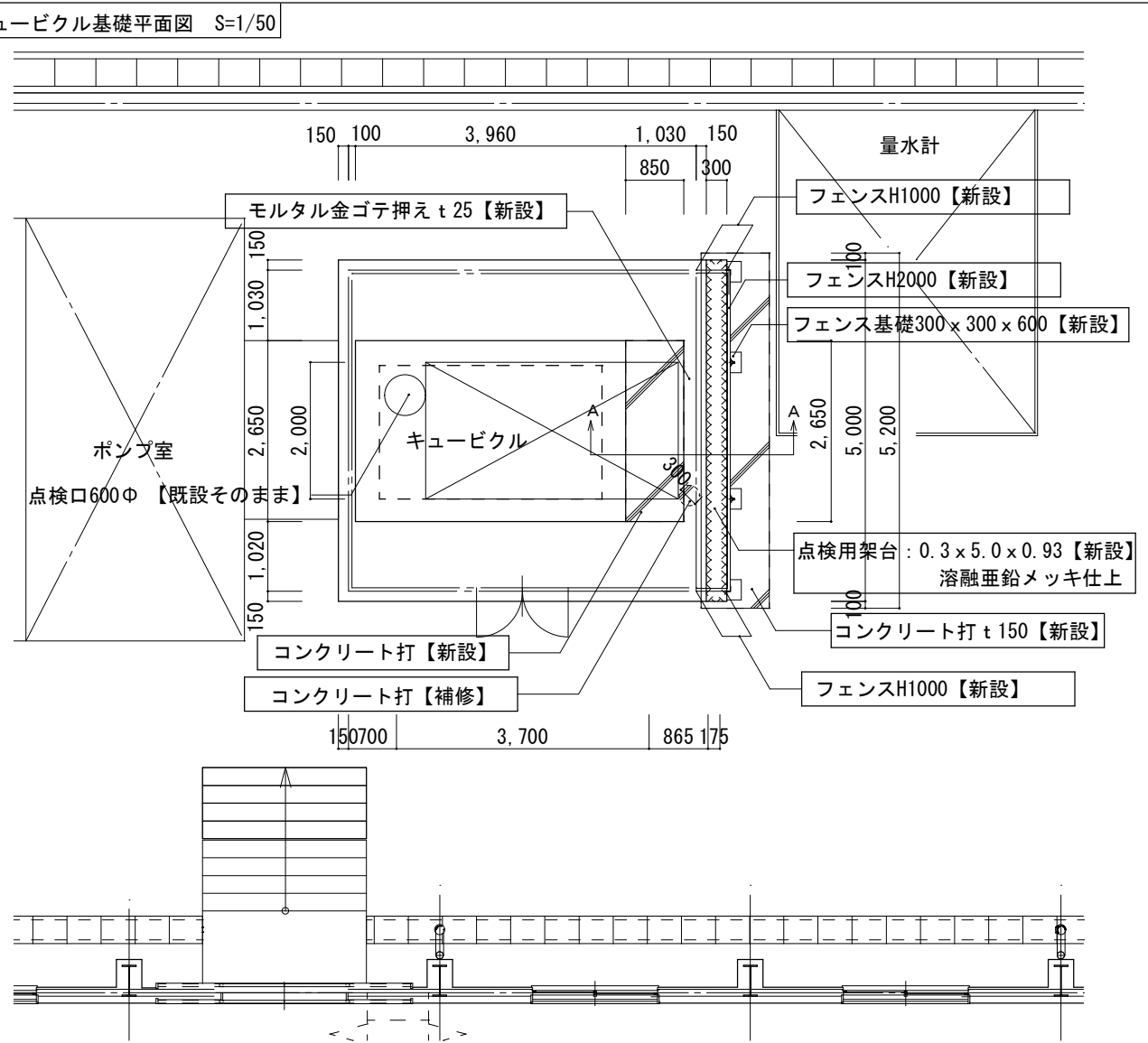


特記事項
鉄筋種別：D10 SD295A
コンクリート強度：FC21N/mm2
スラブ 18

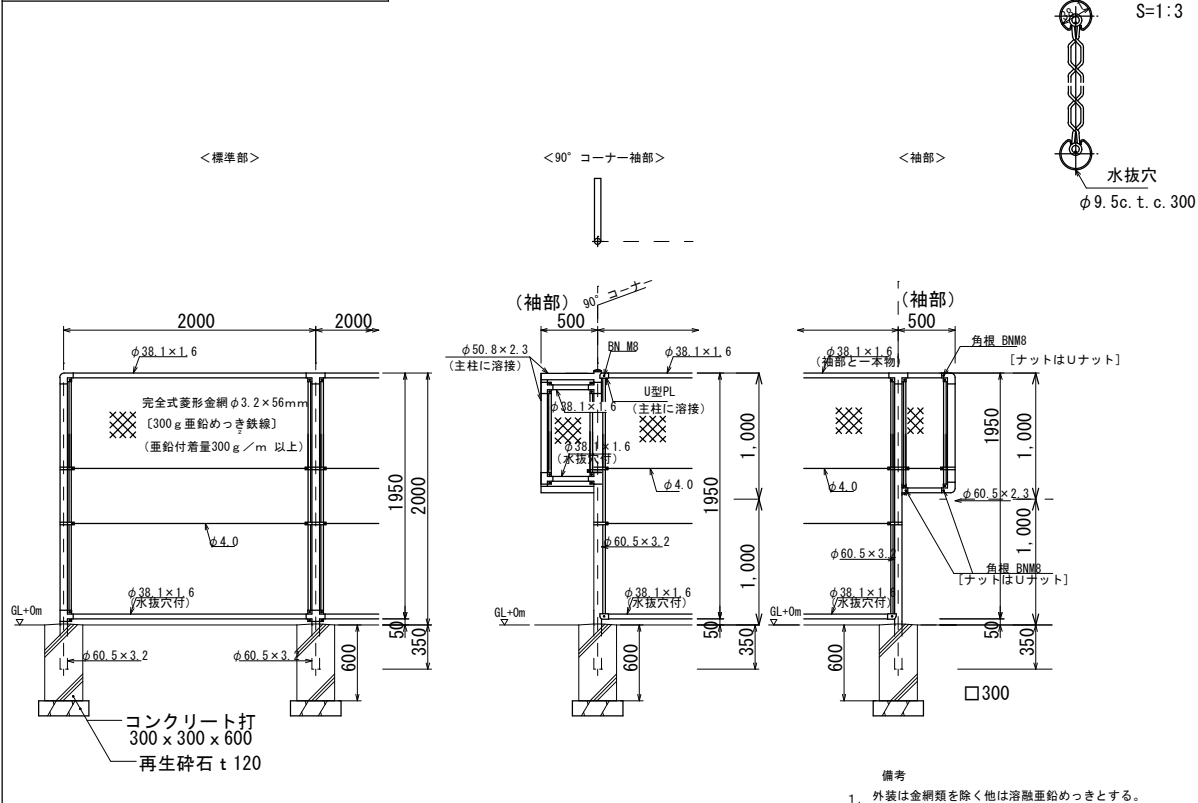
改修前 キュービクル基礎平面図 S=1/50



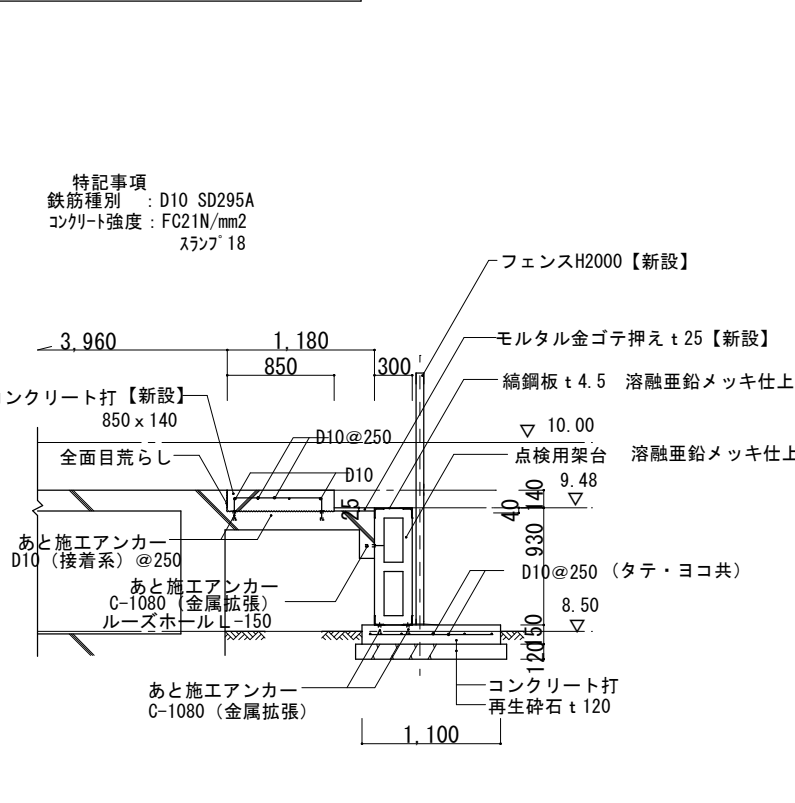
改修後 キュービクル基礎平面図 S=1/50



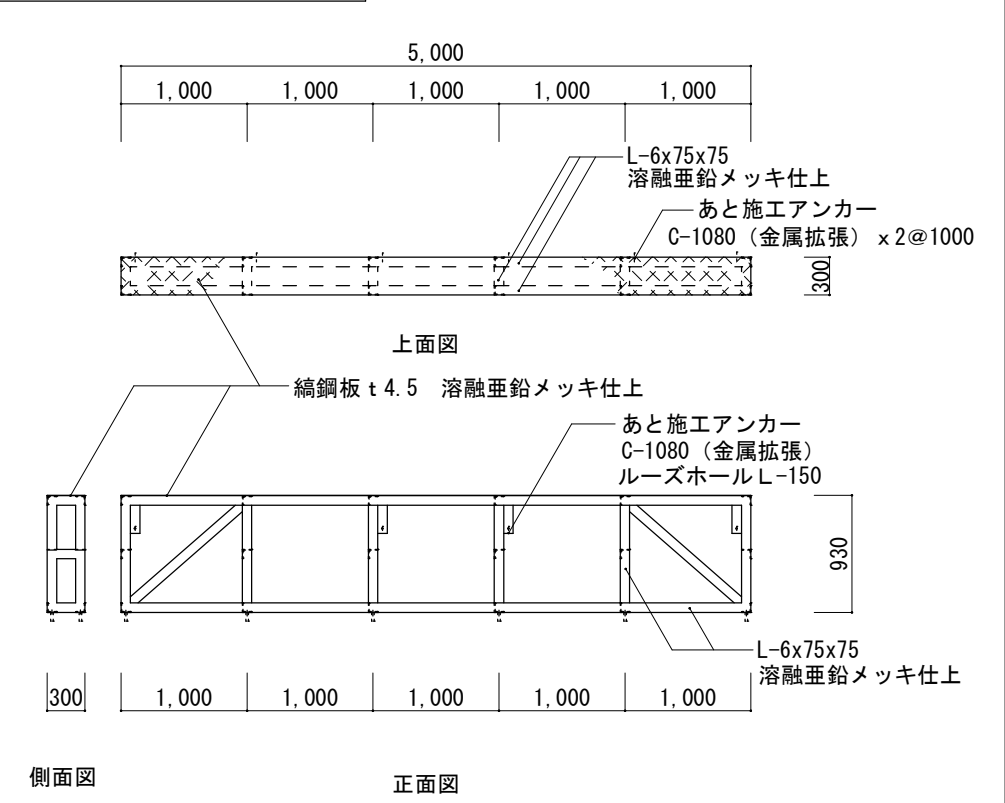
フェンス詳細図 【H3000】 S=1/30

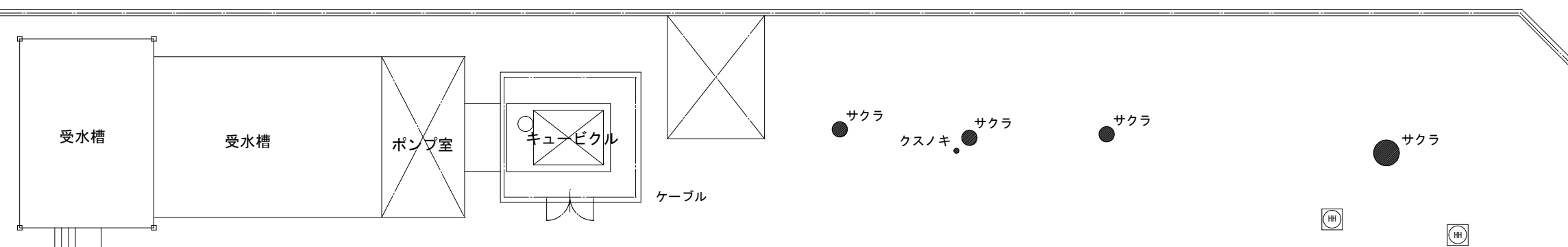


A-A断面図 S=1/30



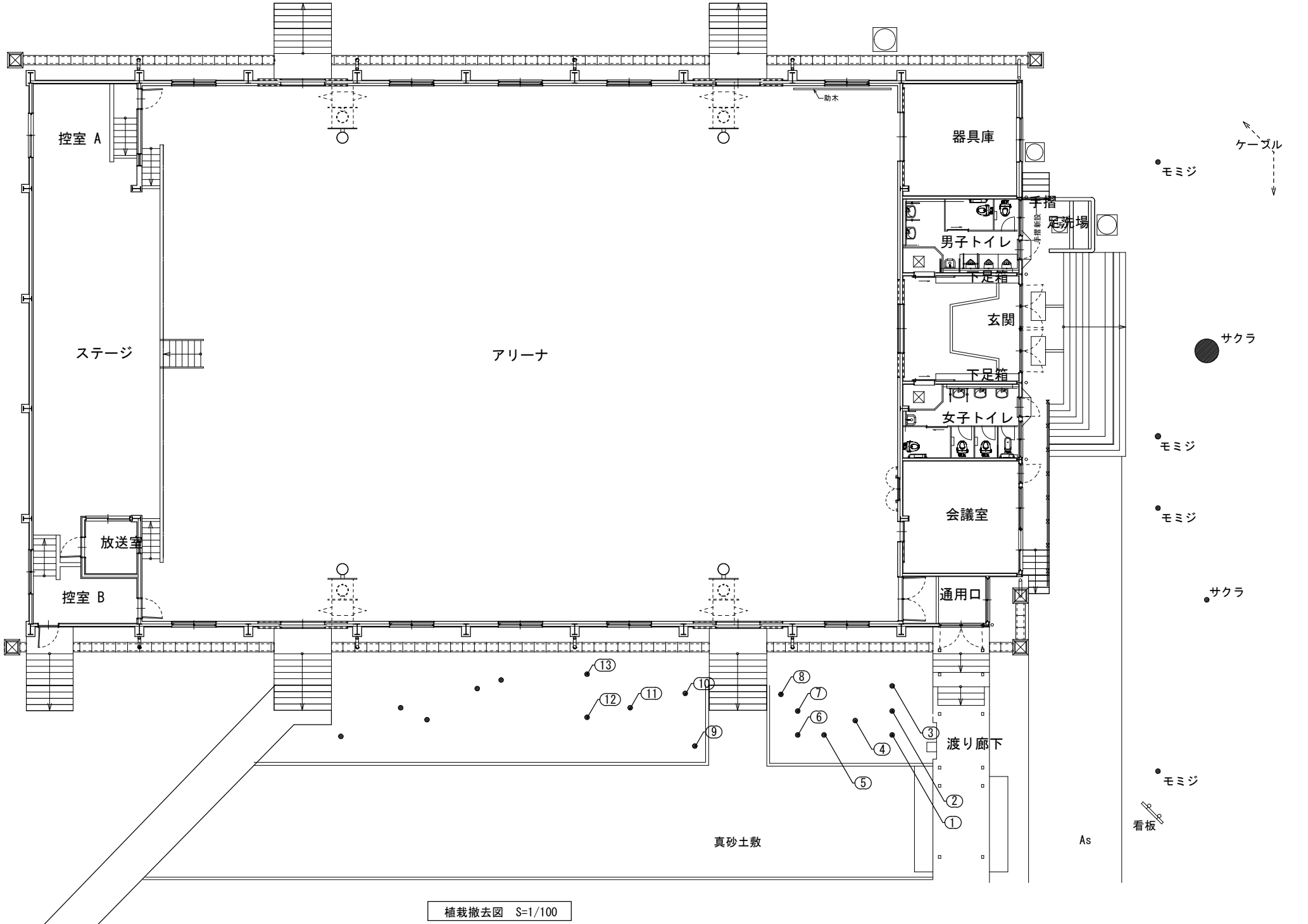
点検用架台詳細図 S=1:30





※伐根・伐採・移植立木一覧表

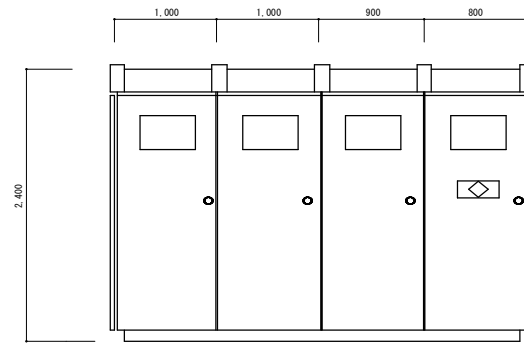
No	樹種名	幹周	樹高	枝幅	数量	処理方法
1	ツツジ		2000	2500	1	伐根・伐採
2	サルスベリ	400	7000	3000	1	伐根・伐採
3	ツツジ		1000	1000	1	伐根・伐採
4	サクラ	200	4000	3000	1	伐根・伐採
5	ツツジ		2000	2500	1	伐根・伐採
6	カキ	300	7000	5000	1	伐根・伐採
7	ツツジ		1000	1000	1	伐根・伐採
8	ツツジ		1000	1000	1	伐根・伐採
9	カキ	400	7000	5000	1	伐根・伐採
10	ツバキ		2000	1300	1	伐根・伐採
11	ケヤキ	1200	10000	5000	1	伐根・伐採
12	カラタチ	200	5000	1500	1	伐根・伐採
13	サツキ		1200	1000	1	伐根・伐採



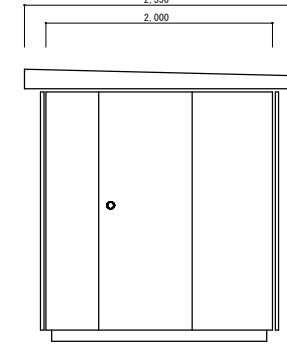
植栽撤去図 S=1/100

改修前

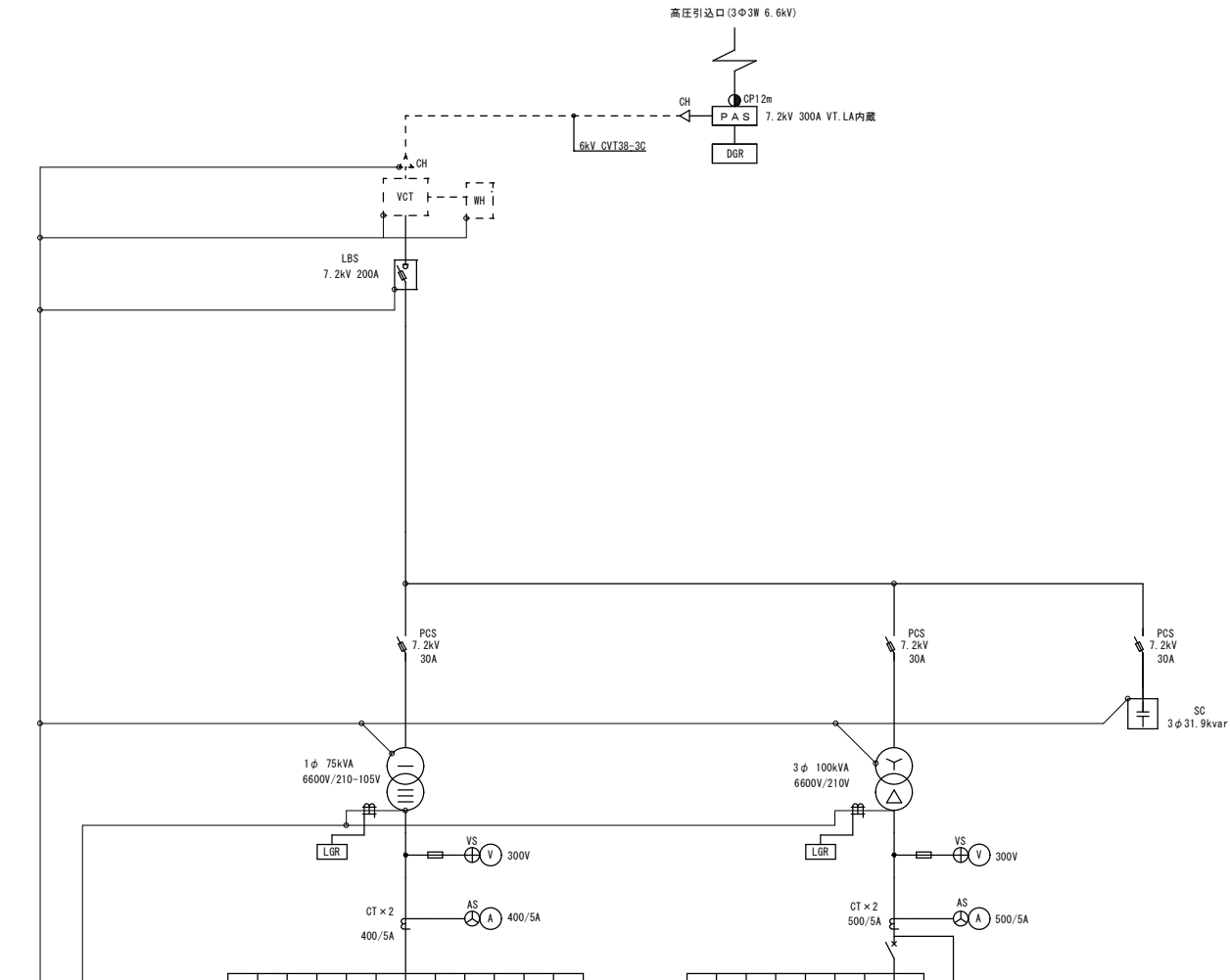
改修後



正面図(参考)

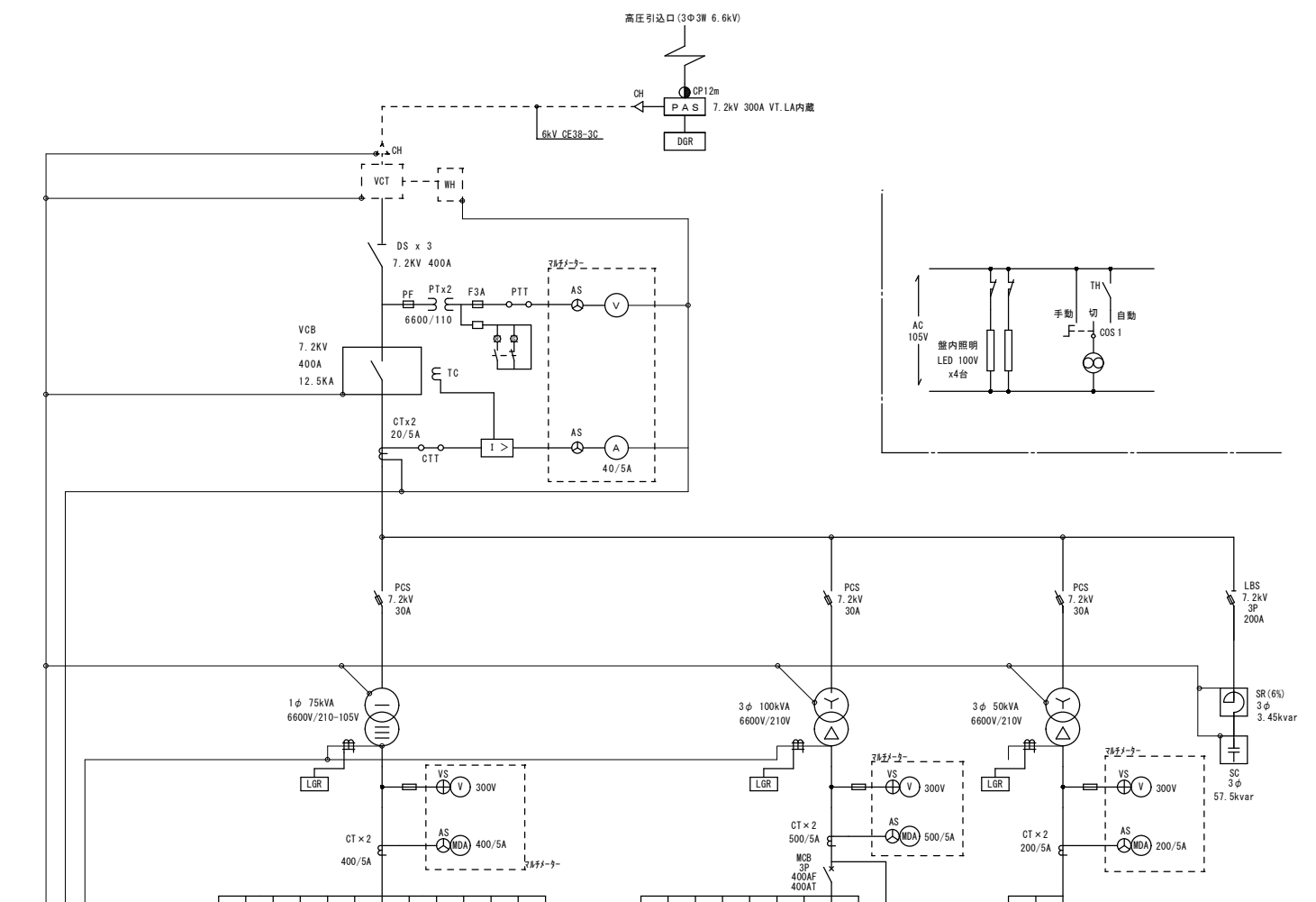


側面図(参考)



No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 封入寸*
M03	3P225kF175AT	L-1-1, L-1-2	
M03	3P225kF175AT	L-1-3, L-1-3A	
M03	3P225kF200AT	L-2-2, L-2-2B	
M03	3P225kF200AT	L-2-2A, L-2-2C	
M03	3P100kF75AT	予備(体育室)	
M03	3P100kF75AT	L-2-1	
M03	3P100kF75AT	L-3-1	
M03	3P100kF100AT	L-4-1	
M03	3P100kF100AT	計測室 空調機群 M-1	
M03	3P100kF100AT	予備	
M03	3P100kF60AT	予備	
M03	2P50kF20AT	ト-7 室	
M03	2P50kF20AT	家庭用内電源	
M03	2P50kF20AT	家庭用内ト-7	

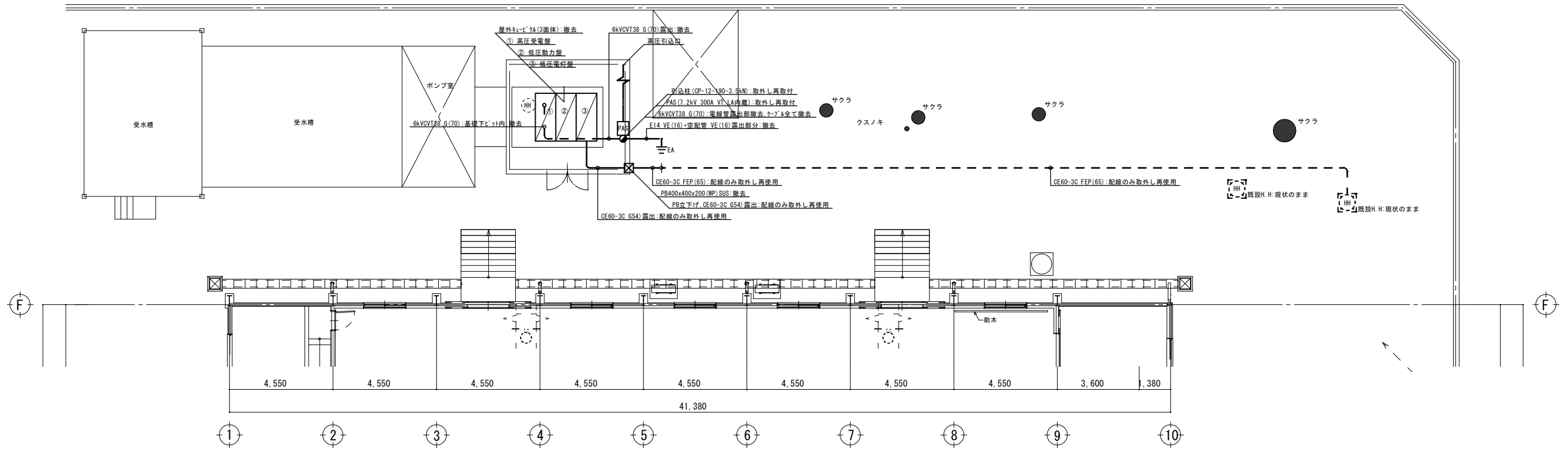
No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 封入寸*
M03	3P200kF150AT	P-1, P-2	
M03	3P100kF100AT	特別給湯用空調機	
M03	3P100kF100AT	職員室空調機	
M03	3P400kF300AT	校長室空調機	
M03	3P200kF150AT	P-3	
M03	3P200kF150AT	給食室消費機器	
M03	3P100kF75AT	P-1	
M03	3P100kF100AT	浄化槽	
M03	3P100kF100AT	予備(7-4)	
M03	3P100kF100AT	ト-7 室-A空調機	
M03	3P200kF150AT	消火栓P-2	



No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 封入寸*
M03	3P225kF175AT	L-1-1, L-1-2	
M03	3P225kF175AT	L-1-3, L-1-3A	
M03	3P225kF200AT	L-2-2, L-2-2B	
M03	3P225kF200AT	L-2-2A, L-2-2C	
M03	3P100kF75AT	予備(体育室)	
M03	3P100kF75AT	L-2-1	
M03	3P100kF75AT	L-3-1	
M03	3P100kF75AT	L-4-1	
M03	3P100kF100AT	計測室 空調機群 M-1	
M03	3P100kF100AT	予備	
M03	3P100kF60AT	予備	
M03	2P50kF20AT	ト-7 室	
M03	2P50kF20AT	家庭用内電源	
M03	2P50kF20AT	家庭用内ト-7	

No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 封入寸*
M03	3P200kF150AT	P-1, P-2	
M03	3P100kF100AT	特別給湯用空調機	
M03	3P100kF100AT	職員室空調機	
M03	3P400kF300AT	校長室空調機	
M03	3P200kF150AT	P-3	
M03	3P200kF150AT	給食室消費機器	
M03	3P100kF75AT	P-1	
M03	3P100kF100AT	浄化槽	
M03	3P100kF100AT	予備(7-4)	
M03	3P100kF100AT	ト-7 室-A空調機	
M03	3P200kF150AT	消火栓P-2	

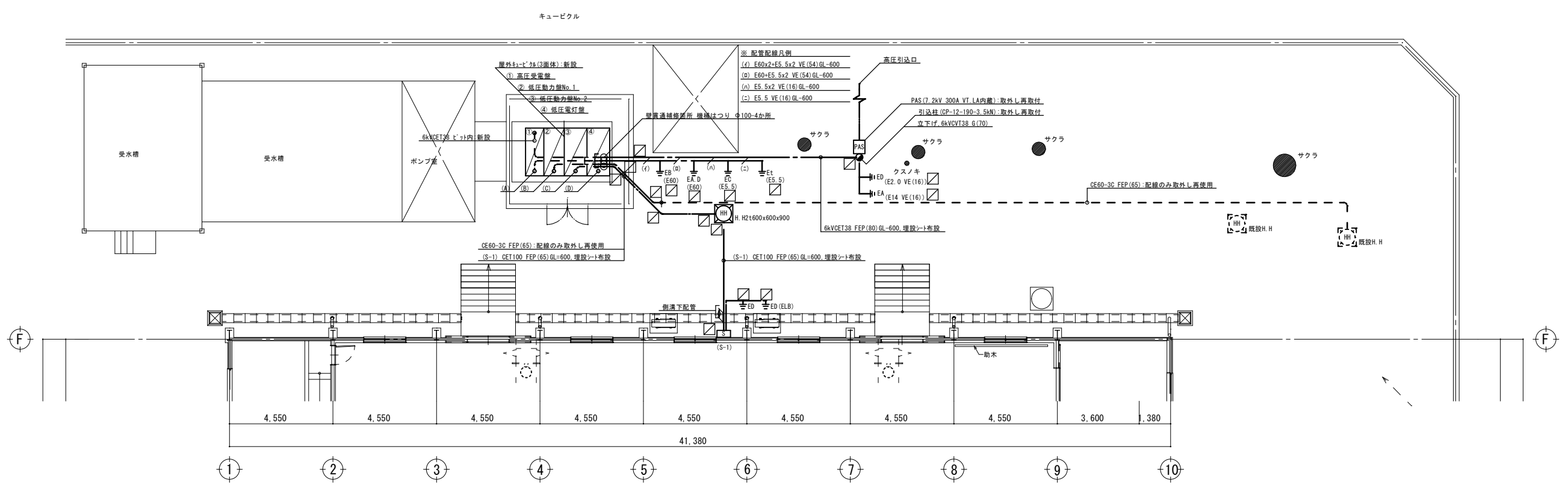
No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 封入寸*
M03	3P225kF200AT	S-1	
M03	3P100kF100AT	体育館用空調機	
M03	3P100kF100AT	予備	
M03	3P100kF100AT	予備	



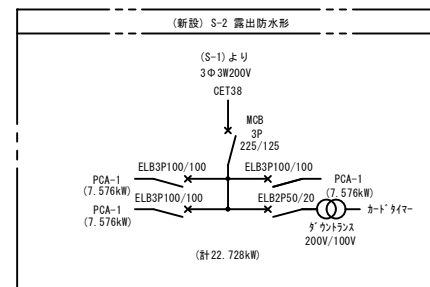
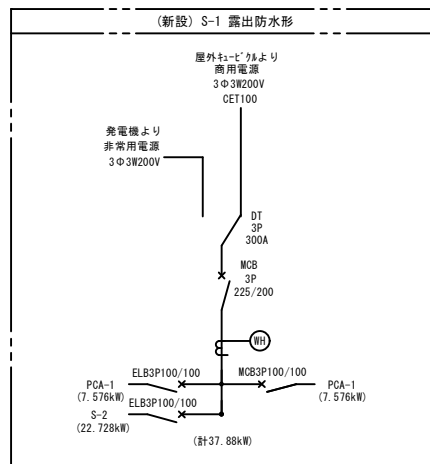
(改修前) 1階平面図 S=1:100

※新設 屋外エレベータへのリフトから立上り配線は各回路2m延長

(A) (接地)	E60+E5.5x2ビット
(B) (P-1・P-2)	CET100ビット
(職員室・校長室空調電源)	CET160ビット
(P-4 給食室動力)	CET150ビット
(P-3)	CET100ビット
(給食室消毒保管庫)	CET100ビット
(P-1)	CET38ビット
(浄化槽)	CET38ビット
(予備(P-6))	CET38ビット
(3ヶ所空調機)	CET38ビット
(消火栓P-2)	FP-C60-3Cビット
(C) (S-1 体育館用空調機)	CET100ビット
(D) (L-1-1, L-1-2)	CET100ビット
(L-1-3, L-1-3A)	CET100ビット
(L-2-2, L-2-2B, L-2-2A, L-2-2C)	CET100ビット
(予備(体育館))	CET100ビット
(L-2-1)	CET38ビット
(L-3-1)	CET38ビット
(L-4-1)	CET38ビット
(PFI事業 空調機 M-1)	CET60ビット
(予備)	CET38ビット
(予備)	CET38ビット
(※ツブ室)	CE5.5-2C

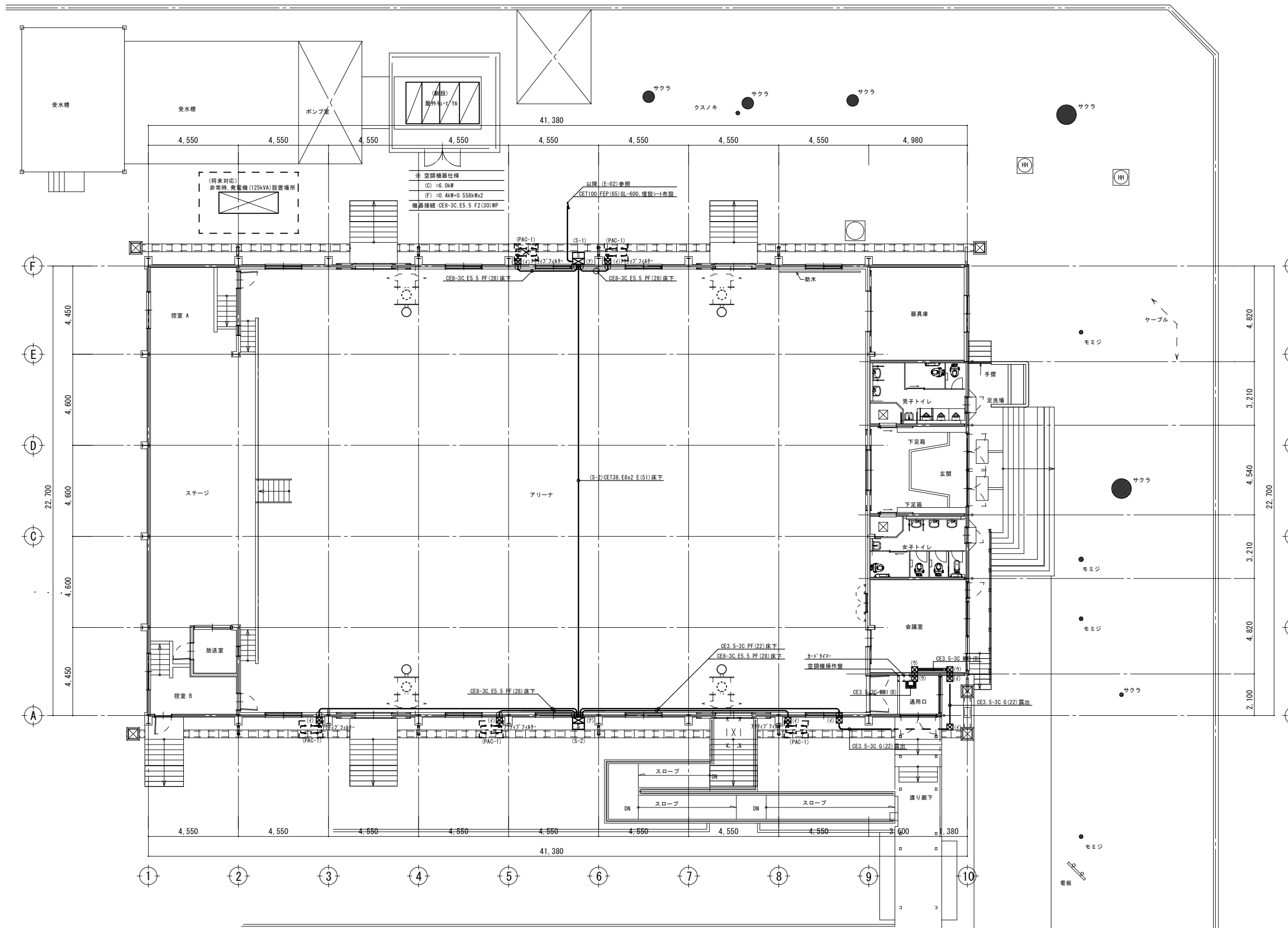


(改修後) 1階平面図 S=1:100

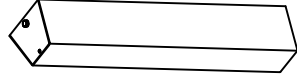

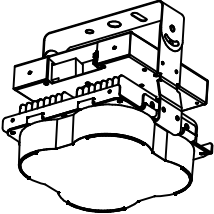
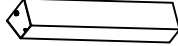





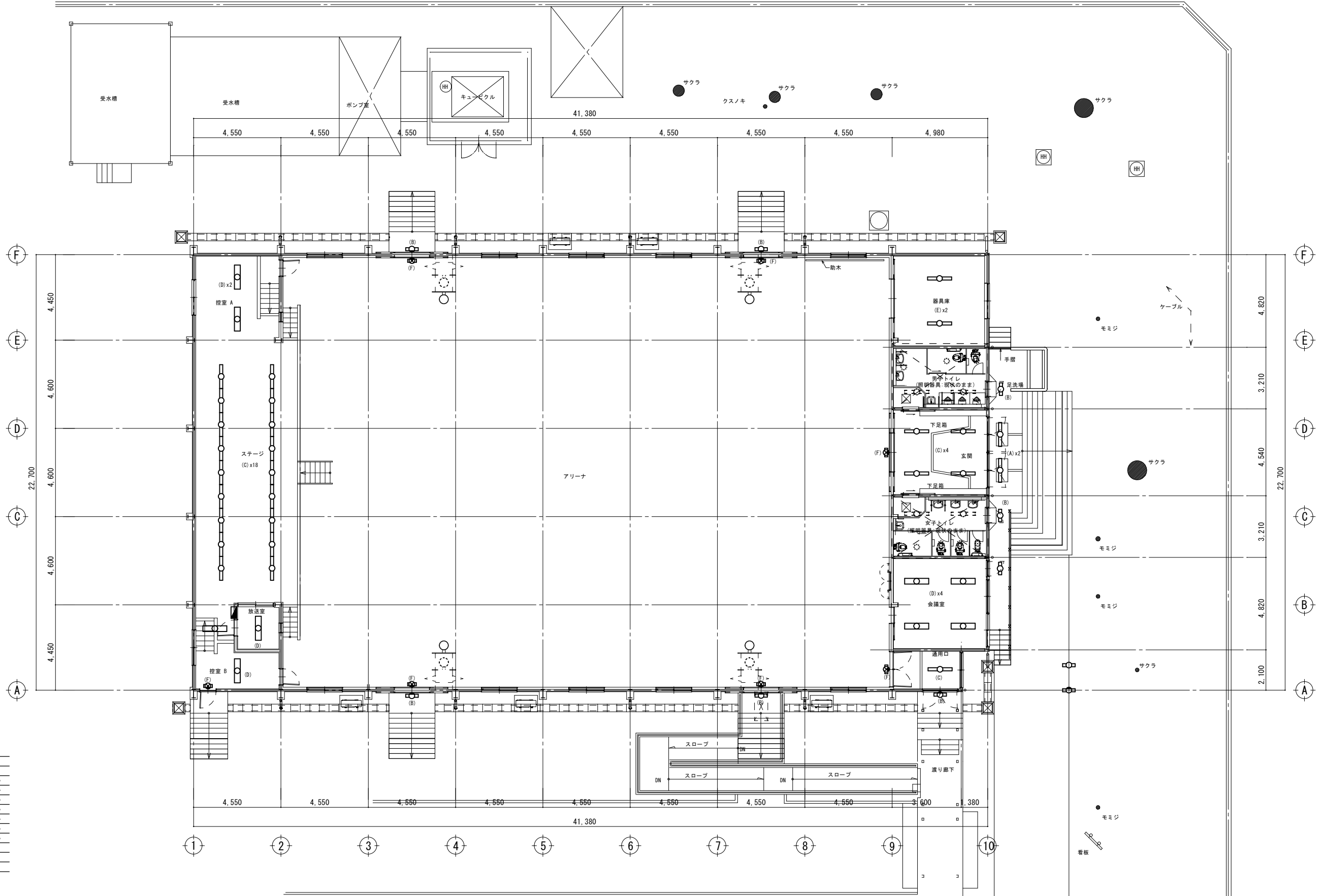
※ 凡例

○	壁貫通所 機械はつり φ50
☒ (7)	PB500x500x300 (WP) SUS
☒ (4)	PB200x200x100 (WP) SUS
☒ (7)	PB200x200x100



1階平面図 S=1:100

(新設) 照明器具姿図					
A	(LED) 2,900lm 28.7W	D	(LED) 6,900lm 43.0W	G	(LED) 22,000lm 114.0W
 <p>LBF3MP/RP-4-26</p>		 <p>LSS9-4-65</p>		 <p>LSR2W-200</p>	
B	(LED) 1,450lm 15.4W	E	(LED) 4,000lm 24.8W カート付		
 <p>LBF3MP/RP-2-13</p>		 <p>NNN13510-LE1 参考</p>			
C	(LED) 4,000lm 24.8W	F	(LED) 避難口誘導灯C級形 カート付		
 <p>LSS9-4-37</p>		 <p>SH1-FBF20-C</p>			

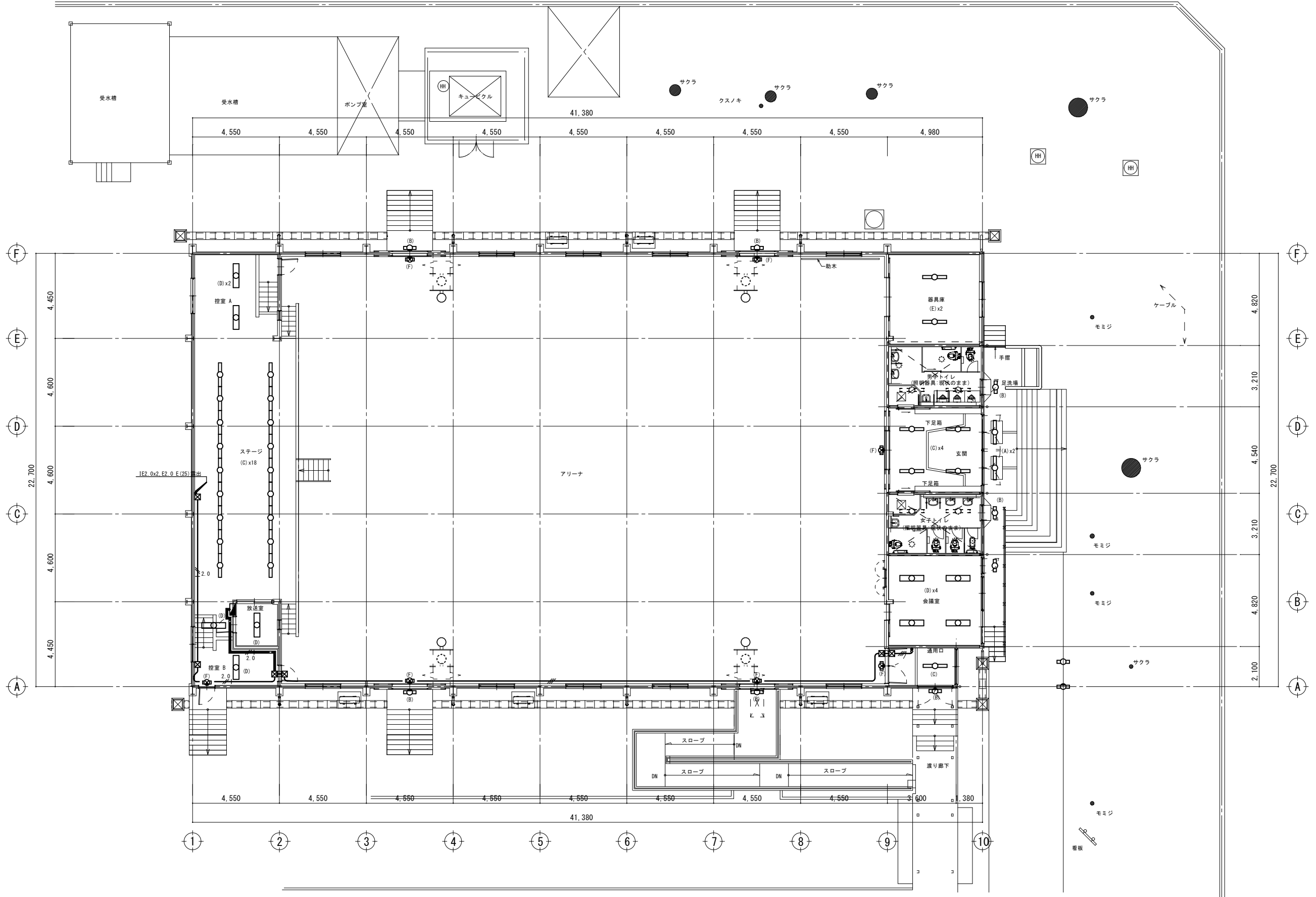


1階平面図 S=1:100

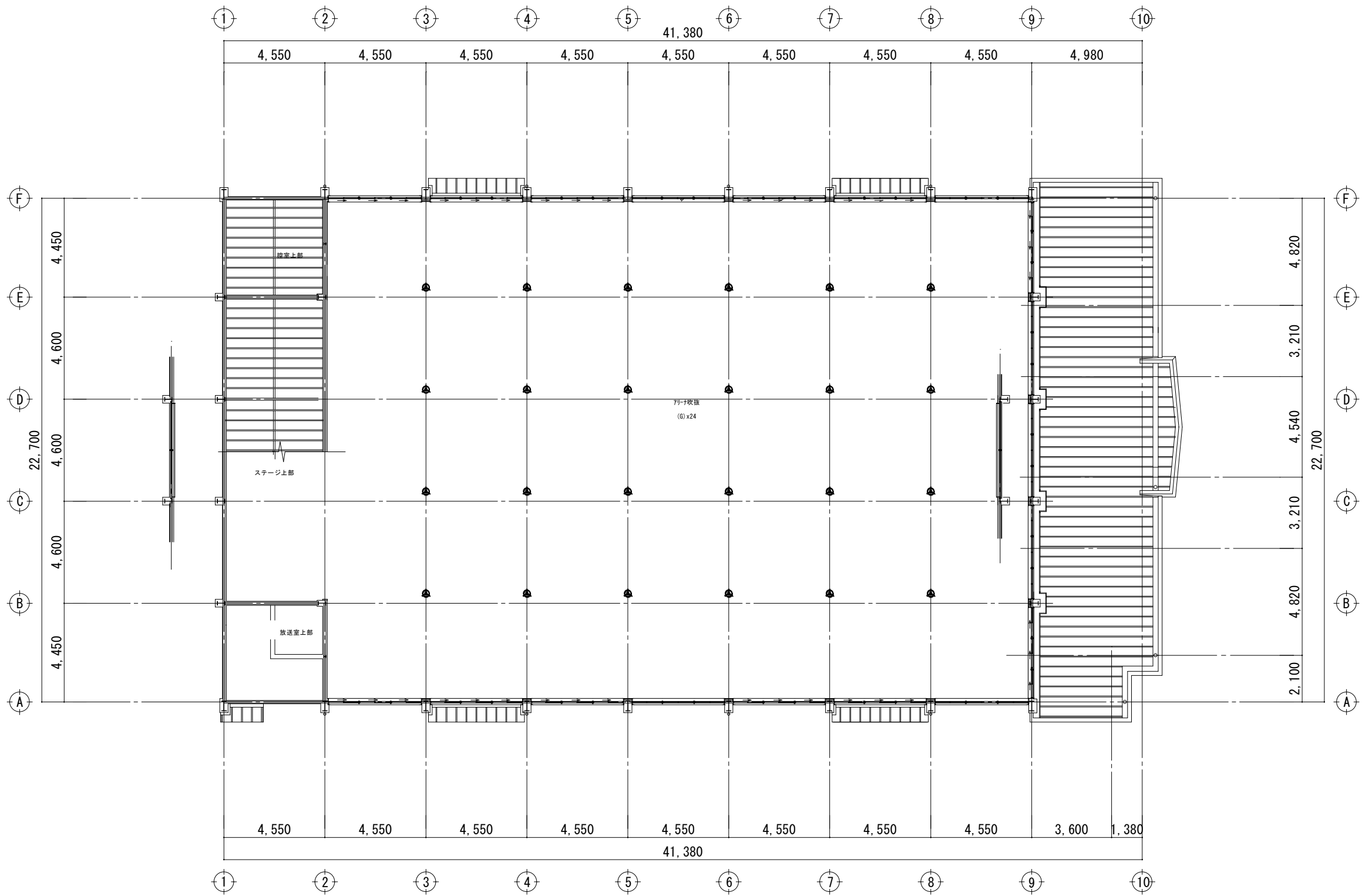
(備考)

1. 照明器具凡例		
(A)	天井直付 FL40Wx1 防水	: 撤去再使用しない
(B)	天井直付 FL20Wx1 防水	: 撤去再使用しない
(C)	天井直付 FL40Wx1	: 撤去再使用しない
(D)	天井直付 FL40Wx2	: 撤去再使用しない
(E)	天井直付 FL40Wx1 ｶﾞｰﾄﾞ付	: 撤去再使用しない
(F)	誘導灯 小型 ｶﾞｰﾄﾞ付	: 撤去再使用しない
(G)	天井直付 HID40W 電動昇降付	: 撤去再使用しない

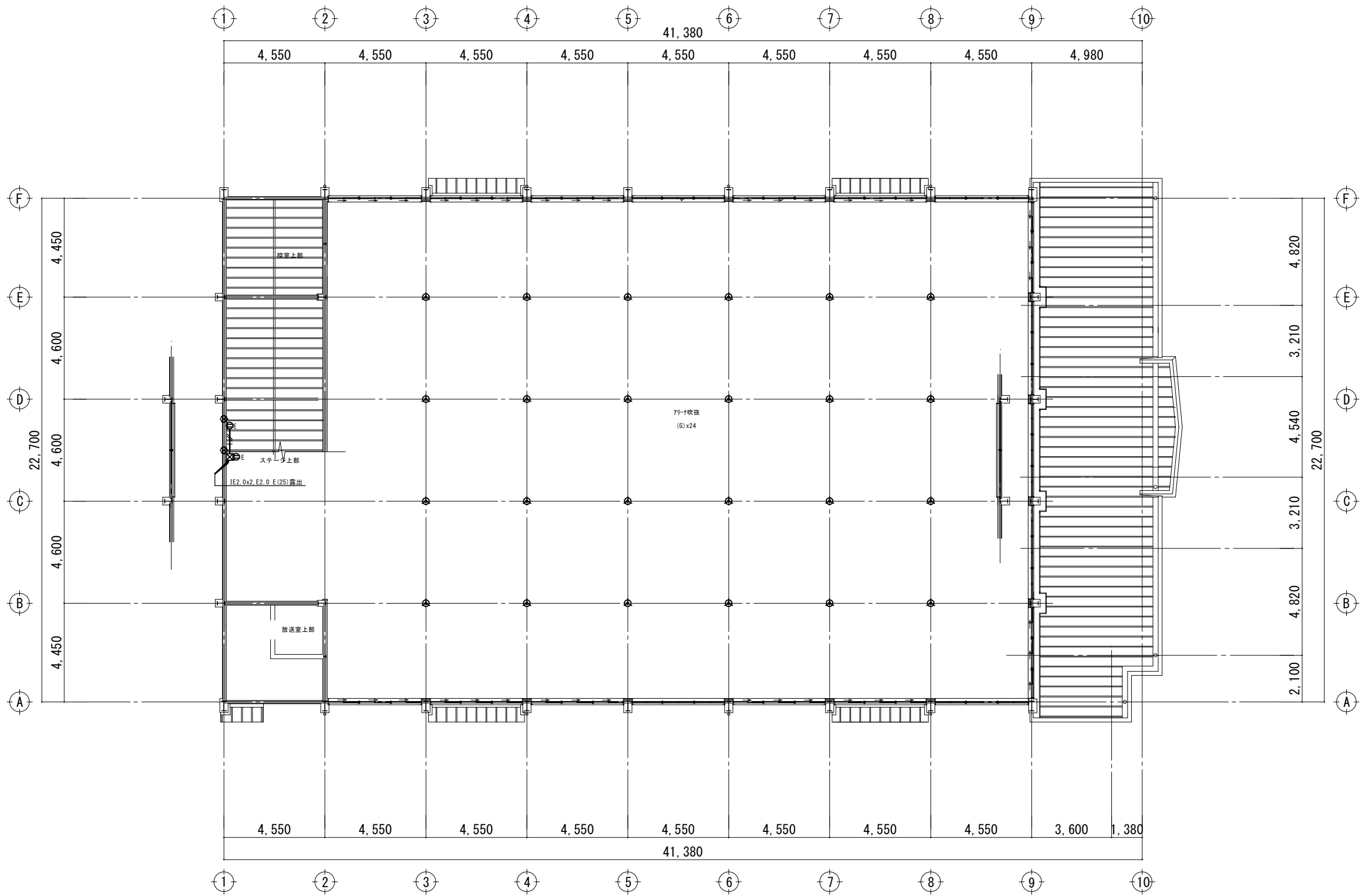
- (備考)
- 特記なき配管配線は、下記による。
 1E1.6x3 E(19)露出
 2.0 IE2.0x2, E2.0 E(25)露出
 EEF2.0-30 M1(A)
 - 配線器具凡例
 埋込スイッチ 1P15Ax1+PLx1
 埋込コンセント 2P15Ax1, E付
 壁換気扇 (機械設備工事)
 - 新設照明器具は、姿図を参照のこと。
 - 777+及び777-の照明器具取替等の作業用に床養生(ビニール)及びビニールシート(2P15Ax1, E付)を行う。又、高所作業用に移動式足場(4段)2台で行う。



1階平面図 S=1:100



中間階平面図 S=1:100



中間階平面図 S=1:100

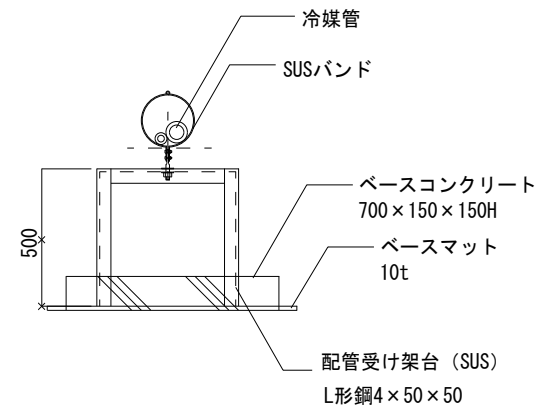
体育館 新設空調機器表

空冷ヒートポンプパッケージエアコン

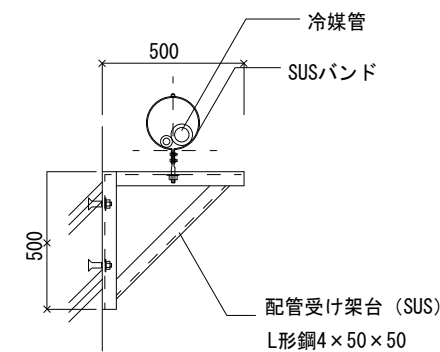
記号	機器名	仕様	冷媒種別	APF	風量 m ³ /min	質量 Kg	電気仕様				台数	設置場所	備考 (参考品番)	
							φ	V	圧縮機 Kw	送風機 Kw				電力消費量 (冷房/暖房)
PAC-1	エリア空調機	室外機：冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様：冷房能力25.0Kw 暖房能力28.0Kw 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品：室外機安全柵 7桁(7)タイプ- 防振ゴム	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	5	屋外	コンクリート基礎 建築工事
		室内機：床置タイプ ZI-028-3 仕様：冷房能力25.0Kw 暖房能力28.0Kw 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品：リモコン×1 エアフィルター 4枚×1 取り付け金具			80.0	78	1	200	-	0.558×2	-	5	アリーナ	鉄骨架台・防球ガード 建築工事
EF-1	有圧換気扇	低騒音形 電動式シャッター付 仕様：350φ × 3000m ³ /h 付属品：バックガード SUS製ウエザーカー (防鳥網付) 薄壁取り付け枠					1	100		150W		2	アリーナ	建具のアルミパネルは 建築工事

特記事項

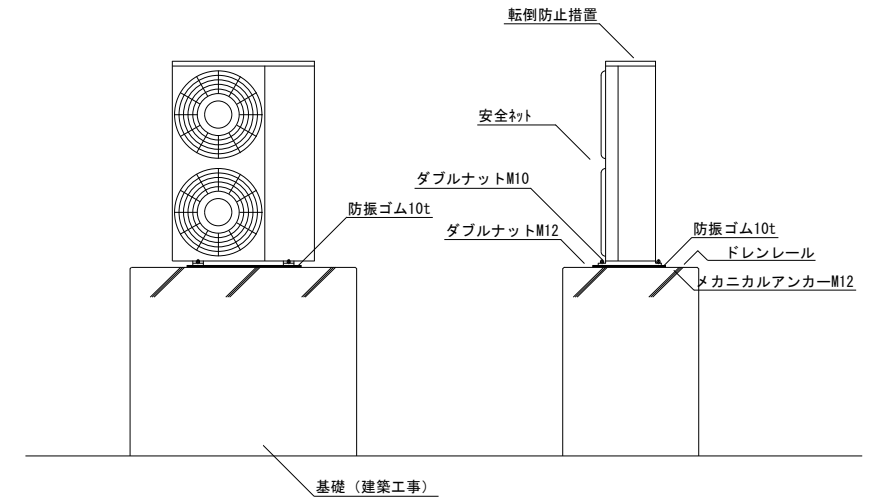
1. 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
2. 個別リモコンの設定は、運転/停止・運転モード切換え・温度設定とする。
3. 室内機取付用鉄骨架台及び防球カバーは、取り付け共建築工事とする。
4. 室外機のコンクリート基礎は別途建築工事とする。
5. 空調機への1次側電源供給は別途電気工事とする。



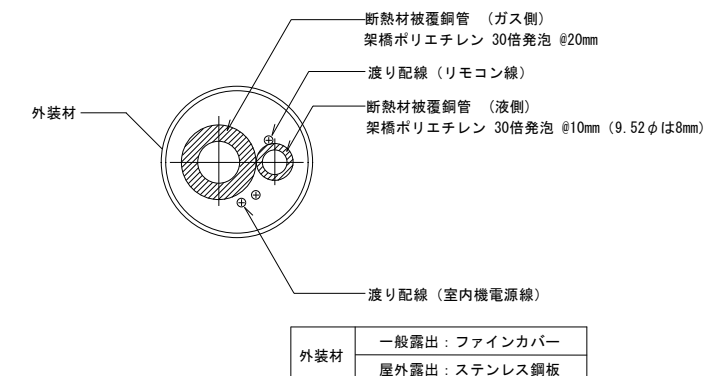
型鋼配管支持
床取り付け架台参考図



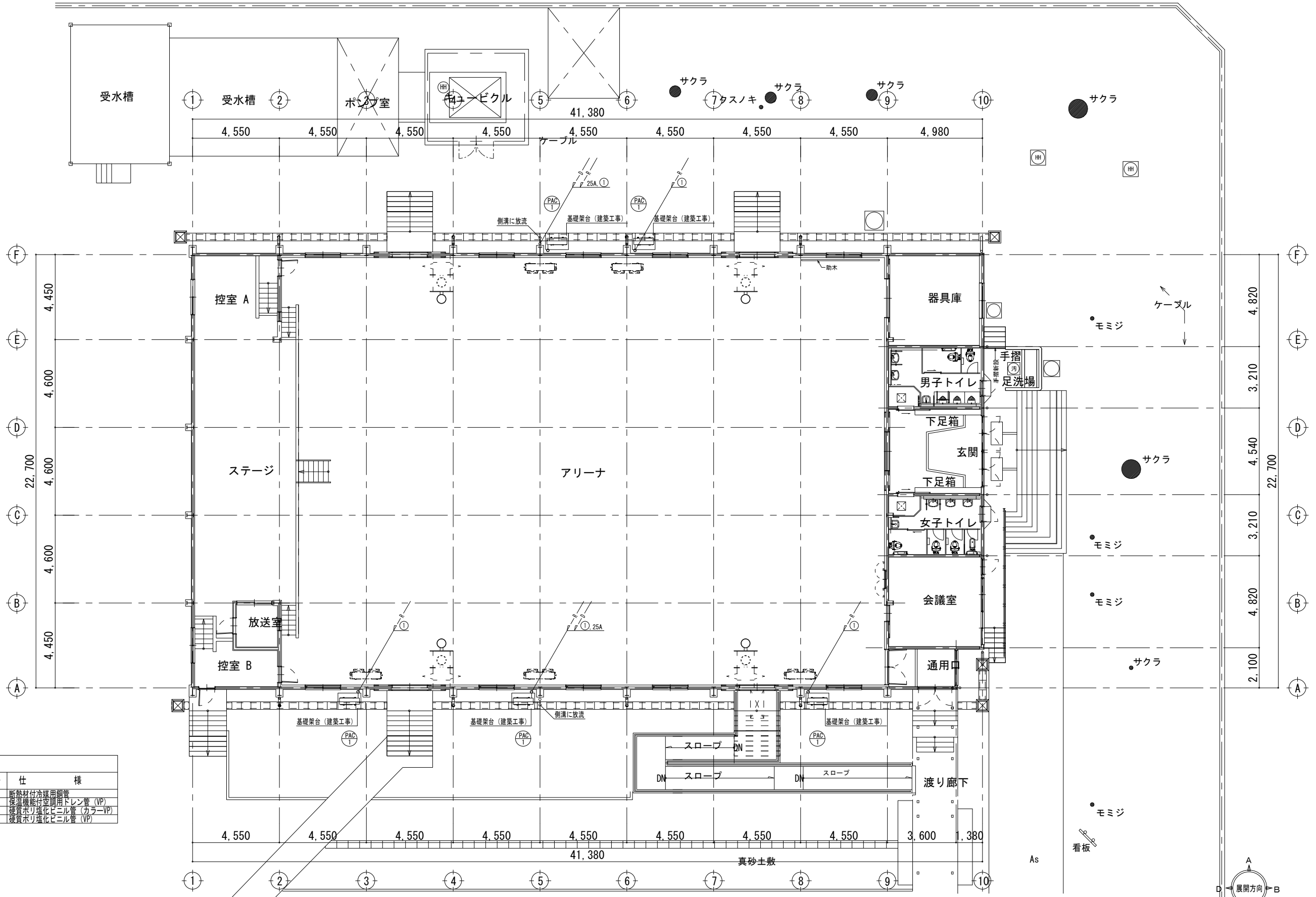
型鋼配管支持
壁取り付け架台参考図



室外機冷房25kW形
基礎取り付け室外機参考図



冷媒管保温外装
屋内外参考図

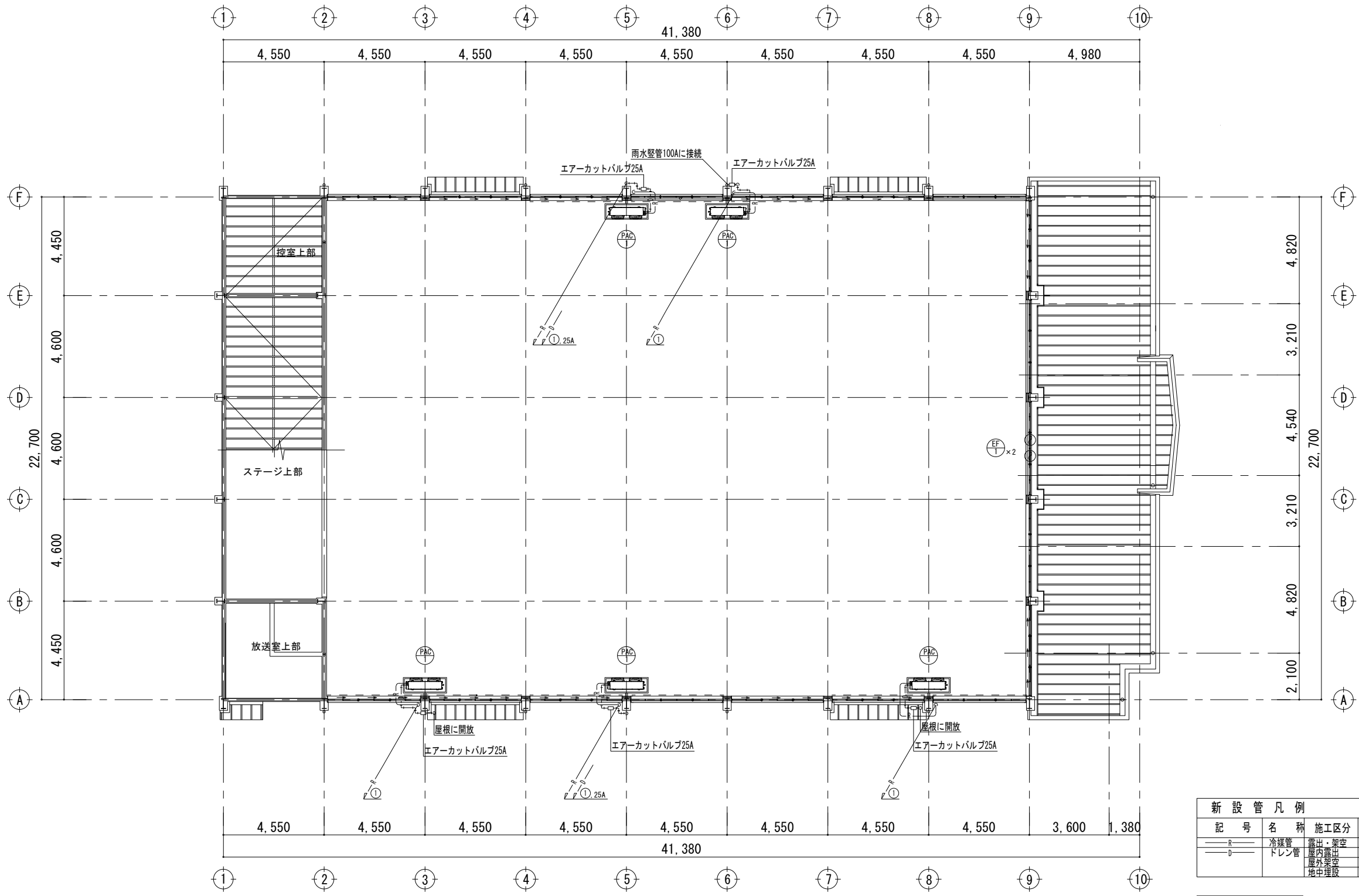


新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
R	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用銅管
D	ドレン管	屋内露出	保温機能付空調用ドレン管 (VP)
		屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP)
		地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

冷媒配管サイズ一覧表		
記号	配管サイズ (参考)	
	液側	ガス側
①	12.7φ	25.4φ
電源線ケーブル: EM-CE2-3C		
リモコンケーブル: EM-CEES1.25-2C		

- 特記事項
- 冷媒管は屋内: 銅製カバー、屋外: ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。

1階平面図 S=1/100



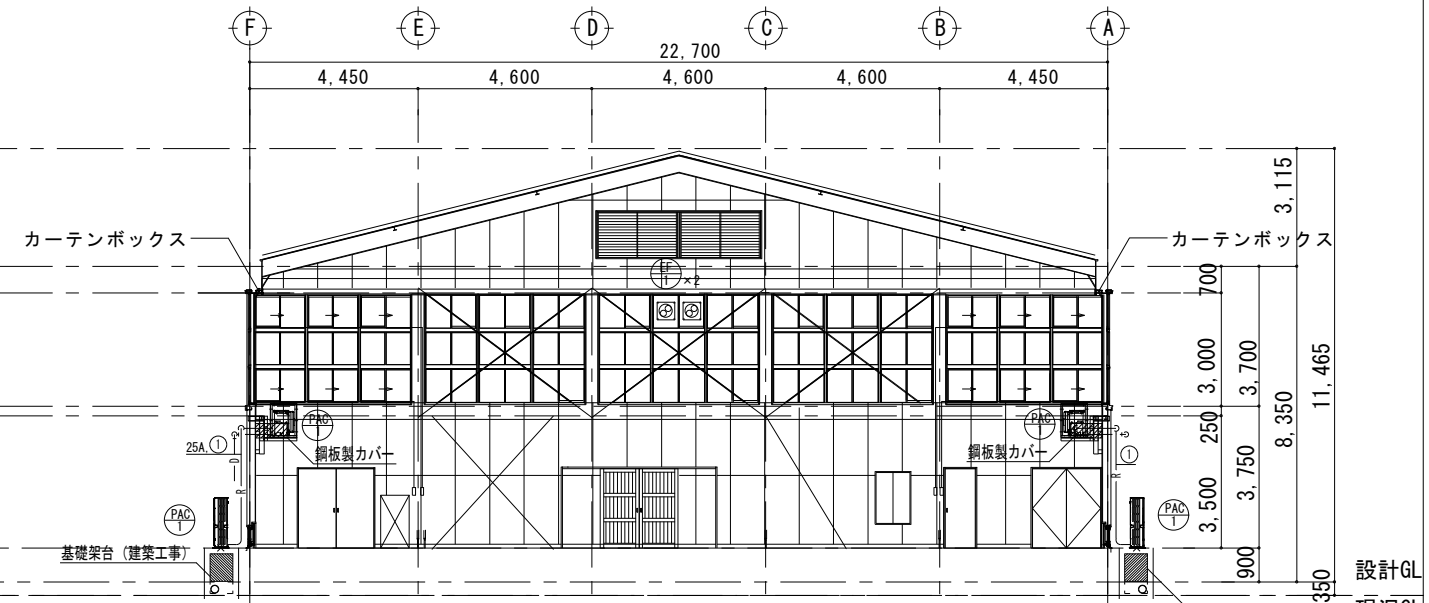
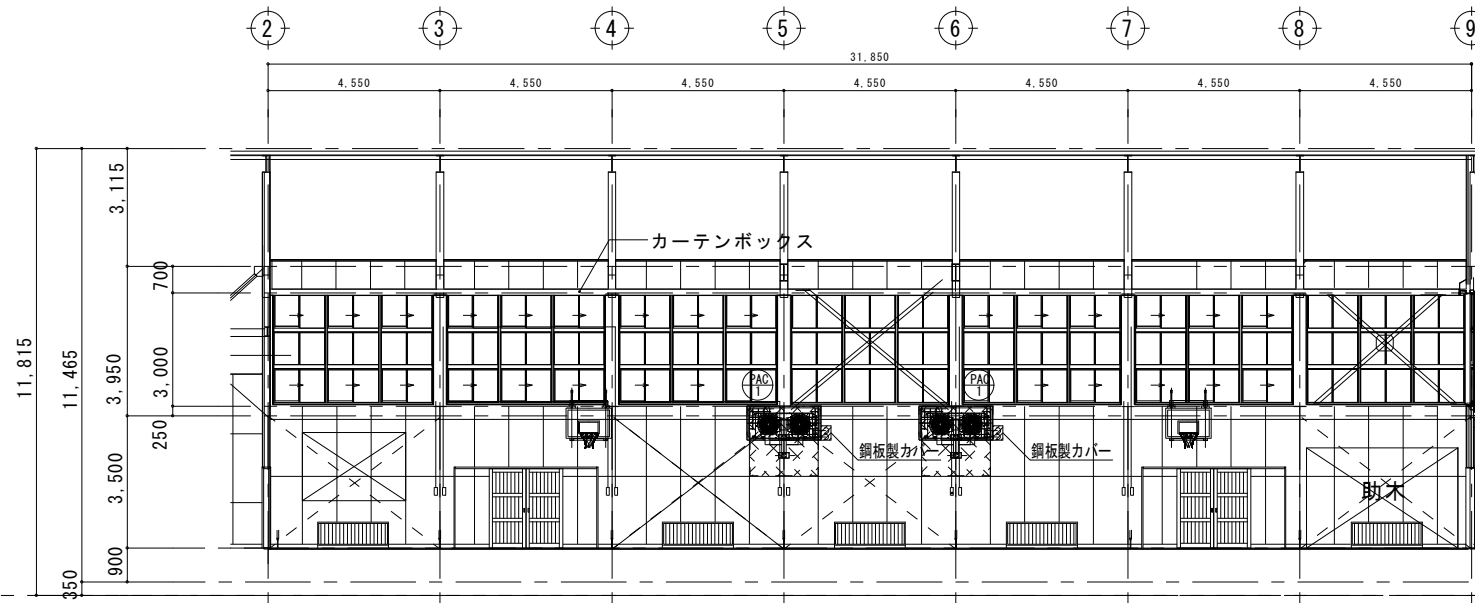
中間階平面図 S=1/100

記号	名称	施工区分	仕様
R	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用銅管
D	ドレン管	屋内露出	保温機能付空調用ドレン管 (VP)
		屋外架空	硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP)
		地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

記号	配管サイズ (参考)	液相	ガス相
①	12.7φ	25.4φ	

電源ケーブル: EM-CE2-3C
リモコンケーブル: EM-CEES1.25-2C

- 特記事項
- 冷媒管は屋内: 鋼製カバー、屋外: ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。

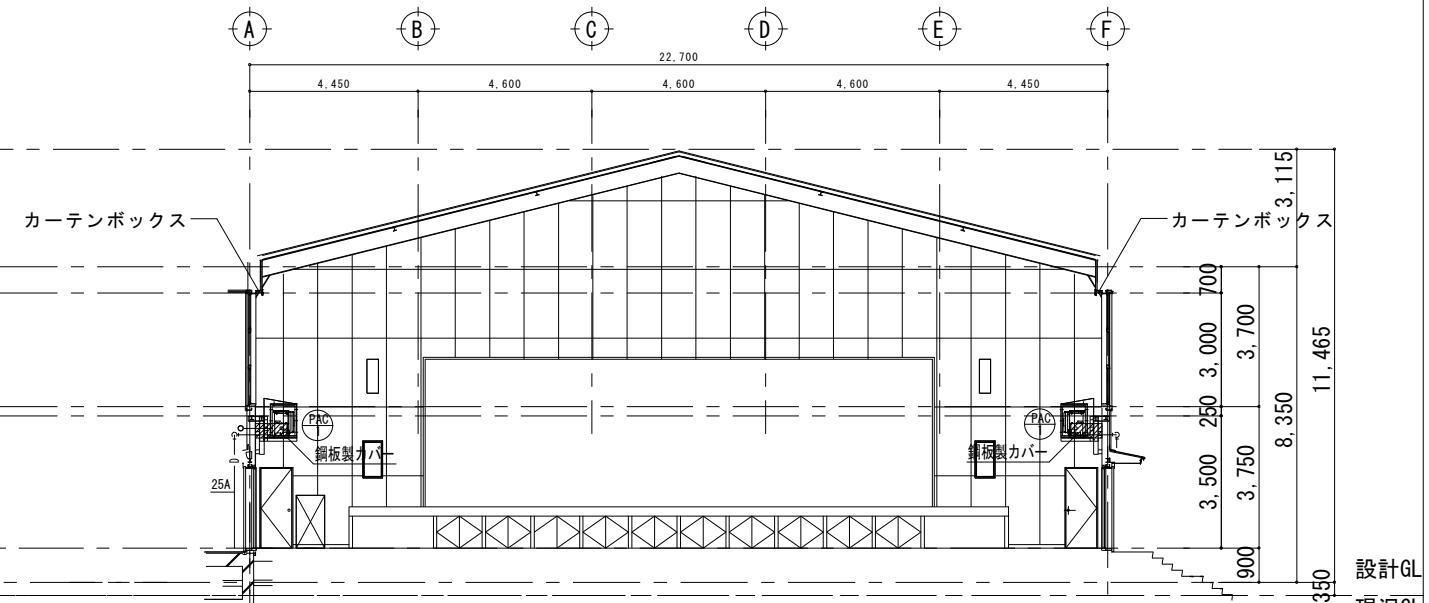
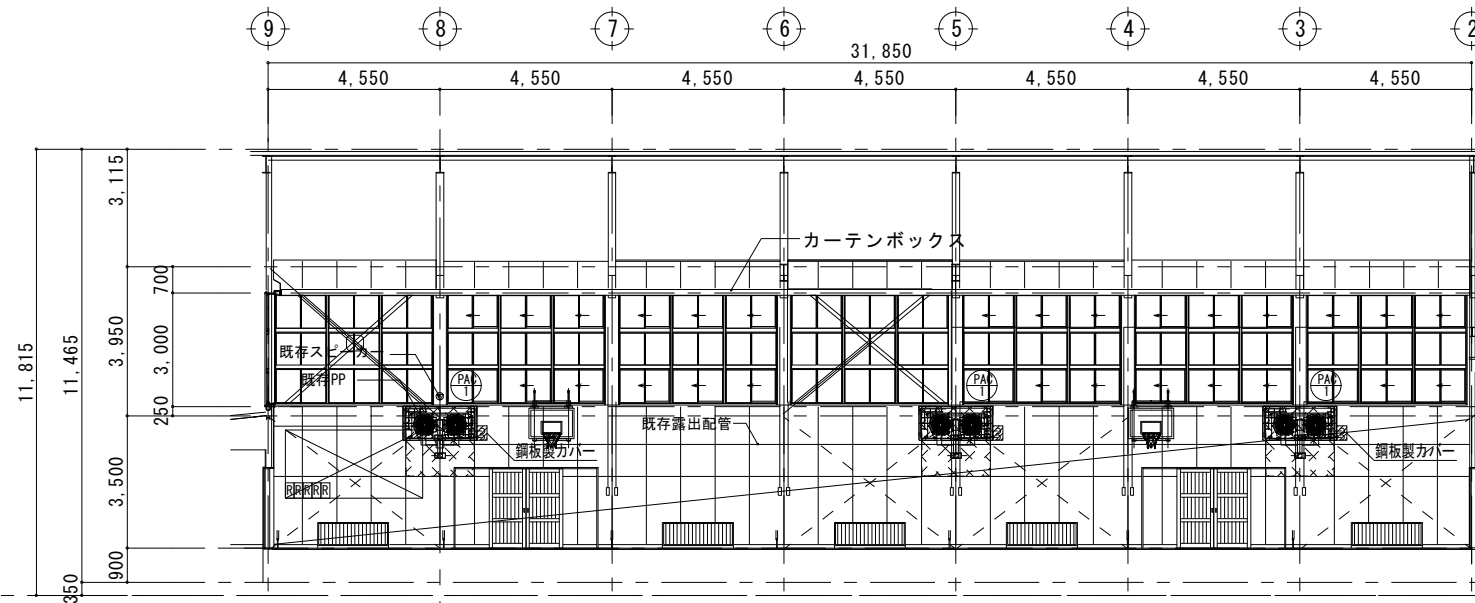


アリーナ
展開図 S=1/100

A

B

設計GL
現況GL



C

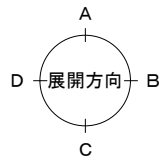
D

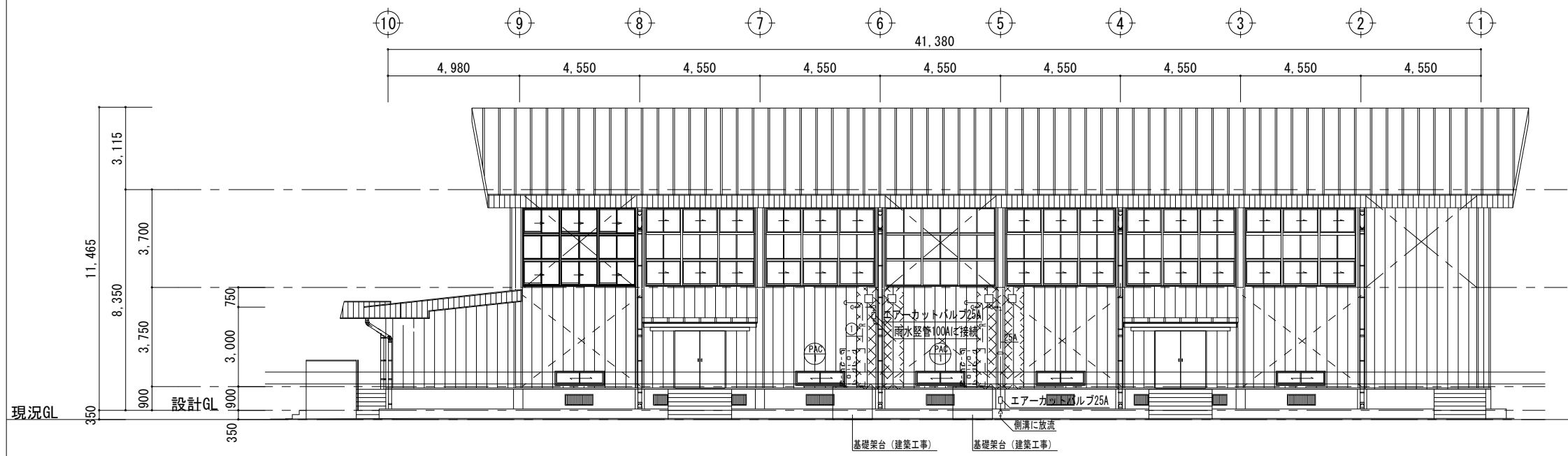
設計GL
現況GL

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
R	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用銅管
D	ドレン管	屋内露出	保温機能付空調用ドレン管 (VP)
		屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP)
		地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

冷媒配管サイズ一覧表	
記号	配管サイズ (参考)
①	12.7φ 25.4φ
電源渡ケーブル: EM-CE2-3C	
リモコンケーブル: EM-GES1.25-2C	

- 特記事項
- 冷媒管は屋内: 鋼製カバー、屋外: ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。





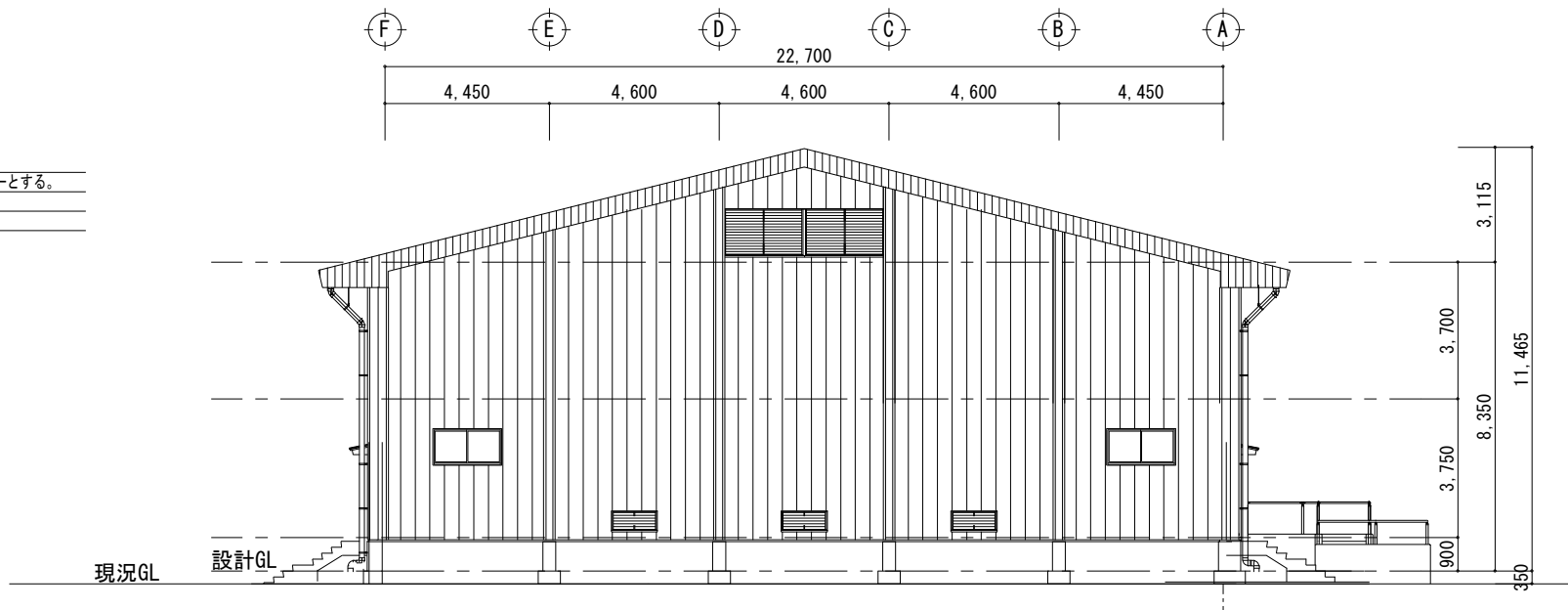
北側立面図 S=1/100

凡例 (建築工事)
 [Symbol] : 外壁【撤去・新設】

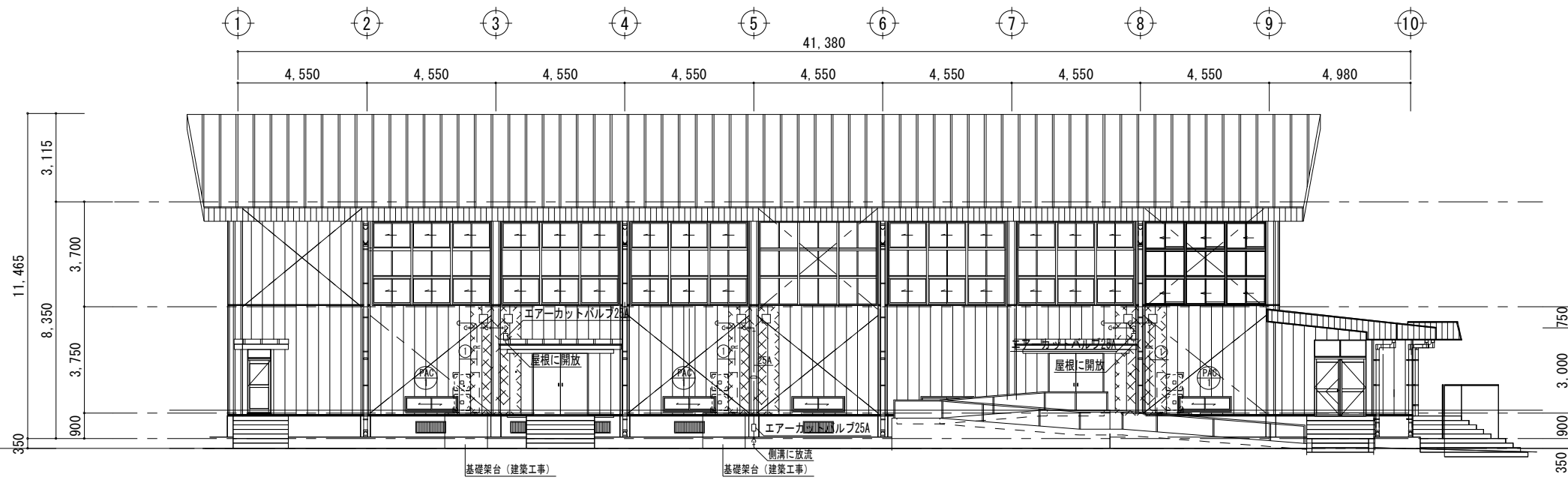
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
R	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用配管
D	ドレン管	屋内露出	保温断熱材付空調用ドレン管 (VP)
		屋外露出	保温断熱材付空調用ドレン管 (カラーVP)
		地下埋設	保温断熱材付空調用ドレン管 (カラーVP)
		地中埋設	保温断熱材付空調用ドレン管 (カラーVP)

冷媒配管サイズ一覧表	
記号	配管サイズ (参考)
①	液側 12.7φ / ガス側 25.4φ
電源ケーブル : EM-CE2-3C	
リコネクタブ : EM-CEES1.25-2C	

- 特記事項
- 冷媒管は屋内：鋼製カバー、屋外：ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。



西側立面図 S=1/100



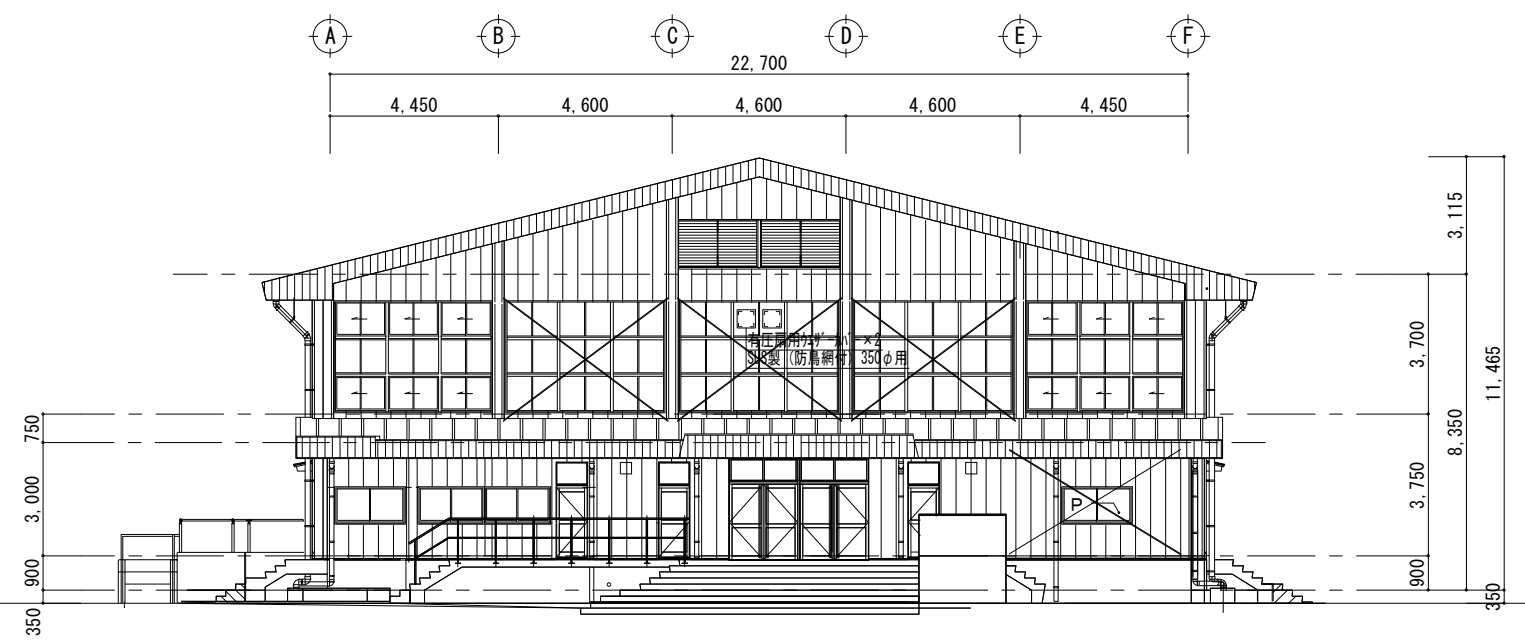
南側立面図 S=1/100

凡例 (建築工事)
 [Symbol] : 外壁【撤去・新設】

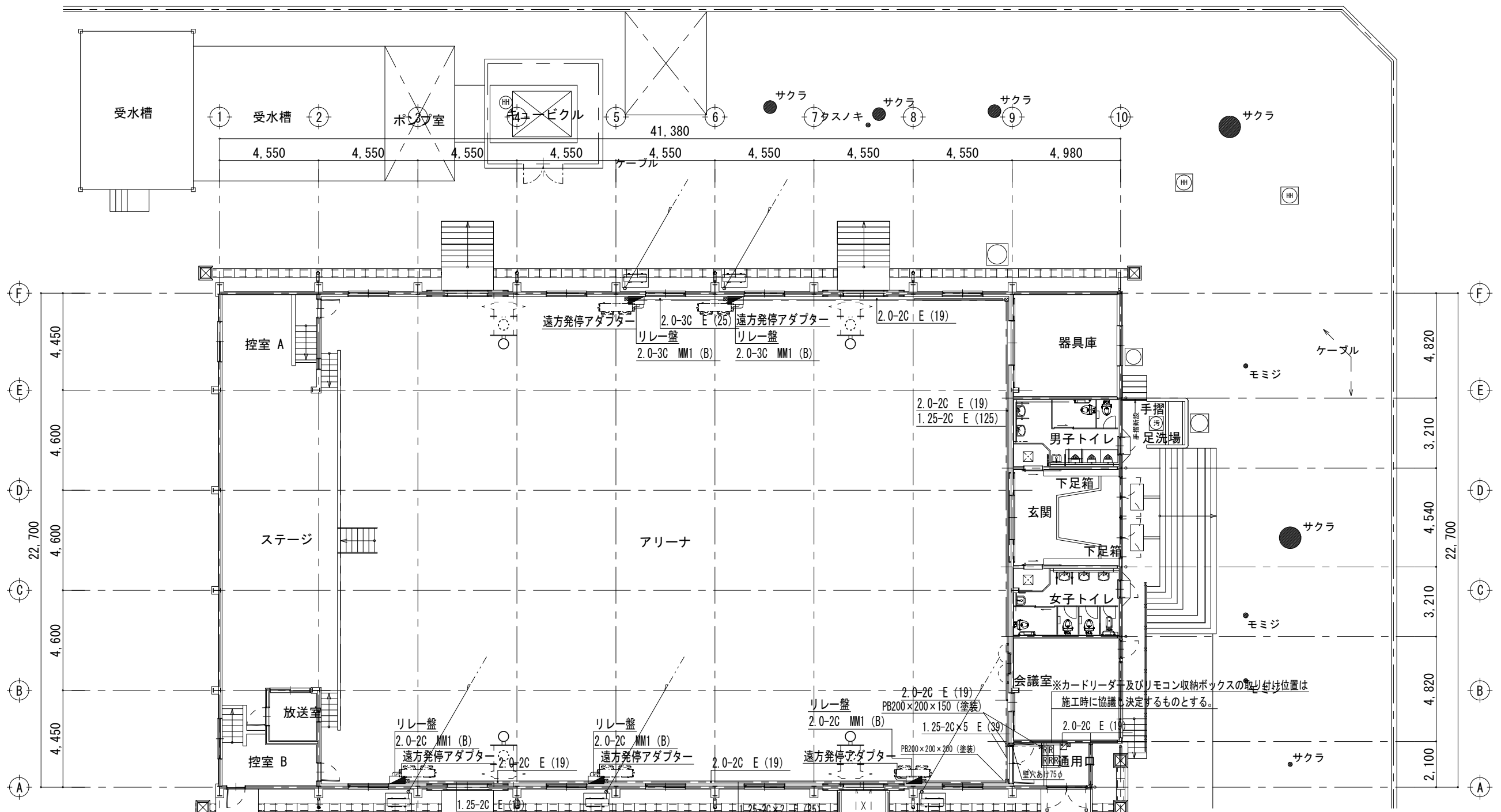
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—R—	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用銅管
—D—	ドレン管	屋内露出	保温機断熱付用ドレン管 (VP)
		屋外露出	保温ホリ塩化ビニル管 (カラーVP)
		地中埋設	保温ホリ塩化ビニル管 (VP)

冷媒配管サイズ一覧表	
記号	配管サイズ (参考)
①	液割 ガス割
	12.7φ 25.4φ
電源線ケーブル: EM-CE2-3C	
リコナーブ: EM-CEES1.25-2C	

- 特記事項
- 1) 冷媒管は屋内: 鋼製カバ、屋外: ステンレス製カバとする。
 - 2) 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 3) 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。



東側立面図 S=1/100



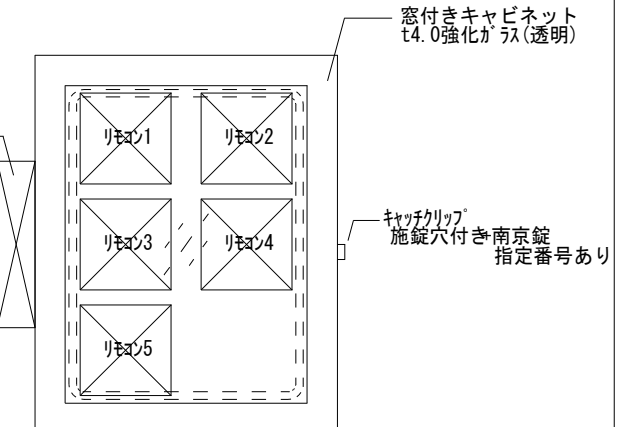
凡例	記号	名称	仕様	施工
	R	個別リモコン	各系統ごとに空調機操作盤に設置	
	---	二次側電源ケーブル	室外機~室内機 EM-CE2.0-3C	冷媒管共巻
	---	内外接続ケーブル	室外機~室内機 EM-CE2.0-3C	
	---	リモコンケーブル	室外機~室内機 EM-CEES1.25-2C	管内
	---	個別リモコンケーブル	室外機~リモコン EM-CEES1.25-2C	天井内コロガシ
	---	個別リモコンケーブル	室外機~リモコン EM-CEES1.25-2C	金属線び (B型)
	---	カードリーダー電源ケーブル	カードリーダー~リレー盤 EM-CE2.0-3C	管内
	☑	カードリーダー	壁掛け形	
	R	空調機操作盤	壁掛け形	
	☑	リレー盤	壁掛け形	
	☒	プルボックス	屋内: 鋼板製 (塗装) 屋外: SUS (WP)	

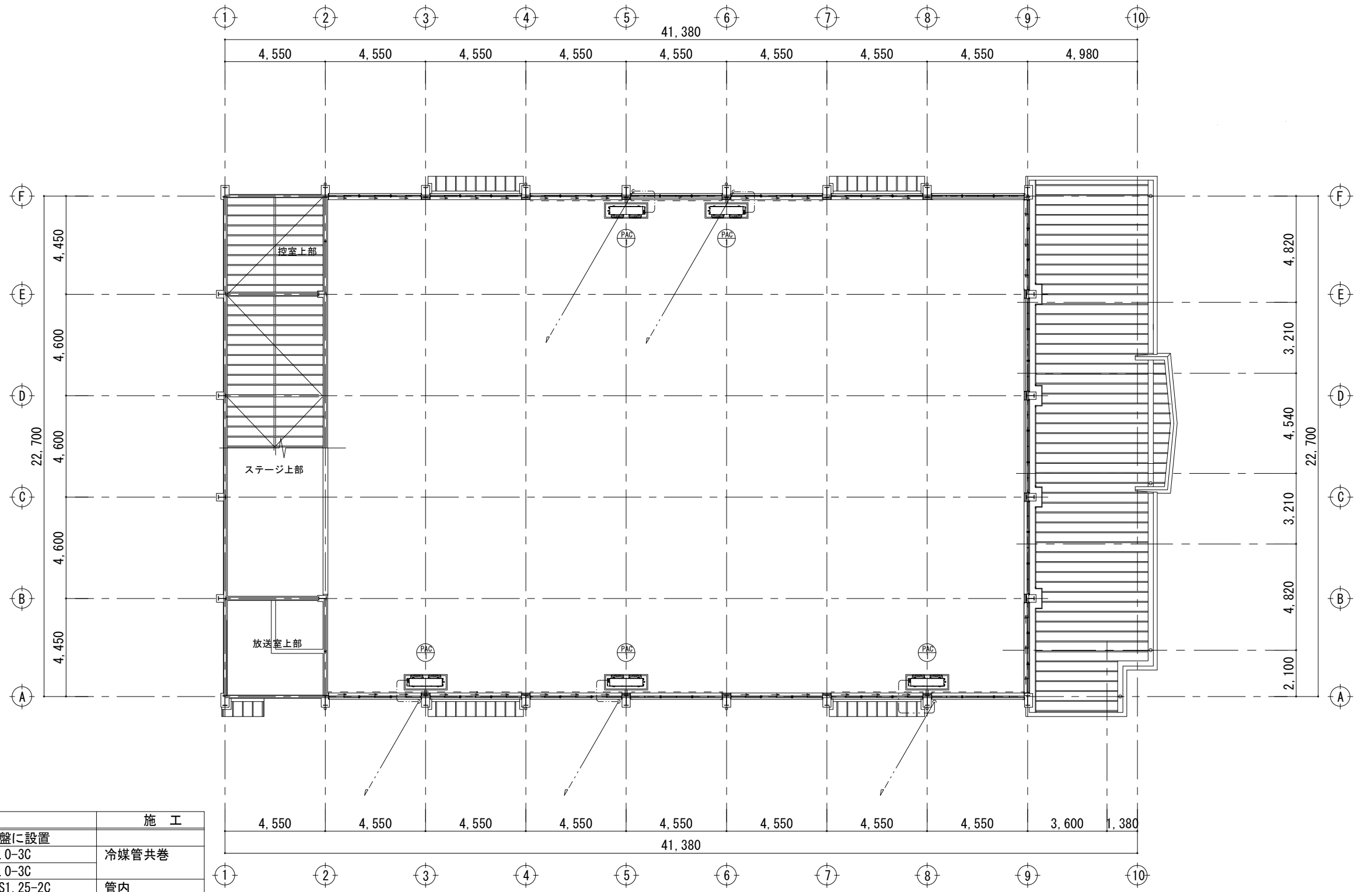
※特記事項

1. 室外機との渡りリモコンケーブル・内外接続ケーブルは冷媒管共巻とする。
2. 室内機の二次側電源ケーブルは配管内とする。
3. カードリーダーへの電源供給は電気工事とする。
4. カードリーダー及び空調機操作盤の取り付け位置は、施工時に協議の上決定する。

1階平面図 S=1/100

リモコン設置詳細図 S=1:10





中間階平面図 S=1/100

凡例			
記号	名称	仕様	施工
R	個別リモコン	各系統ごとに空調機操作盤に設置	
---	二次側電源ケーブル	室外機～室内機 EM-CE2.0-3C	冷媒管共巻
---	内外接続ケーブル	室外機～室内機 EM-CE2.0-3C	
---	リモコンケーブル	室外機～室内機 EM-CEES1.25-2C	管内
---	個別リモコンケーブル	室外機～リモコン EM-CEES1.25-2C	天井内コロガシ
---	個別リモコンケーブル	室外機～リモコン EM-CEES1.25-2C	金属線び (B型)
---	カードリーダー電源ケーブル	カードリーダー～リレー盤 EM-CE2.0-3C	管内
□	カードリーダー	壁掛け形	
R	空調機操作盤	壁掛け形	
■	リレー盤	壁掛け形	
□	プルボックス	屋内：鋼板製 (塗装) 屋外：SUS (WP)	